

平成30年度

# 佐倉市立公民館のまとめ

佐倉市立公民館

# 目 次

1. 佐倉市の公民館	1
2. 平成 30 年度教育目標	2
3. 第 2 次・佐倉市立公民館活動計画	5
4. 公民館運営審議会	7

## 中央公民館

佐倉地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	8
3 歳児親子あそびうた教室	8
親子で食育講座「かまどでごはん」	9
2. 青少年教育事業	10
夏休み子どもゼミナール	10
JOSHIBI ワークショップ	11
子どもの居場所作り	12
「カブトムシを紙でつくろう！」	13
通学合宿	13
3. 成人教育事業	15
地域づくり講座	15
佐倉市民カレッジ情報コース卒業生による初心者向けパソコン講座	15
健康増進教室	16
佐倉学講座「印旛沼」撰 320 年記念『臼井八景』— 禅宗寺院の境致・臼井城主物語—	17
佐倉学講座「続：佐倉藩堀田家の江戸屋敷～歴史的資料からみた屋敷のすがた～VOL. 2」・「佐倉・城下町新町周辺歴史散策」	18
佐倉学講座 佐倉と文化 全 2 回	18
印旛沼環境基金公開講座 — かつてのいんば沼を語る —	19
佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」	19
敬愛大学出張講座【津田塾大学・女子美術大学・敬愛大学 3 大学連携】 「明治 150 年 津田梅子・佐藤志津に学ぶ ～国際社会に向き合う女性たち～」	20
4. 高齢者教育事業	22
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」	22
5. コミュニティ事業	49
さくら学び塾（学びあい講座）	

「あの世にはもったいない「健康寿命を活かす秘訣」」	49
<b>6. 団体育成事業</b>	50
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	50
佐倉学体験講座～「佐倉民謡を語るボランティア派遣事業」	
「佐倉こどもかるた普及派遣事業」～	50
グループ懇談会	50
調理室利用グループによる調理室点検	51
<b>7. 広報・展示事業</b>	52
広報事業	52
<b>8. 視聴覚ライブラリー事業</b>	53
親子映画会	53
無料映画会	53
16ミリ映写機操作講習会	53
佐倉市平和式典	54

## 和田公民館

和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	8
子育て教室	8
楽しく家庭教育講座	9
2. 青少年教育事業	10
和田剣道教室	10
軽スポーツ大会	10
夏休みおもしろ体験教室	10
夏休み子どもゼミナール	11
子ども映画会	11
佐倉っ子塾 料理教室	11
佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	12
3. 成人教育事業	13
佐倉学体験講座 ふるさと味工房	13
佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学	13
和田市民大学手芸教室	14
和田工芸講座	14
いきいき生活講座	15

合同研修会	1 5
和田地区防災講習会	1 5
和田市民大学交流会	1 5
<b>4. 団体育成事業</b>	1 6
和田地区青少年育成住民会議	1 6
和田小学校PTA民俗資料収集委員会	1 6
和田はたおり保存会	1 6
<b>5. 広報・展示事業</b>	1 7
公民館だより	1 7
歴史民俗資料室展示	1 7
<b>6. 図書事業</b>	1 8
図書貸し出し	1 8

## **弥富公民館**

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子遊びのつどい	6
家族で遊ぼう	7
2. 青少年教育事業	8
弥富剣道教室	8
夏休み星空観察会	8
星空観察会	8
佐倉っ子塾  なんでも体験弥富塾	9
3. 成人教育事業	1 0
ふるさと弥富散策会	1 0
グラウンドゴルフ大会	1 0
竹炭づくり体験	1 0
健康づくり講座  ヨガ教室	1 0
佐倉・城下町400年記念事業  佐倉学入門講座「明寿大学  歴史講座」	1 0
佐倉学入門講座「弥富を歩く」	1 1
佐倉学入門講座「くらしの講座」	1 1
4. 団体育成事業	1 2
地域まちづくり協議会  ふるさと弥富を愛する会	1 2
弥富地区青少年育成住民会議	1 2

5. 広報・展示事業	1 2
公民館だより	1 2

## 根郷公民館

根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	8
親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	8
親子体験教室 きのこの胞子紋を作ろう	1 0
親子体験教室 寄せ植え体験	1 0
親子運動教室	1 1
子育て実践講座 イヤイヤ期を上手に乗り切る子育て	1 1
こども工房 家族とつくるクリスマス木工クラフト	1 1
こども工房 家族とつくる大切な人に贈るお菓子	1 2
2. 青少年教育事業	1 3
根郷防災キャンプ	1 3
子ども体験講座 おもしろ科学実験隊	1 3
子ども体験講座 勾玉作り	1 3
子ども体験講座 絵画教室	1 4
子ども体験講座 茶道教室	1 5
子ども体験講座 華道教室	1 5
クリスマスコンサート	1 5
佐倉っ子塾 共通講座 「夏休み子ども水辺探検ツアー」	1 6
佐倉っ子塾 夏休み子ども社会科見学	1 6
3. 成人教育事業	1 7
根郷寿大学	1 7
(市民公開講座)生活習慣病予防講座	1 8
(市民公開講座)高齢者の栄養について	1 8
シニアのためのスマートフォン講座	1 8
ハンギングバスケット講座	1 8
シニア向け健康づくり講座	1 9
パソコン広場	1 9
珈琲学入門講座	2 0
終活講座	2 0
御朱印帳作り講座	2 1
園芸講座 春のハーブ園散策 (寄せ植え)	2 1

園芸講座	夏のハーブ園散策（ブルーベリー摘み）	2 2
園芸講座	コニファーで作る素敵なクリスマスツリー	2 2
園芸講座	お正月のミニ門松を作ろう！	2 3
園芸講座	初夏まで楽しめる寄せ植えの体験	2 3
防災講座		2 3
佐倉学入門講座	郷土の刀と鐔	2 4
佐倉学入門講座	講演会「大名行列にみる佐倉藩堀田家」	2 5
佐倉学入門講座	明治150年記念事業	2 5
佐倉学入門講座	根郷ふるさと探訪	2 6
佐倉学体験講座	糀屋さんから学ぶ発酵の秘密	2 7
佐倉学体験講座	伝統の根郷産こんにゃく作り体験	2 7
<b>4. 団体育成事業</b>		2 8
	根郷地区青少年育成住民会議	2 8
	南部地区子ども会育成会連絡協議会	2 8
	定期利用者懇談会	2 8
	調理室利用者懇談会	2 8
<b>5. 広報事業</b>		2 9
	根郷公民館だより	2 9
<b>6. 図書事業</b>		3 0
	図書の貸出・返却	3 0
<b>7. その他事業</b>		3 1
	卓球室開放	3 1

## **志津公民館**

志津地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	7
お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へいこう」	7
笑顔で子育て応援講座	8
2. 青少年教育事業	9
佐倉っ子塾「子どもクッキング教室」	9
佐倉っ子塾「子ども手づくり工房」	9
佐倉っ子塾「子ども自然教室」	1 0

佐倉っ子塾「サイエンスラボ」	1 1
志津小学校通学合宿	1 1
佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習	1 2
<b>3. 成人教育事業</b>	1 4
しづ市民大学（第29期）	1 4
佐倉学入門講座 「佐倉道を学ぶ」	2 0
佐倉学入門講座「井野長割遺跡」を学ぶ	2 0
「楽しみながら学ぶバランスコーディネーション体操」	2 1
<b>4. コミュニティ事業</b>	2 2
さくら学び塾（学びあい講座）	
「知って得する 相続と民事信託（家族信託）」	2 2
<b>5. 団体育成事業</b>	2 3
第45回 志津公民館祭	2 3
定期利用サークル運営研修会	2 3
調理室利用サークル懇談会	2 3
志津地区の子ども会育成活動	2 4
志津ジュニア・リーダース・クラブ（志津JLC）	2 4
公民館園芸ボランティア団体「花の輪」への支援	2 4
<b>6. 広報・展示事業</b>	2 5
志津公民館だより	2 5

## 白井公民館

白井・千代田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
おはなし会	6
2. 青少年教育事業	7
水辺観察会 「夏休み子供水辺探検ツアー」	7
星空観察教室	7
つくってあそぼう「スカイスクリーン」	7
つまみ細工のブローチ作り	8
かんたん！かわいいクリスマスリース作り	8
3. 成人教育事業	9
佐倉学専門講座「白井八景 信斎の願い『金鱗を釣る』を考える」	9
健康講座 歯と健康の意外な関係	9
4. コミュニティ事業	1 0

コミュニティカレッジさくら	10
さくら学び塾「相手の心に寄り添う傾聴」	15
<b>5. 団体育成事業</b>	16
白井地区子ども会育成会連絡協議会（白井地区子連）	16
かたりべの会	16
<b>6. 広報・展示事業</b>	17
公民館だより	17
まちづくり資料室の展示	17
サークル展示活動支援	17
<b>7. 図書事業</b>	19



# 1. 佐倉市の公民館

## 佐倉市立臼井公民館

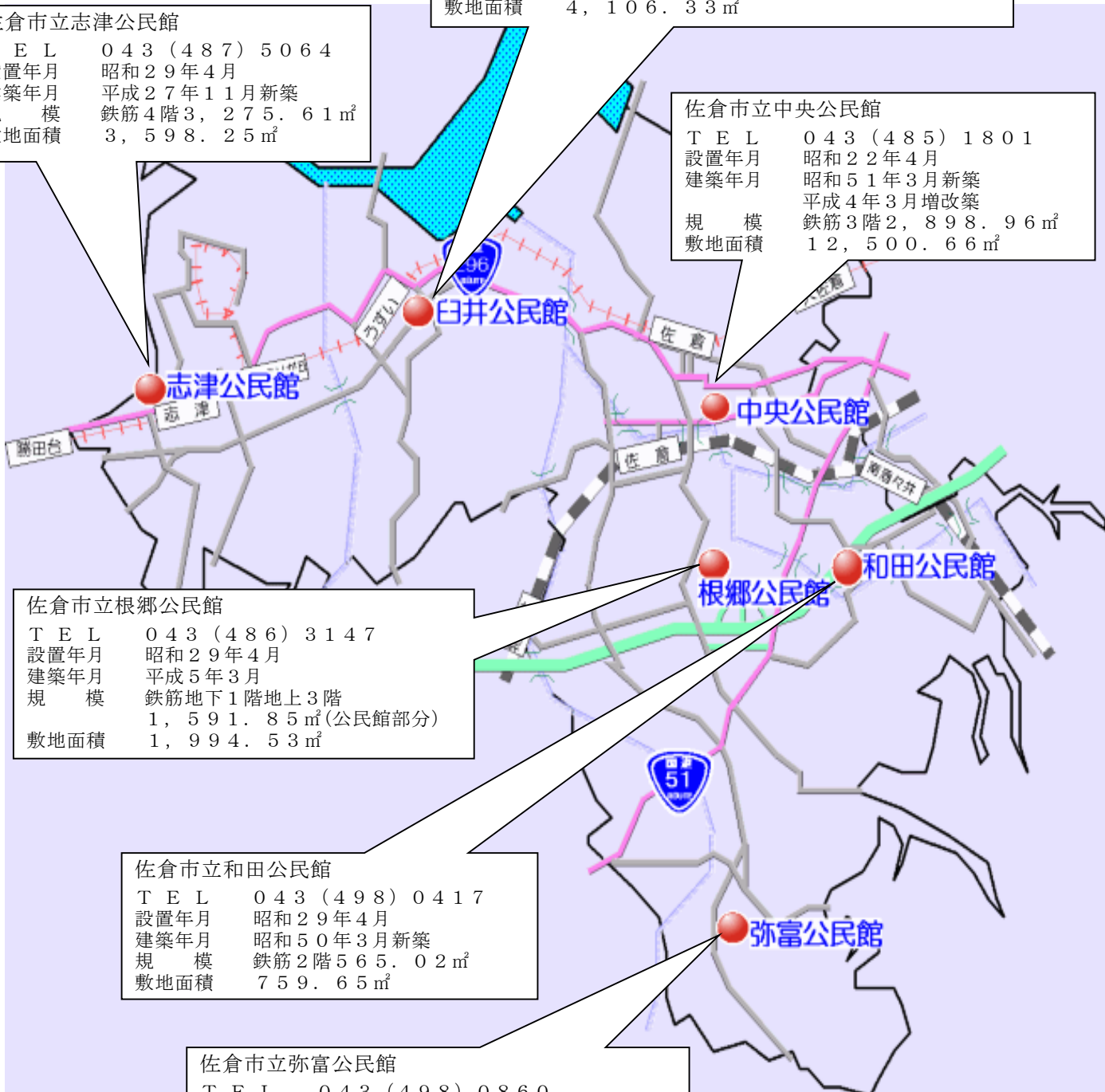
TEL 043(461)6221(代表)  
 設置年月 昭和59年11月  
 建築年月 昭和59年9月佐倉市民音楽ホールとして新築  
 規模 鉄筋地下1階・地上2階  
 敷地面積 1,078.66㎡(臼井公民館部分)  
 敷地面積 4,106.33㎡

## 佐倉市立志津公民館

TEL 043(487)5064  
 設置年月 昭和29年4月  
 建築年月 平成27年11月新築  
 規模 鉄筋4階3,275.61㎡  
 敷地面積 3,598.25㎡

## 佐倉市立中央公民館

TEL 043(485)1801  
 設置年月 昭和22年4月  
 建築年月 昭和51年3月新築  
 平成4年3月増改築  
 規模 鉄筋3階2,898.96㎡  
 敷地面積 12,500.66㎡



## 佐倉市立根郷公民館

TEL 043(486)3147  
 設置年月 昭和29年4月  
 建築年月 平成5年3月  
 規模 鉄筋地下1階地上3階  
 敷地面積 1,591.85㎡(公民館部分)  
 敷地面積 1,994.53㎡

## 佐倉市立和田公民館

TEL 043(498)0417  
 設置年月 昭和29年4月  
 建築年月 昭和50年3月新築  
 規模 鉄筋2階565.02㎡  
 敷地面積 759.65㎡

## 佐倉市立弥富公民館

TEL 043(498)0860  
 設置年月 昭和29年4月  
 建築年月 平成21年3月新築  
 規模 鉄筋2階235.48㎡(公民館部分)  
 敷地面積 1,367.83㎡

## 2. 平成30年度 教育目標

### 〔基本理念〕

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、  
心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

### 〔平成30年度施策の特徴及び重点項目〕

平成30年度施策の主な特徴として、「①インクルーシブ教育システム、少人数指導、いじめ防止対策など、きめ細かであり充実した学校教育の推進」、「②公民館・図書館等による生涯学習・社会教育の振興」、「③老朽化が進む社会教育施設の改修等による生涯学習、芸術文化活動のための環境整備」、「④歴史文化資産と佐倉の魅力を活かした文化振興」、「⑤安全・安心・良好な教育環境を確保するための学校施設等の整備」の5点が挙げられます。

この5点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

#### （1）地域の教育力の向上をはかります

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、学校を拠点とした地域づくりを進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進します。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。
- ・市立幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。また、預かり保育・園庭開放等を実施し、幼児教育の拡充を図ります。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
- ・地域活動の担い手育成を目的としたコミュニティカレッジさくらを運営します。

#### （2）“佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「教育懇話会」や「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

#### （3）確かな学力の向上をはかります

- ・学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます（英語は中学校のみ実施）。
- ・夏季休業中に全小中学校及び全公民館、千葉敬愛短期大学で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生・地域ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。
- ・全小中学校に派遣している外国人英語指導助手<sup>※1</sup>を3名増員し、英語の教科化等に向けた学習指導内容の充実を計画的に進めていくとともに、英語・外国語活動の授業や国際理解教育の充実を図ります。
- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。
- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。また、「新入学学用品費」の入学前支給を実施します。

- ・理科教育支援員<sup>※2</sup>を小学校2校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
- ・通学区域内の児童数が減少傾向にある弥富小学校の1学年1学級を維持するとともに、学校支援補助教員<sup>※3</sup>を配置し、少人数によるきめ細かな指導を行います。
- ・多人数の学級を数多く抱える学校に学校支援補助教員<sup>※3</sup>を配置し、少人数指導等を実施することで、児童生徒個々の習熟度に応じた学習支援を充実させます。
- ・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進します。
- ・次期学習指導要領の趣旨を周知・徹底させ、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を図り、教職員の研修を充実させます。
- ・教育委員及び教育委員会職員が定期的に学校を訪問し、特色ある教育活動や学校の課題を把握することで、各学校の学校運営や指導方法の改善に役立てます。

#### **(4) 豊かな心と丈夫な体の育成をはかります**

- ・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等を通じ、道徳的实践力を高める教育を推進します。
- ・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。
- ・特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に特別支援教育支援員<sup>※4</sup>を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めます。
- ・インクルーシブ教育システム推進事業として、言語通級指導教室設置校を中心に支援が必要な児童への効果的な支援体制を継続するとともに、学校支援コーディネーター<sup>※5</sup>を派遣するなどの取り組みを進めます。
- ・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員<sup>※6</sup>・心の教育相談員<sup>※7</sup>を配置するとともに、スクールカウンセラー<sup>※8</sup>や各関係機関等と連携し、各種教育相談体制を充実させます。
- ・「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、学校支援アドバイザー<sup>※9</sup>を巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、学校図書館司書<sup>※10</sup>を全小中学校に配置し(11名が拠点校1校、勤務校2校または3校を担当)、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。
- ・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。
- ・給食室の老朽化に伴う補修工事等の対策を実施します。
- ・児童生徒の体力の現状を分析し、体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。
- ・学校プール施設を廃止した学校においては、民間と連携し良好な環境の下で安全な指導を行い、小学校学習指導要領での水泳学習の目標を達成させます。
- ・児童生徒の生活習慣病予防検診事業を継続するとともに、健康教育を充実させます。

#### **(5) 「佐倉学」の推進をはかります**

- ・佐倉学リーフレットを配付し、佐倉学の周知を図ります。
- ・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」の授業を充実させます。

- ・佐倉学事業の充実を図ります。

#### **(6) 新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります**

- ・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。
- ・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施をとおして、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
- ・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。
- ・国史跡に指定されてから20周年を迎える本佐倉城跡について、酒々井町と共催で記念事業（シンポジウム・展示会・現地イベント等）を実施します。
- ・千葉県指定有形文化財旧河原家住宅（日本遺産構成文化財）の茅葺屋根の葺き替え工事等を実施し、佐倉の歴史文化資産を保全・活用を図ります。
- ・城下町佐倉の祭礼用具の修復、佐倉囃子の普及啓発等を通じて地域を活性化すると同時に、日本遺産のブランド力を高め、交流人口の増加を図ります。
- ・文化庁が国登録有形文化財候補として実地調査を行った、旧駿河屋住宅の土地と建物を取得し、歴史的建造物の適切な保存を行います。

#### **(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります**

- ・体育館屋根落下防止対策を進めることで、安全・安心な教育環境と避難所の確保を図ります。
- ・学校の衛生環境の向上を目指し、普通教室等への空調設備導入のための事業者選定を行います。
- ・小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。
- ・児童生徒が安心して通学ができるように、通学路等の安全の確保に努めます。
- ・小中学校の校務や授業で使用する情報機器を整備するとともに、授業等で使用できるソフトウェアの充実を図り、情報教育の推進を図ります。

#### **(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります**

- ・各公民館、図書館等における事業を充実させます。
- ・コミュニティカレッジさくらの活動事業を推進します。
- ・（仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設の整備に向け、敷地測量及び地質調査を行うとともに、基本設計・実施設計を実施します。
- ・市民音楽ホール客席の天井改修工事を実施し、安全性を確保するとともに、空調設備等をはじめ老朽化した設備の改修・修繕を実施し、利用環境を整備します。

## 3. 第2次・佐倉市立公民館活動計画

### ～ 魅力ある佐倉の人づくり、地域づくりをめざして ～

近年、少子高齢化の進行、科学技術の進歩、高度情報化の進展等に伴い、価値観が多様化し大きな社会変化をもたらしています。また、地縁関係の希薄化、コミュニティの人間関係の希薄化、核家族化の進行など地域をとりまく環境は大変厳しい状況になっております。

これからの公民館は、地域課題を的確にとらえ、地域教育力の向上・地域コミュニティの再生に向けた社会教育事業が求められています。

平成17年の「佐倉市公民館活動計画」策定から5年が経過しました。この間、平成18年に半世紀以上の時を経て教育基本法が改正され、「教育の目標」「生涯学習の理念」「家庭教育」「社会教育」「学校・家庭・地域の連携」が規定されました。この改正に伴い、平成20年には、社会教育行政の体制の整備等を図るため、社会教育法も大きく改正されました。

社会教育に関する教育基本法の主な改正点としては、「個人の要望や社会の要請にこたえる国及び地方公共団体による社会教育の奨励」が規定。さらに、教育の目標の一つに「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことが掲げられました。この点は、今後の社会教育行政の在り方を考える上で重要となります。

社会教育法の主な改正点としては、教育委員会の事務に「地域住民等による学習成果を活用した学校等における教育活動の機会の提供」「児童生徒に対し、放課後・休日に学習等の機会の提供」「家庭教育に関する情報の提供」「情報化の進展に対応し、必要な知識・技能に関する学習機会の提供」などが追加されました。また、運営の状況に関する評価等が新設され、「公民館は、運営状況に関する評価及び改善並びに地域住民等に対する情報提供に努めること」が新たに設けられました。また、改正社会教育法の施行に当たって、衆参両院の委員会から特段の配慮をすべき事項についての附帯決議もなされています。

このような状況を踏まえ、「第2次・佐倉市公民館活動計画」では、前計画の「公民館事業の展開」「職員の資質向上」の章に加え、「地域の人材育成」「公民館事業の評価」の二つの章を新設し、まったく新しい仕組みづくりに取り組みます。

佐倉市教育ビジョン（23年度から32年度まで）の改定に伴って定められた、基本理念とめざすべき佐倉市民像の具現化をめざした事業展開をしていきます。

#### 【教育ビジョンの基本理念】

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

#### 【教育ビジョンのめざすべき佐倉市民像】

- (1) 佐倉に誇りと愛着を持つ人
- (2) よく学び、自ら考え進んで行動する人
- (3) 豊かな心と創造力に富む人

また、平成23年度から第4次佐倉市総合計画による施策が展開されることから、総合計画と整合性を図り、社会の変化に対応しながら事業を展開していきます。

## 第1章 公民館事業の展開

1. 前計画での課題等
2. 今後の事業展開

## 第2章 地域人材の育成

1. 敗戦後の地域人材育成
2. 生涯学習時代の地域人材育成
3. バブル崩壊後の地域人材育成
4. 社会教育法改正と地域人材育成
5. 地域人材育成の仕組みを構築

・既存の「市民カレッジ」「しづ市民大学」「寿大学」等と、新たに事業展開する「地域コミュニティ事業」との連携を図り、「興味・関心で集う活動」の担い手と、「居住地域の活動」の担い手を相乗的に生み出していく仕組みを構築していきます。

・社会教育課と全公民館が共同して「地域コミュニティ事業」の展開を図ります。

### 地域コミュニティ事業の構想

・地域の教育力の低下、地域コミュニティの希薄化が進む中、自ら居住する地域に目を向け、生活課題に対して感心を高めるための学習機会を提供し、自ら地域を形成していこうとする気概と行動をおこす、新しい時代の「地域活動の担い手づくり」を図ります。また、地域のたまり場作りのきっかけづくりを支援して、地域の間人関係を醸成します。

- ① コミュニティカレッジ（2年制）
- ② 地域学びあい講座（市民企画講座）
- ③ 地域出前講座

## 第3章 公民館事業の評価

1. 行政評価導入の背景
2. 行政評価とは
3. 公民館と行政評価の現状
4. 社会教育法改正と外部評価導入
5. 佐倉市公民館事業評価の視点と取り組み
6. 佐倉市公民館事業評価の概要図

・佐倉市行政評価を活かして、目的に対する効率性の測定に努めます。  
・共通アンケートや外部評価を活かして、事業成果を中心とした測定に努めます。  
・公民館事業評価をとおして、事業の改善と職員の資質向上に努めます。

## 第4章 職員の資質向上

1. 館長・主事合同の初任者研修
2. 社会教育主事資格の取得
3. 公民館運営審議会委員への事業報告

## 4. 公民館運営審議会

---

佐倉市公民館運営審議会委員（期間 平成30年7月1日～令和2年6月30日）

氏名	所属等	備考
篠木 賢正	千葉県立佐倉南高等学校長	
三村 宏治	佐倉市立志津中学校長	
石川 昭彦	佐倉市立下志津小学校長	
鷹野 千恵子	佐倉市子ども会育成連盟	
松崎 裕美子	人権擁護委員	
村上 勲	学識経験者	
藤崎 言行	学識経験者	
浅井 俊彦	学識経験者	
林 義之	学識経験者	
慶田 康郎	学識経験者	
日向 和夫	学識経験者	
安保 昌浩	公募	
佐藤 光雄	公募	
鴫崎 金次	公募	
片山 喜久子	公募	

中央公民館



## 佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から５分の場所に位置する。

佐倉地区の人口は平成３１年３月末日で２８，６４８人であり、昨年に比べ１７０人の減となっている。

### 佐倉地区のデータ

【平成３１年３月末現在】

- 佐倉地区：面積 約２０．６ｋ㎡ （佐倉市：面積 １０３．６９ｋ㎡）
- 佐倉地区：住基人口 ２８，６４８人 （佐倉市：住基人口 １７５，４７６人）
- 佐倉地区：人口密度 １，３９０人/ｋ㎡ （佐倉市：人口密度 １，６９２人/ｋ㎡）

# 1. 公民館運営計画

---

## 運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「第2次・佐倉市立公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

## 努力目標

- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

## 事業内容

### 1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

#### (1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。  
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後5時まで。
- ② 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

#### (2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの  
机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

### 2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実に努めるため、学級講座の質的向上に努める。  
家庭教育講座、青少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

### 3. 団体育成事業

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援や、子ども会活動への支援、成人・高齢者グループの地域活動・ボランティア活動の支援を行う。

### 4. 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。  
中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

### 5. 展示事業

ロビー等の効果的活用を図る。  
利用者作品展、各種展示会の開催。

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用件数 (件)	6,611	6,546	6,265	5,930	5,364
利用人数 (人)	115,841	112,173	110,218	103,212	104,261
開館日数 (日)	333	335	333	333	333

### 平成 30 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,201	1,587	49.6%
研修室 1	3,201	1,571	49.1%
プレイルーム	3,201	602	18.8%
研修室 2	3,201	1,544	48.2%
研修室 3	3,201	1,477	46.1%
調理室	3,201	905	28.3%
和室	3,201	1,076	33.6%
会議室	3,201	1,708	53.4%
アトリエ	3,201	1,177	36.8%
工芸室	3,201	1,094	34.2%
学習室 1	3,201	1,774	55.4%
学習室 2	3,201	1,549	48.4%
学習室 3	3,201	1,875	58.6%

※有料化に伴い、使用申込を 1 時間単位にしたため、利用可能回数等が前年度より増加。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	3歳児親子あそびうた教室	3歳児と保護者 20組	5/15 4組8人 5/22 1組2人 6/ 5 4組8人 6/12 4組8人 6/19 4組8人 11/ 6 15組30人 11/20 19組39人 11/27 15組23人 12/ 4 12組28人 12/11 11組24人	手遊び、音楽(リトミック活動)、体操を通して健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育んだ。また、同年齢の幼児の触れ合い、保護者と幼児との触れ合い、保護者と保護者が交流する場として学習講座を開設した。
	家庭教育共通講座 親子で食育講座 「かまどでごはん」	小学生と親10組 ※多数時男性 保護者優先	3/ 9 8組17人	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学んだ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、男性保護者優先とした。
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学生5・6年生 20人	7/31 19人 8/ 2 15人 8/ 3 17人 8/18 26人 8/24 26人	宇宙について専門的な知識、経験をもつ宇宙アドバイザー協会の講師を招いて、宇宙飛行士、人工衛星についての講義や天体望遠鏡を使っての星空観察、ペットボトルロケットの作製をした。また、貸切バスでつくば市の筑波宇宙センターまで行き、宇宙に対する興味を深めた。
	佐倉市・女子美術大学 連携協働事業「JOSHIBI ワークショップ～佐倉花めぐり キャンドル～」	小学生 25人	8/21 24人	女子美術大学教員・学生の指導により、四季折々に、佐倉で咲く花をイメージして、キャンドルをつくった。
子どもの居場所作り	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に日頃の活動の成果を披露し、自主的な学習活動の楽しさを伝えた。			
	佐倉こどもかるた	小学生1～6年生	7/25 20人	佐倉こどもかるた子都手留会(しってるかい)が指導。かるたに描かれている名所や偉人等の説明を交えながらかるたを通して佐倉について学んだ。
	花とあそぼう・いけばな教室	小学生1～6年生	7/25 11人 7/26 12人	佐倉市華道連盟が指導。季節の花や草を使い、よい形になるいけ方や花の切り方を教えてもらいながらいけ花を作成した。
	楽しい日本舞踊	小学生1～6年生	7/26 10人 7/27 16人	佐倉華踊会が指導。浴衣の着付けや扇の使い方、お辞儀の仕方や挨拶といったの例作法についても学んだ。高学年の児童がお手本となり、下級生に教える様子も見られた。
	絵手紙を描こう	小学生1～6年生	7/31 10人 8/11 5人	佐倉城の辺地区社会福祉協議会が絵手紙の指導者を招いて実施。油性鉛筆や割りばしで描く技法を紹介。子ども達は完成した絵手紙にひとこと添え、お気に入りの一枚を発表し合った。
	子どもそば打ち体験教室	小学生5・6年生	8/ 6 10人	そば打ち愛好会が指導。粉をこねるところからそばを切り、ゆでるところまで子ども達に体験させ、手作りのつゆで試食した。
	子どもそば打ち体験教室	小学生5・6年生	8/ 7 11人	C級グルメそば打ち迷人が指導。粉をこねるところからそばを切り、ゆでるところまで子ども達に体験させ、手作りのつゆで試食した。
	スクエアダンスに挑戦しよう!	小学生1～6年生	8/ 3 6人	シャトー佐倉SDCが指導。音楽に合わせて、指示を聞きながら目まぐるしくフォーメーションを変えて踊る。ハイタッチを交えるなど世代間の交流を楽しみながら体験していた。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
子どもの居場所作り	夏休み料理教室	小学生3～6年生	8/10 22人	よもぎが指導。オムライス、豚肉とキャベツ・しめじのごま/マヨ炒め、チョコチップクッキーを調理。衛生の大切さ、片付けまでを学んだ。
	竹ひごで魚のモビールを作ろう	小学5・6年生	8/20, 23 7人	竹工芸友の会が指導。竹ひごを使い、魚のモビールを作った。各テーブルにそれぞれ講師がつき、竹ひごの扱い方を学んだ。
	和太鼓で遊ぼう！	小学生1～3年生 4～6年生	8/30 12人 11人	和太鼓教室佐倉ドンドコ塾が指導。指導を受ける中で、子ども達はお互いの良いところを手本にしながら太鼓のたたき方を学んだ。最後には合奏を楽しめるまでになった。
青少年教育	夏休み学習ルーム	小学生から 一般市民まで	7/28～8/31 利用者 137人	夏休み期間中、学習室1を自主学習の場として提供した。
	カブトムシを紙でつくろう！	小学4年生以上 20人	7/25 19人	カブトムシとキアゲハの模写標本を紙で作製し、虫の仕組みを学ぶことで、佐倉の自然環境に興味を持つきっかけとなった。
	通学合宿	小学4～6年生	9/17～20 3泊4日 21人 (佐倉小)	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性を高めた。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりの一助とした。  6/27 募集チラシ配布 7/6 カウンセラー説明会 7/13 募集締切(定員 21人/応募40人) 8/24 検討会会議 9/4 参加抽選会 9/10 参加者及び保護者説明会  ボランティア協力 千葉県立佐倉高等学校、千葉敬愛短期大学、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」
	親子映画会	幼児(保護者)、 小学生及び一般	7/30 349人 12/27 187人 3/23 123人	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しんだ。
	地域づくり講座	成人 20人	11/21 46人	地域人材による講習会を行い、地域へのつながりと興味を深めた。
成人教育	パソコン講座	成人 30人	11/10 2回25人 11/11 3回29人	初心者向けのパソコン講座として、ワード、エクセル、パワーポイントの他、インターネットやインスタグラムの体験講座を実施した。
	健康増進教室	成人 30人	10/6 28人 2/23 45人	介護予防に関する心身の健康に必要な方法や、家庭における健康管理に資することを学ぶ。第1回目は「高齢者が陥りやすい病気と転倒予防」、第2回は「脳を元気に認知症なんかこわくない」のテーマで講義した。
	無料映画会	成人 300人	3/6 61人	名作映画を鑑賞することで、映像文化に親しんだ。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
佐倉学	印旛沼公開講座（専門講座） 「いんば沼 ～歴史と環境～」 （生活環境課共催事業）	成人 90人	8/ 4 34人 9/ 1 53人 10/ 6 53人	印旛沼環境基金が主催し、生活環境課との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の状況と自然環境と水の浄化について学んだ。
	佐倉学講座 「印旛沼『臼井八景』～禅宗寺院の境致・臼井城主物語～」	成人 100人	11/24 2回 ①28人②26人 12/ 1 2回 ①16人②14人 12/15 1回21人	佐倉学講座として「印旛沼」の文化や自然をテーマに開催。今回は『臼井八景』撰320年を迎えて円応寺で古文書が発見されたことを踏まえてこれまでの研究の集大成を講師が語った。
	佐倉学講座 「佐倉・城下町」～新町周辺歴史散策～	成人 各20人	3/ 9 18人 3/16 15人	講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学んだ。
	佐倉学講座「佐倉・城下町」 「佐倉藩堀田家の江戸屋敷～歴史資料から見た屋敷のすがた2～」	成人 80人	3/23 91人	
	佐倉学講座 「古今佐倉真佐子を歩く」	成人 20人	3/24 12人	
	佐倉学入門講座 佐倉の文化 吉川英治「母の郷」、 「島尾敏雄」母を思う郷	成人 各100人	12/15 50人 12/22 35人	身近な題材として、民話や伝説、小説、映画、写真などから佐倉を学ぶ講座。今回は、吉川英治と島尾 敏雄の“母の郷”である佐倉を通して、郷土佐倉の歴史への興味を深めた。
	敬愛大学出張講座 「明治150年 津田梅子・佐藤志津に学ぶ ～国際社会に向き合う女性たち～」	成人 200人	12/15 171人	津田塾大学、女子美術大学、敬愛大学3大学連携による事業。佐倉市ゆかりの津田梅子と佐藤志津にスポットをあて、「女子教育・女子活躍」をキーワードとして、明治期に活躍した女性の生き方から、これからの時代を前向きに生きていくことを学んだ。
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース  《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会を提供する。
		1年1組 39人 1年2組 40人	5月～ 2月 61回	
		第2学年		
		2年1組 46人 2年2組 44人	5月～ 2月 65回	
		第3学年		
福祉コース 25人 歴史コース 27人 情報コース 21人 元気コース 20人	5月～ 2月 41回			
第4学年				
福祉コース 20人 歴史コース 26人 情報コース 18人 元気コース 26人	5月～ 2月 43回			
コミュニケーション事業	さくら学び塾 あの世にはもったいない「健康寿命を活かす秘訣」	成人 40人	11/19 26人 12/17 34人 1/22 25人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。健康寿命を延ばし維持するための食事・運動・脳活・医療等の管理と「元気なうちの終活」について学んだ。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体育成	佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会なし	活動休止	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加する。
	「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	幼児・児童・成人	民話を語るボランティア：市内小学校10校1095人 こどもかるた：市内小学校16校958人	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育んだ。
団体育成	中央公民館利用グループ懇談会	利用団体代表者約200団体	平成30年 3/23 209団体	利用者団体の交流を図り、公民館活動の利用について懇談した。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6/28 21人 12/20 21人	調理室の清掃と備品の確認を行った。調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図った。
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	年2回 各500部	公民館の事業紹介や募集、地域の様々な情報を提供した。
	「なかま」	市民	毎月1回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正をした。
	ホームページ	市民	4月～3月	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供した。
視聴覚ライブラリー事業	16ミリ映写機操作講習会	社会教育団体・一般 20人	6/16 4人	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図った。
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機保有施設	3月 1回	各施設所有の16ミリ映写機を、老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行った。
	佐倉市平和式典	一般	8/15 100人	佐倉市広報課主催。「佐倉市平和行政の基本に関する条例」（平和条例）に基づき、太平洋戦争終戦の日に、正午に黙とうをして、「佐倉平和の鐘」を鳴らし、戦没者の追悼と平和を祈念した。中央公民館からは、ライブラリー機材（音響設備）の貸出のため、職員2名が参加した。
	視聴覚機器貸出	登録団体	4月～3月 ソフト 179本 視聴者数 5,424人	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行った。平成30年度は映像ソフト179本を貸し出し、延べ5,424人が観覧した。またプロジェクター、スクリーン、音響セット等を延べ571点を貸し出した。

# 1. 家庭教育事業

## 3歳児親子あそびうた教室

①開設趣旨 手遊びと音楽（リトミック）を通して、健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育むことを目的とする。また、子どもと保護者、同年齢の子相互、保護者相互の触れ合いや交流をする場として学習講座を開設する。

②募集対象 3歳児と保護者 20組

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	5月15日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
2	5月22日(火) 10:00~11:00	歌と手遊び。絵本の読みきかせ。	山口 佳子 美谷島 克子
3	6月 5日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
4	6月12日(火) 10:00~11:00	歌と手遊び。絵本の読みきかせ。	山口 佳子 美谷島 克子
5	6月19日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月 6日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
2	11月20日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
3	11月27日(火) 10:00~11:00	歌と手遊び。絵本の読みきかせ。	美谷島 克子 山口 佳子
4	12月 4日(火) 10:00~11:00	歌と絵本の読みきかせ。	美谷島 克子 山口 佳子
5	12月11日(火) 10:00~11:00	クリスマス	美谷島 克子 山口 佳子



④講座を終えて 前半の参加者は総じて大人しく、保護者の膝の上で静かに絵本の読み聞かせを聞いたり、手遊びを保護者と一緒に行っている姿が毎回見られた。最終回を欠席した2人の保護者から、回数を増やしてほしい（子どもが慣れてきた頃に終了するのは残念）、早い時期で後期あるいは来年度のスケジュールが知りたいので、こほう等への周知時期を早くして欲しい、との要望があった。

最終日アンケート有効結果10組のうち「満足」が8組で80%の結果が得られている。また、のこり2組が「やや満足」を回答しており、不満のアンケート結果は見られなかった。子ども達も育ち盛りで「体を動かすプログラム」への評価が70%の多数意見があったが、「ピアノ」やクリスマス会への評価もあった。「絵本の読み聞かせ」の見せ方の工夫や、リトミックの多様化をはかることにより、改善を行いたい。

### 親子で食育講座「かまどでごはん」

①開設趣旨 本講座は、佐倉市の食育推進事業と男女共同参画事業のひとつに位置づけられているものである。佐倉武家屋敷旧但馬家のかまどでごはんを炊き、日本の食文化を学ぶ。また、佐倉産の食材のみ用いることで、佐倉の魅力を若い世代に知ってもらう機会とする。

②募集対象 小学3年生～6年生と保護者 10組20人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	3月9日(土) 10:00～13:00	武家屋敷のかまどでごはんを炊き、みそ汁を作る。米作りについて学ぶ。	千葉県立房総のむら技術員

④講座を終えて 参加者は親子8組17人、そのうち父親は2人であった。参加者は講師の指導の下、かまどに薪をくべて火を付けるところから体験をした。竹筒で空気を送り、薪に火を付ける。羽釜から漏れる湯気の匂いなどをたよりに薪の量を調整する。炊きあがり、羽釜の蓋を取った瞬間に子どもたちの大きな歓声が聞かれた。保護者対象のアンケートからも「子どもにとって初めての経験で良かった」と、普段なかなかできない体験を親子で楽しんでもらえたようである。

また、ごはんを炊いている合間にみそ汁を作った。味噌は佐倉唯一の味噌醸造業者である「株式会社 ヤマニ味噌」より提供いただいた「ヤマニ味噌」を使った。味噌だけでなく、米や大根、小松菜等も佐倉産のものに限定した。出来上がったものを参加者全員で試食、かまどで炊いたお米の甘さを味わった。講師より米作りについて写真を交えながらの講義を実施、「お米」への関心を高め講座は終了した。

かまどの上方にある窓から煙が出ていく仕組みに驚いた参加者もあり、武家屋敷を会場としたことに大きな意味を持たせられた。親子で協力して調理をする良い機会でもあり、今後もより多くの人に体験してもらおうべく、対象や開催時期を検討したい。

## 2. 青少年教育事業

### 夏休み子どもゼミナール

①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々に講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。ロケット・人工衛星・宇宙飛行士・天体の4つに的を絞って「宇宙の4つのナゾ」に関わる講義を行う。また、今年度から新たに貸切バスを使用して、筑波宇宙センターでの見学ツアーを実施し、実物の宇宙服や人工衛星等ガイドを交えて見学することで、より宇宙に関する興味を深める。

②募集対象 各講座おおむね小学5年生以上 20人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容
1	7月31日(火) 10:00~11:30	エピソードⅠ ナゾ① ISS・宇宙飛行士について：宇宙飛行士になるにはどうしたらよいの？ 宇宙飛行士と宇宙飛行士を支える人々について講師自身の経験を中心にご講義いただき、宇宙業界に携わる可能性は誰にでもあるということを感じてもらおう。
2	8月2日(木) 10:00~11:30	エピソードⅠ ナゾ② ロケットはなぜ飛ぶの？ ～ロケット工作をしよう～ 工作ロケットを圧力で飛ばすことによりロケットの構造と飛び方について楽しく学ぶ。
3	8月3日(金) 10:00~11:30	エピソードⅠ ナゾ③ 人工衛星はどんな役割があるのかな？ ～宇宙から見る私たちの地球～ ロケットが宇宙へ運ぶもの“人工衛星”について、どんな人工衛星があるのか、その役割など分かりやすくご講義いただく。
4	8月18日(土) 19:00~20:30	エピソードⅡ ナゾ④ 天体望遠鏡で星はどのように見えるのかな？ 天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのか学ぶ。
5	8月24日(金) 8:00~15:00	エクストラ(番外編) 筑波宇宙センターでガイド付き見学ツアーを実施する。

④講座を終えて 昨年度に続いて熱心な児童が多かった。特に天体望遠鏡で星を観察する講座は応募者が多く、参加した児童は保護者と一緒に星を観察することで、親子の関係も深まったと思われる。

他の講義についても、ペットボトルロケットを工作し飛ばしたり、最近の人工衛星の話題について動画を使って説明したりしてわかりやすく、かつ楽しく学習できる内容であった。対象年齢は「おおむね小学5年生以上」であり、小学4年生から中学3年生まで幅広い層の参加となった。すべての講座で、保護者も参加可能な講座とし、保護者も一緒に楽しめる講義であった。

人工衛星の役割について学ぶ講座は、成人を対象とした講座として実施しても楽しめる内容であったため、来年度は一般向けの公開講座も計画したい。今年度から和田公民館と共催事業として、星の観察(主に夏の大三角形)の会場を「和田ふるさと館」

とした。中央公民館よりも自然にめぐまれていて星もよく見えるため、来年度も同じ内容を行う予定である。

また、貸切バスで筑波宇宙センターに行く「JAXA探検ツアー」を開催した。アンケート結果からも、満足度は高く、今後も参加者のニーズにあった満足度の高い内容を目指したい。

### JOSHIBIワークショップ

①開設趣旨 本事業は平成24年4月2日付けで締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する。参加児童は芸術を手段として自分の「考えていること」「感じていること」「伝えたいこと」を表現することを体験し、学生は現場での実践をとおして芸術教育の意義を学ぶことをねらいとする。

②募集対象 小学3年生～6年生 25人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	8月21日(火) 13:30～16:00	女子美術大学の学生の指導によりいろいろな型にクレヨンを溶かしたカラフルな蠟を重ねて入れたり、キラキラ素材を工夫して、佐倉で季節ごとに咲く花をイメージしたカラフルキャンドルをつくる。	女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域3年(監修:南島 隆教授)

④講座を終えて 「こうほう佐倉」7月15日号、各公民館と佐倉小、内郷小、佐倉東小、白銀小へのチラシ配布を行った。応募者は25人。当日は24名が出席し、女子美術大生の指導のもと、キャンドルを2つ作った。

アンケートの結果、参加児童・保護者の満足度は高く、参加者全員から「満足」という回答を得た。低学年でも取り組やすく、色の組み合わせも楽しく、子供たちの意欲を高めた様子。また、当日の様子からも見て取れたが、大学生による作成指導、支援は参加児童や保護者からも好評であり、次回への期待が読み取れる。

## 子どもの居場所作り

- ①開設趣旨 夏休みの子どもたちの居場所を公民館が提供し、公民館利用グループの学習に子どもたちを参加させることで、各グループの学習の成果を発揮し、子どもたちと地域グループの交流を目指す。
- ②募集対象 小学生（主に佐倉地区4小学校） 定員延べ194人
- ③開催期間 小学生の夏休み期間 全14回
- ④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月25日(水) 10:00~11:30	佐倉こどもかるた	佐倉こどもかるた 子都手留会
2	7月25日(水)、 26日(木) 10:00~12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
3	7月26日(木)、 27日(金) 9:30~11:30	楽しい日本舞踊	佐倉華踊会
4	7月31日(火)、 13:30~15:30 8月11日(日) 9:30~11:30	「絵手紙」を描こう	佐倉城の辺地区社 会福祉協議会
5	8月 6日(月) 9:30~12:30	子どもそば打ち体験教室	そば打ち愛好会
6	8月 7日(火) 9:30~12:30	子どもそば打ち体験教室	C級グルメそば打 ち迷人
7	8月 3日(金) 13:00~14:00	スクエアダンスに挑戦しよう!	シャトー佐倉SD C
8	8月10日(金) 9:30~12:15	夏休み子ども料理教室	よもぎ
9	8月20日(月)、 23日(木) 9:30~12:00	竹ひごで魚のモビールを作ろう	竹工芸友の会
10	8月30日(木) 9:30~12:00	和太鼓で遊ぼう!	佐倉ドンドコ塾

- ⑤講座を終えて 公民館利用グループの協力を得て、10団体の公民館利用グループにより実施した。今年度は全体で延べ163名の参加があった。1人で複数の教室に参加した児童もいた。毎年参加してくれる児童もいる。講師役を務める公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。

### 「カブトムシを紙でつくろう！」

- ①開設趣旨 模写標本の作製をして昆虫の生態等を学び、身近な自然環境に興味を持ってもらう。
- ②募集対象 小学4年生以上 20人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	7月25日(水) 9:30~12:30	昆虫の特性や構造について学んだ後、カブトムシとキアゲハを紙で作製	元千葉敬愛短期大学学長 堀田 和弘

- ④講座を終えて この講座は、昆虫の特性や構造について学んだ後、キアゲハとカブトムシを紙で作製するという順序で進めた。受講者は、小学生だけでなく、その保護者や成人も参加し、年齢を問わず、長時間、集中して作製に取り組んでいた。また、異年齢の受講者間で協力して作製を進めるという場面もあった。

講師が紙で作成するキアゲハは、マスコミにも取り上げられるほど非常に精緻なものであり、キアゲハとカブトムシ2つを完成させるには、3時間では時間が足りず、多くの参加者が時間を過ぎてても残って作製していた。従って、来年度以降は作製時間を増やすか、キアゲハまたはカブトムシどちらかに絞る必要があると感じた。しかし、多くの参加者が長時間集中して取り組み、集中力を高めるのにいい機会であった。

### 通学合宿

- ①開設趣旨 小学校4年生～6年生が自宅を離れて集団生活を行い、生活体験をとおして「お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育むこと」、「日常生活に必要な生活技能を習得すること」を目的とする。また、地域の方々が子どもの生活体験活動に関わることにより、地域のつながりを深め、地域の教育力のさらなる向上を目指し、併せて親が一定期間、子どもと離れて生活することで、日頃の親子関係を見直し、家庭の教育力の向上を目指す。
- ②募集対象 佐倉小学校4年生～6年生 21人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	スケジュール	会場	ボランティア協力
1	9月17日 (月・祝)～ 9月20日(木)	開校式・閉校式 献立決め・買物・ 朝食・夕食(調理、 後片付け)・洗濯・ 入浴・清掃	千葉県立佐倉 高等学校セミ ナーハウス	千葉敬愛短期大学、千葉県立佐倉高等学校、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」

- ④講座を終えて 佐倉小学校の通学合宿では、児童21人募集のところ41人の応募があったため、抽選を実施し21人で通学合宿を実施した。当事業においては、千葉敬愛短期大学の学生6人と市民カレッジ佐倉地区同窓会をはじめ、延べ21人のボランティアの方々に参加いただき、登下校の付き添い、夕食の調理補助をしていただいた。

通学合宿期間中は、子ども達が班毎に、約30人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け片付けまでを行った。また、掃除、洗濯、宿題をしながら普段どおり学校に通うため、4日間大変厳しいスケジュールであったが、アンケートでは参加児童全員が「また参加したい」と回答している。また「料理を学ぶことができた」「お母さんの大変さがわかった」といった意見が寄せられた。保護者のアンケートからは、「とても満足そうな表情をしていた」「自分たちでやり切ったということが自信につながって

いるようだ。」「以前より食材に興味を持つようになり、スーパーで質問してくるようになった」「身内以外の大人と生活し話ができることは貴重な経験で、通学合宿の後、子どもと話しやすくなった。」など好意的な意見が大半であった。

全体としては、大きな事故・病気もなく、4日間充実した体験活動を行うことができたので、参加者全員にとって非常に有意義な時間を過ごせたと感じる。

特にカウンセラーが短期間で子ども達と良好な関係を築き、おとなしい児童にも声をかけ輪の中に入れるなど分け隔てなく寄り添ってくれたことが大きい。ほとんどの参加児童が4日間楽しく過ごせたのではないかと思う。

また期間中、部活のない児童が毎朝自主的にカウンセラーの食器洗いを手伝ったり、上級生が下級生の面倒を見たりするなどの場面も見られた。

子ども達の内面の変化は目に見えないが、4日間、子ども達が自分たちの力で共同生活を送ることで、お互いに助け合う心、周囲を思いやる心がはぐくまれているのではないかと思う。

### 3. 成人教育事業

#### 地域づくり講座

- ①開設趣旨 地域で健康づくりの活動で活躍している人材を講師として招いて健康体操を実施し、地域住民の健康増進を図り、仲間づくり、地域づくりにつなげる。
- ②募集対象 成人 20人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月21日(水) 10:00~12:00	“自力整体と笑いヨガ”体とこころの元気を目指そう!	秋田 美智子(自力整体ナビゲーター)

- ④講座を終えて 今年度で2回目になるが、日常生活でも実施しやすく健康維持に役立てることが出来き、満足度の高い講座であった。また、昨年参加してくれた方が、この講座の後、秋田講師の地域での講習会に継続して参加しているという方もいた。このような方が今後も増え、自身また家族そして地域で、健康に対する関心が広がることを目的にしていきたい。

#### 佐倉市民カレッジ情報コース卒業生による初心者向けパソコン講座

- ①開設趣旨 初級者を対象にパソコンに興味を持ってもらう講座を開くとともに、情報分野の裾野を発展させるよう図る。
- ②募集対象 成人 65人(5回 各回10~15人程度)
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月10日(土) 10:00~15:00	Word講座	市民カレッジ情報コース卒業生
2	11月10日(土) 13:00~15:00	インスタグラム体験講座	市民カレッジ情報コース卒業生
3	11月11日(日) 10:00~12:00	エクセル講座	市民カレッジ情報コース卒業生
4	11月11日(日) 13:00~15:00	パワーポイント活用講座	市民カレッジ情報コース卒業生
5	11月11日(日) 13:00~15:00	インターネット講座	市民カレッジ情報コース卒業生

- ④講座を終えて パソコン初心者を対象にした講座を市民カレッジ情報コース卒業生の協力を得て行った。受講者とスタッフがマンツーマンで丁寧に対応し、パソコンに初めてふれる方にも対応できる講座となっていた。市民カレッジ情報コース卒業生の社会貢献の場として有意義なイベントと言えるが、新たな需要に対応していけるかが今後の課題である。

## 健康増進教室

①開設趣旨 高齢者が介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を営むようにするため、地域の諸団体と連携をし、介護予防に関する心身の健康に必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月6日(土) 13:30~15:30	講演「高齢者が陥りやすい病気と転倒予防」—こうして延ばす健康寿命、誰でも出来る簡単筋トレ—	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ
2	2月23日(土) 13:30~15:30	「脳を元気に！認知症なんてこわくない」～自分らしい人生をおくるために～	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ

④講座を終えて 公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエとの共催の講座。

各回とも前半の講演から参加者に問いかけながら進めたことで、活発な意見交換の場となり、場の雰囲気も和み多くの意見が出された。また後半の懇談会でも、活発に意見、質問が出て、演題に関する理解を深めるとともに、参加者の交流も深まった。

2回目の講演は、昨年度以前からも、参加者のリクエストにも出ていた「認知症」について行われた。認知症について現場のスタッフから話を詳しく聞くことができ、満足度が高い講演となった。現場のスタッフから専門的な話を分かりやすく聞くことのできる本講座は、参加者の満足度は高く、地域の高齢者福祉施設と言うこともあり、地域のつながりにもなる講座であるため、今後も継続していきたい。



**佐倉学講座「印旛沼」撰320年記念『臼井八景』—禅宗寺院の境致・臼井城主物語—**

①開設趣旨 印旛沼の文化や自然をテーマに毎年開催している。佐倉・北総の豊かな自然を将来に残すためにはどうしたらいいか、講座を通して学習するものである。「臼井八景」が6月1日付で佐倉市民文化資産となったことを受けて、臼井八景・八カ寺めぐり実行委員会代表 森秀夫氏に語っていただいた。

②募集対象 成人 100人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月24日(土) 10:00~12:00	「臼井八景」の時代と撰者(宋的・信齋)	臼井八景・八カ寺めぐり実行委員会代表 森秀夫氏
2	11月24日(土) 13:00~15:00	叙文(信齋の心情)	臼井八景・八カ寺めぐり実行委員会代表 森秀夫氏
3	12月1日(土) 10:00~12:00	宋的の八景詩	臼井八景・八カ寺めぐり実行委員会代表 森秀夫氏
4	12月1日(土) 13:00~15:00	信齋の八景詩	臼井八景・八カ寺めぐり実行委員会代表 森秀夫氏
5	12月15日(土) 13:00~15:00	臼井八景の跋文(宋的の心情)を再考して	臼井八景・八カ寺めぐり実行委員会代表 森秀夫氏

④講座を終えて この講座は、成人を対象とした「佐倉学」の一講座である。

講義は非常に完成度の高い写真データを使用して、講師のユーモアを交えながら進められた。長い時間をかけて撮影された労作を、受講者も前傾姿勢で臨んでおり、熱心にメモをとり、講義終盤では興味深く質疑応答が行われた。質の高い講義に学習意欲のある受講者が多数参加したことから、このような講座は今後も続けていきたいと考えている。

**佐倉学講座「続：佐倉藩堀田家の江戸屋敷～歴史的資料からみた屋敷のすがた～VOL. 2」・「佐倉・城下町新町周辺歴史散策」**

①開設趣旨 これまで注目されてなかった佐倉藩の江戸屋敷（上屋敷・中屋敷・下屋敷）について講師がフィールドワークによって得た知識と豊富な歴史的資料・現地写真などから解説を行う講座であり、「歴史のまち佐倉」と江戸や各地域との関係について前年度では語り切れなかった内容を学ぶ。

②募集対象 散策：成人 各20人  
講演：成人 80人

③プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	3月9日（土） 13:30～15:30	新町周辺散策 佐倉市立美術館—裏新町—共同井戸—獄舎跡—新町郵便局脇の坂—松林寺—数屋酒店—勝寿寺—教安寺—妙隆寺—肴町—甚大寺—堀田家墓所—おはやし館（指定文化財山車人形）—木村屋—吉田家—旧平井家—裏新町—山口家（市登録）—佐倉市立美術館	NPO法人 佐倉一里塚
2	3月16日（土） 13:30～15:30	散策経路：3月9日（土）と同様	NPO法人 佐倉一里塚
3	3月23日（土） 13:00～15:00	講演「佐倉藩堀田家の江戸屋敷～歴史的資料からみた屋敷のすがた～」	酒々井町文化財審議会会長 高橋 健一

④講座を終えて 平成21年度から、佐倉城とその城下町が整備された時代をテーマとして開催している。今年度も昨年度に続き、江戸にあった佐倉藩の江戸屋敷（上屋敷・中屋敷・下屋敷）を扱ったが、講師の人気の高さや内容の斬新さなどが相まって、定員を超える応募があり、参加者からも好評な講座である。散策は両日ともに天気に恵まれたこと、講演も歴代藩主の細かな史実を学ぶことができたことから、アンケートの結果も好評であった。今後も継続していきたい事業である。

**佐倉学講座 佐倉と文化 全2回**

①開設趣旨 本講座は、「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、「人材の育成」と「新しい地域文化の創造」を目指すとともに、郷土愛を育むこと、関心を高めることを目的として実施する。

今年度は、「母の郷、母を思う郷」をテーマに、第1回目「吉川英治—母の郷—佐倉」、第2回目「島尾敏雄—母を思う郷—佐倉」とし、佐倉の歴史と郷土への興味関心を深めることをねらいとする。

②募集対象 成人 各100人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月15日(土) 10:00~12:00	吉川英治一母の郷一佐倉	エッセイスト 高比良 直美
2	12月22日(土) 10:00~12:00	島尾敏雄一母を思う郷一佐倉	エッセイスト 高比良 直美

④講座を終えて 本講座は、「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育むこと、関心を高めることを目的として実施するものである。

今回は、「母の郷、母を思う郷」をメインテーマに、第1回目「吉川英治一母の郷一佐倉」、第2回目「島尾敏雄一母を思う郷一佐倉」と、それぞれ“母の郷”である佐倉を通して、エッセイストの高比良直美先生からお話を聞き、郷土佐倉の歴史への興味を深めた。

### 印旛沼環境基金公開講座 ーかつてのいんば沼を語るー

①開設趣旨 本講座は、公益財団法人印旛沼環境基金が主催し、佐倉市生活環境課と当館が共催する事業であり、平成17年度から継続して開催している。当館は各開催日において参加者の受付・資料配布・案内等を担当し、佐倉市民カレッジふるさと歴史コースの前年度卒業生にボランティアとして協力していただいている。

本講座は、印旛沼流域内・外の住民を対象として開催するもので、印旛沼及び流域における動植物の生態系や歴史・文化等について深く理解していただき、印旛沼への愛着を深めていただくことを目的としている。平成30年度は、「かつての印旛沼周辺の悲惨な洪水と戦いながら、農業や漁業を生業として生活を営んできた古老たちの貴重な体験談を聞き、今の印旛沼の恵みを理解する」というテーマで3回の講演が行われた。

②募集対象 成人 各90人

③プログラム (毎回、公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員の本橋敬之助氏が座長として参加)

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	8月4日(土) 13:30~16:00	農業と洪水	飯塚昭一さん 大沼政行さん 出山耕子さん
2	9月1日(土) 13:30~16:00	沼の姿と漁	石井正美さん 出山輝夫さん 平山猛夫さん
3	10月6日(土) 13:30~16:00	生活と風習	出山耕子さん 武田一広さん 吉岡敏夫さん

④講座を終えて 印旛沼について、興味と知識を持った参加者が多く集まり、活発な質疑応答が行われるなど、印旛沼の環境改善に対する意識向上に資する事業であったと考える。

### 佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」

①開設趣旨 江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。これ

までは佐倉の歴史といえば幕末・明治期が注目されてきたが、「古今佐倉真佐子」に記述された場所を散策し、作者が歩いた佐倉城とその城下町を参加者も実際に歩き、体感する。佐倉・城下町400年記念事業として、1611年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって、都市としての佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」への愛着を深める。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	3月24日(日) 9:00~12:00	散策経路：広小路→三の門→二の門→一の門→本丸→台所門→二の丸→椎木門→椎木曲輪→愛宕神社跡→田町門→ゴケ曲輪→杉坂・七曲がり坂下→姥ヶ池(ため池)→体育館前(解散)	猪股 佳二 (佐倉市立中央公民館館長)

④講座を終えて 平成25年度から実施している事業で、今年度で6回目となる。

今年度は、毎年講師をお願いしていたNPO法人の方の体調不良により、急遽、本市の文化課に勤務経験のある当館の館長が講師を務めることになった。

江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。普段何気なく歩いている佐倉城址公園を、絵図を見ながら、「古今佐倉真佐子」に記されている当時の様子がまざまざと目に浮かぶような解説を聞きながら散策することで、「歴史のまち佐倉」の理解、関心が深まるような、意義深い講座であったと思う。参加者にも、「また参加したい」、「講師の説明がよかった」、「お話がとても面白かった」等、好評であり、満足度が高いようだった。

### 敬愛大学出張講座【津田塾大学・女子美術大学・敬愛大学 3大学連携】「明治150年 津田梅子・佐藤志津に学ぶ ～国際社会に向き合う女性たち～」

①開設趣旨 津田塾大学、女子美術大学、敬愛大学3大学による連携事業。佐倉市ゆかりの津田梅子と佐藤志津にスポットをあて、「女子教育・女子活躍」をキーワードとして、明治期に活躍した女性の生き方から、これからの時代を前向きに生きていくことを学ぶ。

②募集対象 成人 200人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月15日(土) 13:15~16:00	講演1「現代に生きる津田梅子からの学び」 講演2「私立女子美術学校を支えた佐倉出身の偉人佐藤志津の生涯と功績」 オープンディスカッション	津田塾大学英文学科教授 大類久恵 女子美術大学歴史資料室学芸員 高橋直子 敬愛大学国際学部教授 村川 庸子

④講座を終えて 本講座は明治150年を記念し佐倉市と連携を結んでいる3大学のご協力のもと開催した。事前申込者は154人、当日の参加者は171人であった。アンケートから読み取れる参加者の年齢は60歳代以上が占める割合が多く、津田梅

子・佐藤志津への関心の高さが読み取れる。また、当時は会場内に各大学の紹介コーナーを設置し、大学要項や資料などを配布した。今後は、こうした歴史に関する講演会への参加が少ない若年世代へのアプローチを検討していく必要がある。

## 4. 高齢者教育事業

### 四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

#### 1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

#### 2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会(現在は超高齢社会)の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下、市民カレッジという。)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

#### 3. 入学対象・定員

##### (1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

##### (2) 定員：100人(年齢別募集・定員を超えた場合は抽選)

※各学年の年齢構成は以下のとおり

60歳以上	80人
60歳以上で過去5年間に入学抽選に2回落選している方	10人
40歳から59歳まで	10人

なお、平成30年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	60歳以上 80人	79人	79人
	60歳以上で過去5年間に 入学抽選に2回落選してい る方 10人	0人	0人
	40歳から59歳まで 10人	0人	0人
	計 100人	計 79人	計 79人

※平成30年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	39	79	37	73
	2 組	40		36	
第2学年	1 組	46	90	45	86
	2 組	44		41	
第3学年	福 祉	25	93	25	91
	歴 史	27		27	
	情 報	21		21	
	元 気	20		18	
第4学年	福 祉	20	90	19	88
	歴 史	26		26	
	情 報	18		18	
	元 気	26		25	
計			352		338

#### 4. 佐倉市民カレッジの学習内容

##### (1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約70日で、約126単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

なお、具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練等参加型の講義も実施している。

##### (2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約84単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

##### ①「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、佐倉ホワイエでの傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。



## ②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

## ③「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成。4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット296スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

## ④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

## 5. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、千葉地方検察庁、千葉県警察、千葉県立中央博物館、佐倉市八街市酒々井町消防組合、広域高速ネット296、順天堂大学、女子美術大学、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。

また、これらを含めた平成30年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

①1年 市内めぐり

6月5日、6月12日にクラス別にそれぞれ実施した。佐倉市・酒々井リサイクル文化センター・和田ふるさと館歴史民俗資料室など市内外の様々な施設を見学してまわった。また、昼食時には川村記念美術館庭園の散策等を行った。リサイクル文化センターではごみの処理について講義を受け、カレッジ生からも活発な質問が多くあった。和田ふるさと館では「はたおり保存会」が開催される「はたおり体験」を行った。体験により貴重な活動内容について見識を深めたと言える。佐倉市について理解を深めることができ、特にこれまで知る機会のなかった地域について理解を深めることができたとの感想がカレッジ生より多く寄せられた。

②専攻課程各コースの校外学習

3 学年	5月24日	歴史	大佐倉歴史散策
	6月7日	元気	ウォークラリー
	6月7日	福祉	佐倉ホワイエ見学・体験
	6月21日	福祉	千葉県立千葉盲学校・体験
	6月28日	情報	東京情報大学見学と講義
	6月28日	歴史	臼井の歴史散策
	9月13日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	9月20日	歴史	佐倉地区（城址公園）の歴史散策
	10月4日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	10月11日	福祉	国際福祉機器展見学（東京ビッグサイト）
	11月8日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	10月11日	歴史	成田山の歴史を学ぶ（散策）
	10月25日	福祉	特別老萩老人ホーム佐倉白翠園見学
	11月22日	歴史	志津の歴史散策
	1月31日	福祉	佐倉ホワイエ体験学習
4 学年	5月23日	歴史	新町の歴史散策
	6月20日	福祉	木の宮学園見学・講義
	7月14日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ（散策）
	9月12日	情報	情報発信の現場を見てみよう（読売新聞東京本社／印刷博物館）
	9月19日	4コース合同	草ぶえの丘で自然観察と陶芸
	10月10日	福祉・歴史・元気	学び合い学習（歴史コースによる、歴史・元気コースへの佐倉の史跡案内）
	11月7日	歴史・情報	学び合い学習（歴史コースによる、情報コースへの佐倉の史跡案内）
	11月28日	福祉	佐倉ホワイエでの体験学習
12月12日	歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義	

## 6. 平成30年度の主な行事

### (1) 始業式・入学式

5月13日(日)に、始業式及び入学式が行われ、79人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長の蕨和雄総長から「市民カレッジの建学の精神である「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他(た)に尽くす」を常に心掛け、知識と人格共に備わったカレッジ生として、ご卒業を迎えられた後は、将来にわたり住み続けたいまち「ふるさと佐倉」の創生のため、地域活動のリーダーとしてご活躍いただきますことを心より切に願っております。」(抜粋)との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎のことば」が新入生に送られ、これを受けて新入生は「入学のことば」を話した。

### (2) 佐倉市民カレッジスポーツフェスティバル

市民体育館を会場に9月28日(金)に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、ユニカール、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心とした手作り運動会となった。

### (3) 文化祭

11月14日(水)から11月16日(金)にわたりグループ活動や展示活動が行われた。カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施された。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表(パネル展示・研究発表等)への参加があり、多くの方々が交流と親睦を深めることができた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設入居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーにお越しいただいた。地域の方々の満足度を高められるようなカレッジ生による文化祭は今後も意義が大きいと思われる。

最終日の11月17日(土)舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、楽しく有意義な一時が持たれた。

### (4) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成31年1月18日(金)に蕨和雄総長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「山野草と小径の会」「さくら道26」「佐倉とっておきスポット発見隊」「佐倉こぐこぐ自転車隊」「十三名の軍師26」「ホットクラブ“ひまわり”」「いきいきサイクリング26」の7グループであった。

### (5) 修了式・卒業式

平成31年2月10日(日)に修了式、続いて卒業式を行った。

皆勤者15人を含む佐倉市民カレッジ第24期生88人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

蕨和雄総長は「市民カレッジの建学の精神には、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」とございます。幅広い分野を学習し、地域活動を実践

してられました卒業生の皆様には、まちづくりの主役としての役割が期待されております。一期一会を大切に、縁あって出会った多くの仲間と共に力を合わせ、今後も益々ご活躍されますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、式辞とさせていただきます。」(抜粋)との言葉を述べた。

## **7. 佐倉市民カレッジ生の課外活動**

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.15 (火)	オリエンテー ション	学ぶことの意義 -公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要- 自己紹介・役員選出等				館長 社会教育指導員
3	5.22 (火)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課	地域活動 (1)	環境美化活動にみるボ ランティアの楽しさ	カレッジ卒業生・ 社会教育指導員
4	5.29 (火)	健康づくり (1)	ウォークラリー -坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く- ※雨天の場合は座学				社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
5	6.5 (火)	地域を知る (2)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前9時00集合 午前9時10出発 午後3時半京成 佐倉駅北口解散 ※雨天決行 見学地：酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館 DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学 元社会教育指導員 内田儀久				社会教育指導員
		生涯学習の 楽しさ(1)	2組 ホームルーム スポーツフェスティバル・文 化祭に向けて等	中央公民館職員 社会教育指導員	地域活動(2)	2組 自治会等の役割 と市民協働について	自治人権推進課
6	6.12 (火)	地域を知る (2)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前9時00集合 午前9時10出発 午後3時半京成 佐倉駅北口解散 ※雨天決行 見学地：酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館 DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学 元社会教育指導員 内田儀久				社会教育指導員
		生涯学習の 楽しさ(1)	1組 ホームルーム スポーツフェスティバル・文 化祭に向けて等	中央公民館職員 社会教育指導員	地域活動(2)	1組 自治会等の役割 と市民協働について	自治人権推進課
7	6.19 (火)	自然と環境 (1)	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助	芸術と文化 (1)	収蔵作品展2	佐倉市立美術館 学芸員
8	6.26 (火)	生涯学習の 楽しさ(2)	スポーツフェスティバ ルに向けて等	社会教育指導員	芸術と文化 (2)	房総ゆかりの作家 —波の伊八と葛飾北斎—	筑波大学 名誉教授 齊藤泰嘉
9	7.3 (火)	地域活動(3)	1組 地域活動の実践 者に学ぶ(現地視察)	一里塚、手づくり工房 さくら、おはやし館	私の生きがい (1)	1組 私の生きがい	社会教育指導員
		私の生きがい (1)	2組 私の生きがい	社会教育指導員	地域活動(3)	2組 地域活動の実践 者に学ぶ(現地視察)	一里塚、手づくり工房 さくら、おはやし館
10	7.10 (火)	健康づくり (2)	食品衛生について —食中毒とアレルギー—	印旛健康福祉センター 食品衛生担当者	高齢者を取り巻 く犯罪と交通の 知識	振込め詐欺と交通安全	千葉県警察 佐倉警察署
11	7.17 (火)	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会	市政を学ぶ (1)	佐倉市の財政と総合計 画について	財政課 企画政策課
12	9.4 (火)	私の生きがい (2)	私の生きがい発表				社会教育指導員
13	9.11 (火)	地域を知る (3)	佐倉市の農業	JA千葉みらい 組織指導課 課長 根本晴彦	文学 (1)	郷土の歌人 —香取秀真の 短歌に親しむ—	斎藤茂吉記念館長 秋葉四郎
14	9.18 (火)	健康づくり (2)	楽しみながらできる 健康づくり —理論とカレッジ体操—	順天堂大学名誉教授 武井正子	健康づくり (3)	リズムダンス	社会教育指導員/ 元気コース卒業生
15	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
16	10.2 (火)	世代間交流 (1)	世代間交流に向けて 概要説明・DVD視聴等	社会教育指導員	生涯学習の 楽しさ(4)	文化祭に向けて	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (2)

学習時間		午前10時～11時50分				午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師	
17	10.9 (火)	自然と環境 (2)	北総地域の環境から生まれた野菜行商	千葉県立中央博物館 自然誌・歴史研究部 歴史学研究科長 小林裕美	文学 (2)	『源氏物語』を語る	東京情報大学名誉教授 松田 喜好	
18	10.16 (火)	健康づくり (4)	リズム体操	(財)日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子	市政を学ぶ (2)	佐倉市の環境保全施策 佐倉市のごみの減量・ 再資源化について	生活環境課 廃棄物対策課	
19	10.23 (火)	生涯学習の楽し さ(5)	カレッジ文化祭に向けて 研究・活動発表、作品展示の事前確認・舞台発表の練習				社会教育指導員	
20	10.30 (火)	自然と環境 (3)	里山の生態	東京情報大学 教授 原 慶太郎	地域活動 (5)	佐原まちぐるみ博物館に学ぶ	佐原おかみさん会	
21		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員	
22	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員	
23	11.20 (火)	世代間交流 (2)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 非常勤研究員 高橋知也	地域を知る (4)	印旛沼と人々の生活 —江戸時代の干拓事業—	元成田高校教諭 鏑木行廣	
24	11.27 (火)	世代間交流 (3)	小学生との交流に 向けて —話し合い—	社会教育指導員	世代間交流 (4)	小学生との交流に 向けて —活動準備—	社会教育指導員	
25	12.4 (火)	世代間交流 (5)	小学生との交流 —市内小学校で体験—	社会教育指導員	世代間交流 (6)	小学生との交流 —振り返り—	社会教育指導員	
26	12.18 (火)		*		1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章	
27	1.8 (火)	自然と環境 (4)	水の都・佐倉 —佐倉の豊かな湧水—	元千葉敬愛短期大学学長 酒々井町青樹堂名誉塾長 堀田和弘	社会福祉 (2)	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 前講師 久良木香	
28	1.18 (金)		*		1・2年合同 地域活動 (6)	2年生のまちづくり 実践報告を聞く	佐倉市長 藤 和雄	
29	1.22 (火)	地域活動(7)	3年生のまちづくりに学ぶ				市民カレッジ 3年生	
30	1.29 (火)	文学 (3)	中国の名言20選	大原高校講師 山本郁夫	自然と環境 (5)	千葉県の地質環境	茨城大学名誉教授 楡井 久	
31	2.5 (火)	社会福祉 (3)	高齢社会をどう生きるか —少子高齢社会の 日本の課題—	聖徳大学教授 川口一美	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員	
32	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*		

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウ インド・オーケスト ラ
2	5.18 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
3	5.25 (金)	まちづくり (2)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり(3) 地域活動(1)	カレッジ卒業生 まちづくり活動 実践者の発表	印旛沼ネットワークの 会、子都手留会、影絵塾 9、加賀清水22期会
4	6.1 (金)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の震災対策と 避難訓練	危機管理室、 佐倉市八街市 酒々井町消防組合	地域活動 (2)	住民参加のまちづくり	千葉大学大学院 准教授 森永良丙
5	6.8 (金)	共生社会 (1)	人権について	千葉県人権センター 常務理事 鎌田行平	福祉	地域福祉とは	元佐倉市福祉部長 川根紀夫
6	6.15 (金)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
7	6.22 (金)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の児童・青少年 への取り組みについて	児童青少年課	佐倉の歴史 (1)	旧石器時代・縄文時代 -印旛沼周辺の人々-	印旛郡市 文化財センター 調査課 小倉和重
8	6.29 (金)	市政を学ぶ (3)	地域まちづくり協議会につ いて/ ファシリテーションの組み 組みについて	自治人権推進課/ 資産管理経営室	市政を学ぶ (4)	佐倉市の文化・ 文化財行政	文化課
9	7.6 (金)	市政を学ぶ (6)	佐倉市の景観計画について / 佐倉市の公園緑地について	都市計画課/ 公園緑地課	病理と予防 (1)	シニア世代の心理	放送大学 客員准教授 星 薫
10	7.13 (金)	佐倉の歴史 (2)	佐倉城とその城主	文化課	まちづくり (6)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
11	7.20 (金)	市政を学ぶ (5)	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課	健康づくり (1)	シニア世代の運動療法	順天堂大学 スポーツ健康科学部 助教 門屋悠香
12	9.7 (金)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	ホームルーム	スポーツフェスティバル に向けて	社会教育指導員
13	9.14 (金)	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 准教授 齊藤ゆか	地域活動 (4)	佐倉の住みよさと 住まいの終活	千葉大学名誉教授 服部岑生
14	9.21 (金)	文学 (1)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好	市政を学ぶ (7)	佐倉市の観光	産業振興課
15	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
16	10.5 (金)	自然と環境 (1)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 名誉教授 瀧和夫	病理と予防(2)	メンタルヘルスについて	健康増進課
17	10.12 (金)	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
18	10.19 (金)	文学 (2)	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学教授 文芸評論家 鳥海宗一郎	まちづくり (8)	私たちのまちづくり	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.26 (金)	自然と環境 (2)	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	佐倉の歴史 (3)	佐倉藩主 堀田正睦	元成田高校教諭 鏑木行廣
20	11.2 (金)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須順一	民俗	今に生きる講と信仰	千葉県立中央博物館 自然誌・歴史研究部 歴史学研究科長 小林裕美
21	11.9 (金)	佐倉の教育	佐倉学について	佐倉市史編さん委員 内田儀久 社会教育課	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷美枝子
22		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
23	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
24	11.30 (金)	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	元千葉県文書館 川本愉彦	まちづくり (9)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
25	12.7 (金)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員	自然と環境 (3)	身近な自然環境に関する 最近の話題	千葉県立中央博物館 生態学・環境研究科長 倉西良一
26	12.14 (金)	まちづくり (10)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (5)	紀行文・物語に見る 地域文化	元成田高校教諭 鏑木行廣
27	12.18 (火)	情報社会 (1)	情報とリスク	東京情報大学 名誉教授 成瀬敏郎	1・2年合同公 開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口章
28	12.21 (金)	佐倉の歴史 (6)	佐倉の鉄道史	鉄道史研究家 白土貞夫	共生社会 (2)	メディアから見る 男女平等参画について	日本アカデミー協会会員 伊東芳幸
29	1.11 (金)	まちづくり (11)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて①	社会教育指導員	情報社会 (2)	人工知能 ～コンピュータにできることできな いこと～	東京情報大学 准教授 マッキン・ ケネスジェームス
30	1.18 (金)	まちづくり (12)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて②	社会教育指導員	まちづくり (13) (1・2年合同)	私たちのまちづくり 実践報告	佐倉市長 巖 和雄
31	1.25 (金)	佐倉の歴史 (7)	ポスター・チラシなどか らみた佐倉市のあゆみ	佐倉市史編さん委員 内田儀久	市政を学ぶ (8)	高齢者福祉の取り組みと 認知症	高齢者福祉課
32	2.1 (金)	病理と予防 (3)	シニア世代の かかりやすい病気	佐倉厚生園病院 院長 遠山正博	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員
33	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	



# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・オーケ ストラ
2	5.17 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	5.31 (木)	福祉サービス (1)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳	健康づくり	生活習慣病予防	健康運動指導士 加藤未来
4	6.7 (木)	施設見学・体験 (1)	佐倉ホワイエの見学 及び 車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ 丸山孝士	障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	NPO法人 千葉市 視覚障害者協会 副理事長 高梨憲司
5	6.21 (木)	3年福祉・元気 合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	施設見学・体験 (2)	千葉県立千葉盲学校 —体験学習—	千葉県立 千葉盲学校
6	7.5 (木)	生活と健康 (1)	高齢期の栄養と食生活のあり方（調理実習）				栄養士 六崎美知代
7	7.19 (木)	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子	生活と健康 (2)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護師長 杉田眞佐子
8	9.6 (木)	子育て支援 (2)	地域で子育て、 みんなで子育て (施設見学・交流、 講座)	佐倉保育園	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	高齢者福祉課
9	9.20 (木)	ボランティア活動の 実践に向けて	聴く技術	東京メンタルス チーフカウンセラー 淵上規后子	介護演習 (1)	介護技術の基礎	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
10	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（1）	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.11 (木)	体験学習	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
12	10.18 (木)	4コース合同 講演会（1）	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	日本防災士会 青木 信夫	話し合い学習	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.25 (木)	施設見学・体験 (3)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合 午前9時50分			特別養護老人 ホーム佐倉白翠園	
14	11.1 (木)	介護演習 (2)	介護技術の基礎	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
17	12.13 (木)	障害福祉 (2)	聴覚障害を理解する	障害福祉課	障害福祉 (3)	パラリンピックの理解 と体験について	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 渡 正
18	1.17 (木)	福祉サービス (3)	地域包括支援センター について	臼井・千代田地域 包括支援センター 所長 佐藤智之	生活と健康 (3)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	1.31 (木)	施設見学・体験 (4)	佐倉ホワイエ体験学習 —移乗動作と 歩行介助—	佐倉ホワイエ 丸山孝士	生活と健康 (4)	高齢者にやさしい住まい	一級建築士 小杉敬太郎
20	2.7 (木)	4コース合同 総長講話  /ホームルーム	心を写(映)す —書の技と心—  4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウ インド・オーケスト ラ
2	5.17 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.24 (木)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合 9時20分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定			まちづくり支援 ネットワーク佐倉 福山重雄	
4	6.14 (木)	佐倉市の歴史 (1)	国指定史跡 井野長割遺跡について	文化課	佐倉市の歴史 (2)	本佐倉城跡と千葉氏	文化課
5	6.28 (木)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合 9時20分 京成臼井駅北口下 散策 午後3時現地解散予定			佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)	
6	7.12 (木)	佐倉市の歴史 (3)	上杉謙信と臼井城合戦 —中世後期の佐倉—	市文化財審議委員 県立佐倉東高校教諭 遠山成一	佐倉市の歴史 (4)	村方文書から分かるこ と —江戸時代の佐倉—	行政管理課 市史編纂室
7	7.26 (木)	佐倉市の歴史 (5)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士	佐倉市の歴史 (6)	本佐倉城跡と臼井城跡 の発掘成果と 東国の戦国時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野正敏
8	9.13 (木)	佐倉市の歴史 (7)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究者 山瀬一男	郷土の先覚者 (1)	津田 仙 -近代農業のさきがけ-	津田仙の曾孫 津田道夫
9	9.20 (木)	歴史散策 (3)	佐倉地区(城址公園)の歴史散策 集合 9時30分 市民体育館 散策 午後3時解散予定			まちづくり支援 ネットワーク佐倉 福山重雄	
10	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
11	10.11 (木)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市江戸紀行】成田山の歴史を学ぶ 集合 午前10時10分 JR成田駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定			成田市文化財審議委 員会 委員長 小倉博	
12	10.18 (木)	4コース合同 講演会(1)	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	日本防災士会 青木 信夫	郷土の先覚者 (2)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (木)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	郷土の先覚者 (3)	佐藤泰然と佐倉順天堂	文化課
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.22 (木)	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 集合 9時45分 ユーカリが丘線中学校駅 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人 佐倉一里塚 (カレッジ卒業生)
17	12.6 (木)	佐倉市の歴史 (8)	古今佐倉真佐子に ついて	行政管理課 市史編纂室	佐倉市の歴史 (9)	佐倉牧	市文化財審議委員 立教大学兼任講師 國學院大學兼任講師 高見澤美紀
18	12.13 (木)	佐倉市の歴史 (10)	堀田正倫と幕末・ 明治の佐倉の人々	文化課	佐倉市の歴史 (11)	佐倉新町の景観	酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一
19	1.24 (木)	歴史コースの まとめに向けて	カレッジ生が組み たい研究テーマ(各自 発表)	市史編さん委員 内田儀久	佐倉市の歴史 (12)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦
20	2.7 (木)	4コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す 一書の技と心 /4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・オーケ ストラ
2	5.17 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.24 (木)	課題学習 (1)	カレッジ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論説委員 安原直樹
4	6.14 (木)	情報伝達の技術 (1)	パソコンに触れてみよう ①	パソコン インストラクター	情報伝達の技術 (2)	パソコンに触れてみよう ②	パソコン インストラクター
5	6.28 (木)	情報化時代の 学習 (1) 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 午前10時中央公民館出発 午後3時中央公民館解散予定				東京情報大学
6	7.12 (木)	情報伝達の技術 (3)	ワードを使おう①	情報コース卒業生	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう②	情報コース卒業生
7	7.26 (木)	情報伝達の技術 (5)	ワードを使おう③	情報コース卒業生	情報伝達の技術 (6)	ワードを使おう④	情報コース卒業生
8	9.13 (木)	情報化時代の 学習 (5) 施設見学	広域高速ネット296スタジオ見学 講話「地域の情報発信-CATVの可能性」 スタジオ見学-情報が発信されるまで- 午前9時45分現地集合 午後3時現地解散予定				広域高速ネット 296
9	9.20 (木)	課題学習 (2)	カレッジ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (4)	情報化社会と著作権	(一社)コンピュータウェア 著作権協会 専務理事 久保田 裕
10	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.11 (木)	情報化時代の 学習 (2)	インターネット活用術①	パソコン インストラクター 小坂大輔	情報化時代の 学習 (3)	インターネット活用術②	パソコン インストラクター 小坂大輔
12	10.18 (木)	4コース合同 講演会 (1)	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	日本防災士会 青木 信夫	課題学習 (3)	カレッジ情報紙を作ろう ③	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (木)	課題学習 (4)	カレッジ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.22 (木)	情報伝達の技術 (7)	タブレットを 体験してみよう	NTTドコモ インストラクター	情報伝達の技術 (8)	ビジュアルコミュニ ケーションとデザイン	女子美術大学 短期大学部 教授 佐藤真澄
17	12.19 (水)	課題学習 (5)	カレッジ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員	情報化時代の 学習(6)	情報社会を考える	東京情報大学 教授 茨木正治
18	1.10 (木)	情報伝達の技術 (9)	パワーポイント①	情報コース卒業生	情報伝達の技術 (10)	パワーポイント②	情報コース卒業生
19	1.24 (木)	課題学習 (6)	カレッジ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員	課題学習 (7)	カレッジ情報紙を作ろう ⑦(印刷)	社会教育指導員
20	2.7 (木)	4コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す 一書の技と心ー 4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 ー人生を二度生きるー	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウ インド・オーケスト ラ
2	5.17 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.31 (木)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう (1)	社会教育指導員	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ 萩谷正紀
4	6.7 (木)	健康づくり (1)	ウォークラリーで健康増進 ー初夏の風を受け、森林浴ー 予備日：6/14				社会教育指導員 公民館職員
5	6.21 (木)	3年福祉・元気 合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう (2)	社会教育指導員
6	7.5 (木)	スポーツと健康	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 水野基樹	健康づくり (3)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
7	7.19 (木)	健康づくり (4)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田桂子 服部陽子	地域活動	総合型地域 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナーズ 齊藤太郎
8	9.13 (木)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	3・4年元気コース合同 イタリア文化とサッカーを学ぶ				一般社団法人 ゾナカルチョ
9	9.20 (木)	健康づくり (2)	ニュースポーツに チャレンジ	元気コース卒業生	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦
10	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.4 (木)	課題学習 (3)	ウォークラリーコースを作ろう (3) ー自分たちでルート (経路) を歩き、ウォークラリーコースを検証するー				社会教育指導員 公民館職員
12	10.18 (木)	4コース合同 講演会 (1)	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	日本防災士会 青木 信夫	病理と予防 (2)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.25 (木)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	健康づくり (6)	健康体操 からだを動かして リフレッシュしよう	健康運動指導士 加藤未来
14	11.8 (木)	課題学習 (4)	ウォークラリーコースを作ろう(4) —自分たちでルート(経路)を歩き、ウォークラリーコースを検証する—				社会教育指導員 公民館職員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.6 (木)	課題学習 (5)	ウォークラリー コースを作ろう(5)	社会教育指導員	健康づくり (7)	ヨガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラクター 岡本美鈴
18	12.19 (水)	健康づくり (8) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 〔日程・内容変更の可 能性有〕	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (9) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.17 (木)	生活と健康 (2)	私が行っている 健康づくり 〔個人発表〕	社会教育指導員	健康づくり (10)	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	財日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
20	2.7 (木)	4コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す —書の技と心— 4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	



# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウ インド・オーケスト ラ
2	5.16 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ① 目的を知ろう	社会教育指導員
3	6.6 (水)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	ボランティア活動の 実践に向けて (1)	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子
4	6.20 (水)	施設見学・体験	木の宮学園の見学及び 知的障害の特性 集合 現地9時30分	木の宮学園施設長 山本 和彦	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ② コースのテーマを 決めよう	社会教育指導員
5	7.4 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の準備と 役割分担)	社会教育指導員
6	7.18 (水)	健康づくり (1)	笑いヨガと自力整体	自力整体セラピスタ 秋田美智子	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	ボランティア活動への 心構え	佐倉白翠園 デイサービスセンター 所長 朝生明美
7	7.25 (水)	障害福祉 (1)	発達障害を理解する -子どもから大人までの 発達障害-	さくら教育研究所 所長 元千葉大学大学院 教育学研究科教授 小澤美代子	健康づくり (2)	色と心の関係	コミュニティカウンセラー 北村倫子
8	9.5 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	傾聴心得	セルフ《自立》 カウンセリング 研究所 濱田はるみ	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
9	9.19 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ-卒業記念作品の制作- 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散			草ぶえの丘 職員	
10	9.26 (水)	障害福祉 (2)	パラリンピックの理解 と体験について	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 渡 正	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③ 発表準備をしよう	社会教育指導員
11	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
12	10.10 (水)	学び合い学習 (4)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (水)	学び合い学習 (6)	情報コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	歴史コースを招待して	社会教育指導員
14	11.7 (水)	学び合い学習 (8)	元気コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.28 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (4)	佐倉ホワイエでの傾聴	佐倉ホワイエ 丸山孝士	健康づくり (3)	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課
18	12.19 (水)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	ボランティア活動の 実践に向けて (5)	日本の高齢者、 ちょっと外から見れば —日本の高齢者と ボランティア—	立教大学 前講師 久良木 香
19	1.9 (水)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて —発表リハーサル—	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.6 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウ インド・オーケスト ラ
2	5.16 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影 コース概要	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.23 (水)	日本遺産 町並み散策 (1)	【日本遺産北総四都市江戸紀行】新町の歴史散策 10時00分 中央公民館出発 散策 午後3時現地解散予定				酒々井町文化財審議 会会長 高橋健一
4	6.13 (水)	自主企画講座 (1)・ 自主学習	学生がテーマを決めて 企画し補習学習するた めの話し合い 及び自主学習に向けて	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (1)	佐倉道のあらまし	八千代市郷土 歴史研究会 村田一男
5	6.27 (水)	佐倉市の歴史 (2)	佐倉炭	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人	佐倉市の歴史 (3)	幕末明治に海を渡った 佐倉人	市史編さん委員 内田儀久
6	7.4 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
7	7.14 (土)	日本遺産 町並み散策 (2)	【日本遺産北総四都市江戸紀行】「佐原のまちづくりを学ぶ」(散策) 集合 午前9時25分 JR成田駅改札口の中 成田駅→佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定				NPO法人 小野川と 佐原の町並みを考え る会 副理事長 吉田昌司
8	7.19 (木)	佐倉市の歴史 (4)	佐倉を通り過ぎた 外国人 -明治の佐倉見聞-	市史編さん委員 内田儀久	佐倉市の歴史 (5)	堀田家農事試験場につ いて	東洋大学 教授 大豆生田 稔
9	9.12 (水)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (6)	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	神奈川大学大学院 歴史民俗資料科学研究科 特任教授 安田常雄
10	9.19 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.10 (水)	学び合い学習 (4)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (水)	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.7 (水)	学び合い学習 (8)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.28 (水)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.12 (水)	地域活動	これからの博物館で必要なこと・歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗博物館を見学〕 集合 9時40分 国立歴史民俗博物館玄関外 15時現地解散予定				国立歴史民俗博物館 館長 久留島 浩
19	1.9 (水)	学習のまとめ	研究論文の発表	社会教育指導員 元社会教育指導員 内田儀久	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.6 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・オーケ ストラ
2	5.16 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.23 (水)	情報伝達の技術 (1)	ワード	情報コース卒業生	情報化時代の 学習 (1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 係長 平川裕
4	6.13 (水)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ ①	情報コース卒業生	情報伝達の技術 (3)	エクセルにチャレンジ ②	情報コース卒業生
5	6.27 (水)	情報伝達の技術 (4)	エクセルにチャレンジ ③	情報コース卒業生	情報伝達の技術 (5)	エクセルにチャレンジ ④	情報コース卒業生
6	7.4 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	7.25 (水)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (2)	高齢期(者)の インターネット活用	パソコン インストラクター 小坂大輔
8	9.12 (水)	情報化時代の 学習 (3) 施設見学	【情報発信の現場を見に行こう】 会場 読売新聞東京本社 ほか 地下鉄「大手町駅」C3出口 午前10時20分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
9	9.19 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
10	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.3 (水)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.10 (水)	学び合い学習 (5)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (水)	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (8)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	11.7 (水)	学び合い学習 (9)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (10)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.28 (水)	情報化時代の 学習(4)	報道の現場から	元日本テレビ 放送網報道局 町田博祐	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.12 (水)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	情報化時代の 学習(5)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口大輔
19	1.9 (水)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	情報コース卒業生 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.6 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (日)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ウ インド・オーケスト ラ
2	5.16 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	5.29 (火)	地域活動 (1)	実践活動 ウォークラリー 一坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー (1年生のウォークラリーの際のスタッフとして活動)				社会教育指導員
4	6.20 (水)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
5	7.4 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	健康づくり (1)	コーディネーション運動 自ら楽しむ健康 【変更の可能性あり】	NPOレーベン
6	7.18 (水)	地域活動 (2)	ターゲットバード ゴルフ 晴天：佐倉市ターゲット バードゴルフ場 雨天：大ホール	ターゲットバード ゴルフ協会	健康づくり (2)	高齢者のための 3B体操	公益社団法人 日本3B体操協会 鈴木静江
7	9.5 (水)	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態 晴天：フィールド 雨天：室内座学	日本野鳥の会 浅野俊雄	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員
8	9.12 (水)	健康づくり (3)	健康を保つ食事作り (調理実習)	高齢者福祉課	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
9	9.13 (木)	健康づくり (4) 3・4年 元気コース合同	3・4年元気コース合同 イタリア文化とサッカーを学ぶ				一般社団法人 ゾナカルチョ
10	9.19 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘 内容 午前 陶芸 午後 草ぶえの丘で自然観察 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	9.28 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.10 (水)	学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

# 平成30年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (水)	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.7 (水)	学び合い学習 (8)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.14(水)～11.16(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.17 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.5 (水)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.19 (水)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 〔日程・内容変更の可能 性有〕	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (6) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.23 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
20	1.30 (水)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり 〔個人発表〕	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
21	2.6 (水)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (日)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	



## 5. コミュニティ事業

### さくら学び塾（学びあい講座）「あの世にはもったいない「健康寿命を活かす秘訣」

- ①開設趣旨 本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）として開設する。
- ②募集対象、募集人員 成人 40人
- ③プログラム

回	月 日(曜日)	学習内容	講 師
1	11月19日(月) 13:30～15:30	【秘訣1】 食事管理と運動管理 ～薬よりも心と体の管理を～	畑 義治
2	12月17日(月) 13:30～15:30	【秘訣2】 脳活管理と精神管理の秘訣 ～いつまでも若い脳でいられるために～	畑 義治
3	1月22日(火) 13:30～15:30	【秘訣3】 医療管理と終活管理 ～患者の立場から～	畑 義治

- ④講座を終えて 「健康寿命の重要性を日頃から感じていたのでとても参考になり、これからの終活に活かしたい」「ユーモアもありおもしろい」「内容が要点のみキチンとまとめられており大変参考になった」「患者・病人の立場に立ってお話してくれた」「健康年齢ということが言われているが、さらに進んだ健康寿命という生き方が勉強になった」などの好意見が多数を占めた。他方で、「時間が短い(もう15～30分あって欲しい)」という意見もあったが、これはコンテンツそのものへの不満ではない。

非常にスキルがあって、ユーモアのある講師であるので、機会があれば、今後も講座をお願いできたらと思った。

ただ、臼井公民館作成の学び塾講座の募集要項を見て応募した方が8%ほどであるので、今後は講座募集の周知方法として、「こうほう佐倉」以外にも、ホームページや民間施設も検討する方が良い。

## 6. 団体育成事業

### 佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、昨年度まで残っていた1団体も退会し、今年度から佐倉地区子連は、活動休止となった。

また、他子連への佐倉地区連の備品の貸出や中央交流フェスティバルへの参加は事務局が対応している。

### 佐倉学体験講座

#### ～「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」「佐倉こどもかるた普及派遣事業」～

①開設趣旨 佐倉学関連事業の一つとして、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学ぶ場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべの派遣や佐倉こどもかるた普及を通して、郷土愛を育むことを目的とする。

②対象 幼児、市内小学生1年生～6年生（「佐倉こどもかるた子都手留会」については一般も対象）

③開催期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

・さくらっ古：全10校 1,095人

・子都手留会：全16校 958人

④事業を終えて この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から誕生している2団体の派遣事業である。『さくらっ古』は平成17年6月から活動を行っており、毎年多くの小学校からの派遣依頼がある。しかし、さくらっ古と子都手留会とともに派遣回数が増えつつある中で、構成メンバーの人数に限りがあり、すべての小学校等の要望にこたえられないという課題がある。

市内小学校・教育センター・中央公民館が連携して子どもたちに「佐倉学」を総合的に学ぶ場を提供するのがこの事業の趣旨であり、アンケート結果等からも、実際に佐倉に伝わる民話や佐倉こどもかるたをとおして、郷土愛を育むことの一助となっている。また、「佐倉学」について子どもたちが民話を聞いたり、かるたを使って学ぶのによい機会を提供できていることもアンケート結果から推察することもできる。

そのため、中央公民館としても継続していきたい事業のひとつであると考えている。公民館の活動をきっかけとして活動を始めてもらい、最終的に個々の公民館利用団体が主体的に活動するようになることで、社会教育の意義にかなうようになると思われる。

### グループ懇談会

①開設趣旨 中央公民館を利用しているグループに対し、公民館利用方法、公民館としての立場からグループ活動に期待する事を説明し、利用者との共通理解と連携を図る。

②対象 中央公民館を利用しているグループ 220団体

③開催期日 平成30年3月23日（金）10：00～11：30

（日付は平成29年度であるが、内容は平成30年度に向けてのもの）

- ④内容
- 1) 公民館使用方法についての説明、注意事項
  - 2) 子どもの居場所作り（夏休み主催事業）についての協力依頼
  - 3) 7月からの公民館有料化について
  - 4) 質疑応答

### **調理室利用グループによる調理室点検**

- ①開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。
- ②対象 調理室を定期利用しているグループ15団体
- ③開催 1. 平成30年6月28日(木) 午前10時～11時30分  
2. 平成30年12月20日(木) 午前10時～11時30分
- ④内容 1) 調理室の清掃 2) 公民館備品の整理・点検 3) グループ備品の整理  
4) グループ間の懇談 5) 公民館への要望

## 7. 広報・展示事業

---

### 広報事業

#### 『公民館だよりじゅにあ』（平成30年6月12日発行）

- ①ねらい 中央公民館での子ども向け事業などを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 500部
- ④配布先 佐倉地区の小学校5校等で配布
- ⑤内容 夏休み中の子ども向け教育事業を掲載
- ⑥展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

#### 『中央公民館だより』（平成31年3月1日発行）

- ①ねらい 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 500部
- ④配布方法 各公民館、図書館、コミュニティセンター、佐倉市役所
- ⑤内容
  - (1) 佐倉市民カレッジ 平成31年度新入生募集
  - (2) 利用グループ懇談会開催のお知らせ
  - (3) 中央公民館主催イベントのご案内 無料映画会「おくりびと」、春休み親子映画会「ボス・ベイビー」
- ⑥展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

#### 『なかま』

- ①ねらい 市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざす。
- ②発行回数 年12回（毎月1回）
- ③発行部数 毎月1,500部（年間1,500部×12ヵ月＝18,000部）
- ④配布方法 市内公民館・図書館・保健福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。  
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配布も行っている。
- ⑤編集方法 佐倉市民カレッジ生とその卒業生からなるボランティア編集委員20名が編集会議を毎月2回開催している。  
編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行う。  
また平成17年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業生がボランティアで版下作成を行っている。
- ⑥内容 A4版4ページの体裁で、1面は市長及び編集委員の原稿、2・3面は市内在住の市民の方から頂いた投稿文を掲載している。4面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載している。  
平成20年6月には編集会議が、(社)日本善行会から特別表彰善行賞を受賞した。「なかま」は毎月発行されている。

## 8. 視聴覚教材ライブラリー事業

### 親子映画会

- ①開設趣旨 映画を通して友達のを広げ、青少年の健全育成を図る。親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
- ②募集対象 小学生・幼児と保護者および一般 各400人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	上映作品	学習内容	会場
1	7月30日(月) 10:00～ 11:50	SING/シング	子ども向け名画鑑賞を実施した。	中央公民館
2	12月27日(木) 10:00～ 11:15	ムーミン谷の彗星	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール
3	3月23日(土) 15:00～ 16:40	ボス・ベイビー	子ども向け名画鑑賞を実施した。	中央公民館

- ④講座を終えて 子ども達を対象に夏休み・冬休み・春休みを利用して映画鑑賞会を3回実施した。映画を通して、子ども達に友情の大切さや、思いやりの心を育んでもらえたらと思う。また、長い休みには、子どもの居場所が心配になる保護者にとっても、この事業は安心できるような子どもの居場所になっていると思われる。

### 無料映画会

- ①開設趣旨 映画を通して、映像文化に親しむ。
- ②募集対象 一般 300人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	上映作品	事業内容	会場
1	3月6日(水) 13:30～ 15:45	おくりびと	成人向け名画鑑賞を実施した。	中央公民館

- ④講座を終えて 本作は第81回アカデミー賞外国語映画賞受賞などの数々の賞を受賞するほどの名作であり、既に映画やDVDなどで鑑賞をされた方も多いと推測される。しかし、作品を未鑑賞の方や、もう一度作品を鑑賞したい方にとっては、“映画”という形で鑑賞できるまたと無い機会であったと思われる。

### 16ミリ映写機操作講習会

- ①開設趣旨 視聴覚16ミリ映写機器の操作を習得する機会を提供し、視聴覚教材の普及と利用促進を図る
- ②募集対象 社会教育団体・一般 20人
- ③プログラム

回	月 日(曜日)	学習内容	講 師
1	6月16日(土) 10:00~16:00	・視聴覚概論 ・映写技術の理論と実際	(有) 教育映像 齋藤 和雄

- ④講座を終えて 市内の社会教育団体・一般を対象に募集をしたが、近年参加人数が激減している。16ミリフィルムと映写機の貸与の需要が減少していることも考えると、今後はプロジェクター講習会などの時代的要請に合った事業へのシフトが考えられうる。

### 佐倉市平和式典

- ①開設趣旨 佐倉市広報課主催。「佐倉市平和行政の基本に関する条例」(平和条例)に基づき、終戦の日に、正午に黙とうをして、「佐倉平和の鐘」を鳴らし、戦没者の追悼と平和を祈念する。

中央公民館からは、ライブラリー機材(音響設備)の貸出のため、職員2名が参加。

- ②募集対象 一般

- ③プログラム

回	月 日(曜日)	事業内容	会 場
1	8月15日(水) 12:00~13:00	・黙とう ・平和への誓い ・佐倉平和の鐘の鳴鐘 ・佐倉平和使節団による被爆地訪問報告	佐倉市役所

- ④事業を終えて 正午の時報から1分間の黙とうをして、市長から平和への誓いの式辞があった。その後、世界の恒久平和を祈念して、佐倉平和の鐘を市長・市議会議員・遺族会代表・平和行事関係者が鳴らした。そして、市内中学生の代表により結成された佐倉平和使節団が、被爆地広島を訪問した時の報告を行った。

多大な犠牲者を出したあの悲惨な戦争を二度と繰り返してはならない。戦争を体験し語れる人が年々減少していく中、平和式典を含めた一連の平和事業により、戦争の悲惨さを将来に渡って語り継ぎ、平和な世の中を継続していくことの重要性を改めて感じた。

和田公民館

## 和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区より構成されている。面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1%に当たる1,818人、世帯数は782世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

## 和田地区のデータ

【平成31年3月末現在】

- 和田地区：面積 約14.4km<sup>2</sup>（佐倉市：面積 103.69km<sup>2</sup>）
- "：住基人口 1,818人（ "：住基人口 175,476人）
- "：人口密 126人/km<sup>2</sup>（ "：人口密度 1,692人/km<sup>2</sup>）



# 1. 公民館運営計画

---

## 運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

## 努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

## 事業内容

### 1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

### 2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時  
火・金曜日は午後9時まで  
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

- (2) 休館日 第2第4月曜日、12/28～1/4は休館

### 3. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう援助・協力をする。

### 4. 広報に関する事業

「公民館だより」を年4回発行

### 5. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

### 6. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用件数 (件)	490	540	620	627	613
利用人数 (人)	6,355	8,284	8,060	7,345	6,875
開館日数 (日)	333	335	333	333	333

### 平成 30 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	2,531	563	22.2%
調理実習室	2,531	539	21.3%
団体室	2,531	268	10.6%
会議室	2,531	728	28.8%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と 保護者	5/18 2組4人 6/ 5 3組6人 7/17 2組4人 8/22 4組8人 9/21 3組6人 10/5 4組8人 11/22 4組8人 12/17 3組6人	<p>楽しい親子での遊びや、講師からの指導により、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて考える機会としてもらえるよう配慮して開催。他地区にもお知らせをしたことで、地区外の子どもも参加してくれるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/18 開講式 「イヤイヤ期を乗り切る子育て」 講師：子育て支援課</li> <li>・6/ 5 「新聞紙を使って遊ぼう」</li> <li>・7/17 「水遊び」弥富公民館合同</li> <li>・8/22 「子ども映画会・栄養指導」 講師：南部保健センター栄養士</li> </ul> <p>子どもの食事についての相談・食生活改善推進員によるおやつ試食会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/21 「ミニ運動会」</li> </ul> <p>ふるさと館にてママのほっとタイムと合同で開催。親子で体を動かし、他の親子とも協力しあい楽しく活動できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/5 「バスハイク」</li> </ul> <p>志津公民館合同 大型バスで草笛の丘に行き、芋ほりをした。志津の子どもたちと交流。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/22 「買い物ごっこ」</li> <li>・12/17 「クリスマス会」</li> </ul> <p>ママのほっとタイム、弥富公民館と合同で行う。ブラックシアター鑑賞の後、サンタとトナカイの登場に子どもたちは大喜び。交流パーティーをしたことで他地域の親たちの交流もできた。</p>
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	7/4 9人 12/5 8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月4日は陶芸体験を地元陶芸家の指導により、保護者対象に実施した。子供向けデザインの陶器を作るなど思いのあふれた講座となった。</li> <li>・12月5日は公民館利用団体であるスタンドグラス同好会の指導により、講座を行った。クリスマスに合わせて家族へのプレゼントとして思い思いのサンタ作りを行った。</li> </ul>
	剣道教室	地区の小学生 15人	5月～ 3月 40回	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身に付けた。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10/21 74人	地域団体、住民等の協力・連携によりグラウンドゴルフ大会を実施し、世代間交流を進める中で子どもの健全育成を図った。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
青少年教育	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	7/30 16人	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高めることを目的として開催した。 ・午前：ニッポンランナーズコーチによる「走り方教室」 ・昼：地元の方の指導による「調理実習」手の洗い方指導から、ゴミの片づけまで指導していただく。 ・午後：身近な野菜の皮を煮出し、絞り染めTシャツ作成。完成後に皆の前で作品発表をしてもらった。絞り方により様々な模様となることや、微妙な色の違いなどを楽しんでいた。
	夏休み子どもゼミナール	小学校5.6年生 15人	8/18 26人	中央公民館と共催。宇宙について専門の講師を招き宇宙、星についてのゼミを受けた後に、和田ふるさと館駐車場スペースを星空観察会場として観察を実施。多くの惑星、星座を観測することが出来て参加者も満足していた。
	子ども映画会	地区の小学生	8/14 22人	優良な映画の鑑賞やその他様々な機会を提供することで、心の成長を促し文化芸術の素晴らしさ・楽しさを知ってもらう目的で開催。今回は映画ではなく、地元の方が参加され、海外でも公演している語りの会の紹介を受けたことからお話会を実施。和田地区の民話も取り入れて、身振り手振り、踊りをも取り入れた語りに子どもたちは引き込まれ集中して鑑賞していた。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6/3 13人 10/7 9人 2/3 11人	和田地区青少年育成住民会議と連携して、地区の小学生向けに、地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立及びふるさとへの愛着を深めるよう促した。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生等 各15人	7/21 5人 8/3 16人 12/16 16人	・7/21は和田のはたおり親子体験を行った。 ・8/3は公民館とつながりのある団体の指導により手芸（ストラップ作り）を行った。 ・12/16 和田地区青少年相談員の指導により六角凧作りをした。自分で好きな絵を描き、組み立てた。昼食はカレーパーティーをした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
佐倉学	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各15人	10/30 12人 11/27 13人 1/30 12人 2/12～14 10人	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図ることを目的として開催。 【太巻き祭り寿司】 【和田の新鮮野菜料理（大和芋）】 【こんにやくづくり体験】 【味噌作り体験教室】 どれも好評で、次回も参加したいとの感想をいただいた。
	佐倉学講座 地域学	市内の成人 15人	6/2 16人 7/14 17人 8/26 14人 9/22 18人 10/28 15人 12/15 16人 1/13 16人	・6月は佐倉野草会会長を講師として招き、野草を通して和田の自然に触れる事が出来た。 ・7月は地元農業指導家より、歴史資料施設展示の内容や自然農法等について学んだ後、蛍鑑賞を行ない良好な自然環境を実感した。 ・8月は中世歴史家を講師として、和田の中世に係る講座を行い、地域の歴史の掘り起こしを行った。 ・9月は公民館利用団体の指導により、郷土食のひとつであるそば作りを行った。 ・10月は地元農業指導家により和田の農業の過去、現在、未来の講話を聴き、地域の産業の現状を理解する事が出来た。 ・12月は地元料理講師の指導により地場食材を活かした料理作りを行ない、食材の良さを実感すると共に、新しい料理方法を学んだ。 ・1月はこれまでのまとめとして地域づくりに係るワークショップを実施した。
成人教育	手芸教室	60歳以上の地区 の成人 10人	4/13 7人 5/11 4人 6/ 8 4人 7/13 5人 8/3 5人 9/14 4人 10/12 4人 11/ 8 5人 12/14 4人 1/11 6人 2/ 8 5人 3/ 8 6人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図ることや、受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを子どもたちに指導する。夏休み中に「子ども手芸教室」にて「リボン・レイ・ストラップ」作成指導を行った。地域の子どもたちとふれあえることを受講生は楽しみながら指導していた。
	和田市民大学	和田工芸講座	市内の成人 10人	7/26 8人 8/25 9人 9/29 9人 12/23 22人 2/1 7人 2/3 6人 2/8 7人

領域	事業名		対象	期間・回数	内容
和田市民大学	いきいき生活講座		60歳以上の地区の成人等	11/8 13人	高齢者の方（おおむね60歳以上の方）の社会的孤立感の緩和と、自立した生活の支援を図ることを目的として講座を実施した。理学療法士からストレッチ指導を受け、健康相談も実施。
	地区交流会		地区の成人 40人程度	3/16 29人	学習を通して地区の高齢者をはじめ多様な世代の地域交流を促すためバス見学会を実施した。水の都市・江戸東京をテーマに博物館見学や水上バス巡りを行った。
成人教育	和田地区防災講座		地区の成人 50人程度	1/27 15人	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な講習、訓練等を行う。日本防災士協会千葉県北部支部の指導を仰ぎ、防災に係る講習会を実施した。
	合同研修会		地区内の住民団体	12/9 24人	人口減少・少子高齢化などの地域課題などに対応するため行う研修会。物流をテーマに物流博物館や羽田クロノゲートの見学を実施した。
団体育成	団体育成事業		和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議等	通年	地域の社会教育団体、住民団体等との協働により地域づくり活動を行っている。
広報展示活動	公民館だより発行		和田地区全世帯	年4回程度発行	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。（各700部）
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示
		見学	市内小学校・一般団体等	通年	市内小学校、一般団体等向けに見学の際、和田小PTAガイド、はたおり保存会と協働で説明や体験事業などを行う。
図書	図書貸し出し		一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。

# 1. 家庭教育事業

## 子育て教室

①開設趣旨 親子でのふれあいや楽しい遊び、講師からの指導を通して親の役割、環境づくりなどの意義を考え、育児知識の習得する機会を設けること。また、他の参加者との交流により、育児不安や悩みの共有・相談をすることで孤独感の解消や、子育てで忙しい日々の生活の中の憩いの時間、仲間づくりの場となるよう配慮した。

②募集対象・募集人数 2. 3歳児とその保護者

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月18日(金) 10:00~11:30	開講式 「イヤイヤ期を乗り切る子育て講座」	子育て支援課
2	6月5日(火) 10:00~11:30	「新聞紙を使って遊ぼう」	志津児童センター 講師
3	7月17日(火) 10:00~11:30	「弥富公民館で水遊び」 弥富公民館子育て教室のお友達と合同	志津児童センター 講師
4	8月22日(水) 10:00~11:30	「子ども映画会・栄養指導とおやつ試食会」 (8/8予定が台風影響により8/22に延期)	和田食生活改善推 進員/南部保健セン ター栄養士
5	9月21日(金) 10:00~11:30	「ミニ運動会」 ママのほっとタイム会と共催	ママのほっとタイ ムの会代表 高梨 直子 氏
6	10月5日(金) 10:00~11:30	「バスハイク」 志津公民館子育て教室・ママのほっとタイム の会と一緒に草ぶえの丘にて芋ほりと公園散 策	志津公民館子育て 教室講師
7	11月22日(木) 10:00~11:30	「買い物ごっこ」 マイバッグを作って楽しくお買い物	志津児童センター 講師
8	12月17日(月) 10:00~11:30	閉講式 「クリスマス会」 ブラックシアター・サンタとトナカイ登場 弥富公民館子育て教室とママのほっとタイム の会合同	ブラックシアター 中島 浩子 氏

## ④講座を終えて

少子化の中、地域の福祉団体の子育てサークルと共に手を携え協力しながら子育て中の親の悩み相談等ができる場の提供をすることが出来た。

当館で長年依頼してきた講師の方が引退され、年間を通して教室の指導をお願いできる方を探すことが困難であったため、毎回、単発的に様々な講師の方を依頼し、親にとって有益で、かつ、育児中の不安な気持ちを切り替えるきっかけや仲間づくりが出来るといったような講座を設けることを心掛けた。

今年は広く呼びかけをしたため、他地区からも参加していただき、和田での子育て教室やサークルとの関わりから良い人間関係づくりが出来、和田を気に入っていただいたことから、翌年4月には地区外の居住地から和田幼稚園に入園された。また、今年も教室を修了した親が講師補助として事業に参画するなどの協力体制が続いている。今後も、関係を大切にしつつ和田の子育て環境を良くするお手伝いができたらと思う。

### 楽しく家庭教育講座

①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。

②募集対象・募集人数 地区内の幼児及び小学生の保護者 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月 4日(水) 9:30~12:00	陶芸体験:地元陶芸家の指導により、保護者を対象に実施	陶芸家 安本 幸世
2	12月15日(水) 9:00~12:00	ステンドグラス工芸体験:和田公民館利用 団体指導によるステンドグラス作り。	ステンドグラス同好会

④講座を終えて

陶芸体験は地区内在住陶芸家の指導により、やはり地元幼稚園・小学校の保護者を対象に実施した。和田を発信拠点にし活躍している芸術家から指導を受ける事で、技術面もさることながら、郷土へのアイデンティティを醸成する事にもつながった事と思う。

自由テーマであったが出来上がった作品はすべて子供向けのデザインであり、講座のテーマを網羅出来た内容であった。

ステンドグラス工芸体験は、前年度も実施しており和田公民館を長年利用している団体からマンツーマン指導で実施された。グループは長くステンドグラス作りをしており技術は確かなもので、指導も的確であり、ハンダ付けなど慣れない作業もあったが、スムーズに作品作りを進める事が出来た。時期に合わせてサンタクロースを製作し、自宅に持ち帰り家族で作品を眺めながらクリスマスを過ごした事と思う。

日頃から子育てで忙しい参加者に、様々な体験してもらおう事でリフレッシュしてもらい、新しい気持ちで子育てしてくれたらと思う。



## 2. 青少年教育事業

### 和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象・募集人員 和田地区在住の小学生 20人
- ③開設期間 平成30年5月～平成31年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、江野澤 清美、藤崎 英樹、鶴田 潤子
- ⑤講座を終えて 剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。また、7月21日～22日には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることができた。

### 軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象、募集人数 地区の小学生 50人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月21日（日） 10:00～12:00	グラウンドゴルフ （和田小学校グラウンドで実施）	和田地区 スポーツ推進員

- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子供と地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図れるようにした。

### 夏休みおもしろ体験教室

- ①開設趣旨 保護者と地域の協力により、自主性、協調性、社会性を高める体験教室
- ②募集対象・募集人数 地区の小学生 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	① 7月30日（火） ・9:00～11:00 ・11:00～14:00 ・14:00～16:30	・走り方教室 ・調理実習 ・草木染め教室	・ニッポンランナーズ ・六崎 美知代 氏 ・高梨 直子 氏 ・佐藤 明日美 氏

- ④講座を終えて この講座は子どもたちが何に興味・関心があるのかをリサーチし、夏休み期間を使って、公民館で様々な体験事業を実施するものである。
  - ・「走り方教室」は佐倉市内にあるニッポンランナーズに協力を仰いで実施した。手作り人体模型を使っての説明から、走りの基本を学び身体を動かした。運動会を目前に控えた子供たちは、走ることが楽しい、習得したことを当日に生かしたいと感想を漏らしていたので、タイミング的にも良かったと思う。
  - ・「調理実習」は地元料理指導者2名より指導を受けるもので、調理前の手洗い、ゴミの片づけ方など衛生面等の重要さにも及んだ。実習全体を通して、高学年の児童が年下の面倒を見るなど、思いやりを持ち協力する大切さを感じてもらえたと思う。

・「草木染め教室」では、市内在住専門講師を招き、普段口にしている食品の廃棄する部分を煮出し、それに自ら輪ゴム等で絞り模様をつけたTシャツを煮染めし、色の定着をさせて、絞り染めTシャツを完成させた。身近な通常は廃棄しているものでこのような作品が出来ることを驚いていた様で、新しい発見をしてくれたものと思う。

### 夏休み子どもゼミナール

①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。

②募集対象・人数 小学5年生以上 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月18日(土) 19:00~20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	末吉 正子主宰 佐倉ゆうゆう塾

④講座を終えて 中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童、保護者が一緒に星を観察することで、親子の関係も深まったと思われる。

### 子ども映画会

①開設趣旨 子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。

②募集対象・人数 地区の小学生等

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月28日(水) 9:30~11:00	子どもお話し会	末吉 正子主宰 佐倉ゆうゆう塾

④講座を終えて

和田公民館において、「ゆうゆう塾」のお話し会は初めての試みであった。地元の方が加入されている会であることから依頼した。幼児から大人までが楽しめるもので、演者の方の身振り、手振り、感情豊かな表現に児童たちはすっかり引き込まれて、飽きることなく集中して聴いていた。例年の映画からお話し会に変更したことは、また違った文化芸術に触れあえる良い機会であったと思われる。

### 佐倉っ子塾 料理教室

①開設趣旨 地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施した。

②募集対象・募集人数 地区の小学生 各20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月 3日(日) 9:30~12:30	(1) はんぺんのベーコン巻きソテー (2) きのこと厚揚げのミートソース煮 (3) フルーツヨーグルト	六崎 美知代 氏 高梨 直子 氏

2	10月 7日 (日) 9:30~12:30	(1) 巻き寿司 (2) コーンじゃが (3) きな粉のマフィン (4) 卵のスープ	六崎 美知代 氏 高梨 直子 氏
3	2月 3日 (日) 9:30~12:30	(1) 中華丼 (2) チョコランチ (3) チョコチップケーキ (4) フルーツ盛り合わせ	六崎 美知代 氏 高梨 直子 氏

④講座を終えて

子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付け、協力して調理し楽しく食べることを学んでいる様子を感じられ、毎回自ら進んで申し込みをしてくる児童もいる事業でもあるので、地元の協力者の方も意欲的かつ積極的に指導くださっている。

**佐倉っ子塾 伝統文化体験教室**

①開設趣旨 和田のはたおりや手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

②募集対象・募集人数

- ・はたおり親子体験 市内小学生親子 午前2組 午後3組
- ・夏休み編み物体験 地区の小学生 15人
- ・凧づくり体験 地区の小学生 15人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	7月21日 (土) 10:00~12:00 13:00~15:00	はたおり親子体験	和田はたおり保存会
2	8月3日 (金) 10:00~14:00	夏休み編み物体験 (リボン・レイ・ストラップ)	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒
3	12月16日 (日) 9:00~14:00	凧づくり体験 (六角凧)	和田地区青少年育成住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

④講座を終えて

・「はたおり体験」は、和田はたおり保存会を講師として親子対象に、佐倉市では特に和田地区で行われていたはたおりという伝統工芸の体験をするものであり、その機会の提供ができた。

・「夏休み編み物体験」は、和田市民大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより、世代間交流ができたとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができた。

募集人数を超えた16人の男女児の参加があり、手作りの楽しさや地域の高齢者との関わりを楽しんでいた。

・「凧づくり体験」は、和田地区青少年育成住民会議、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施し、六角凧作りを行った。各々、自分で絵を描き、色付けをし、指導を受けながら組み立てていく。大変な部分もあるが、凧づくりを通して貴重な機会が提供出来ていると捉えられる。昼食は子ども会の保護者の方々が料理作りをして、皆で楽しい会食となった。

### 3. 成人教育事業

#### 佐倉学体験講座 ふるさと味工房

①開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図り、食文化の伝承を図る。

②募集対象・募集人数 市内在住・在勤・在学の方 各15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月30日(火) 9:30~13:00	太巻き祭り寿司講座	石渡 暁子 氏
2	11月27日(火) 9:30~13:00	蒟蒻づくり体験講座	牛玖 昌弘 氏
3	1月30日(水) 9:00~13:00	和田の新鮮野菜料理講座(大和芋)	食生活改善推進員 和田支部
4	2月12日(水)~14(木) 9:30~13:00	味噌作り体験講座	佐々木 寿美子 氏

④講座を終えて

ふるさと味工房については、和田地区の農業の特長を活かし、地元の新鮮な食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となった。

この講座は、講師の教え方の上手さもあってとても人気があり、多くの方のご参加を頂いている。調理をし、食事をしながらいろいろな裏ワザや食に関する情報の提供ができ、参加者は楽しく講座に参加していた。

#### 佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学

①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

②募集対象・人数 市内の成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月2日(土) 13:30~16:00	オリエンテーション 初夏の地域散策	佐倉野草会 会長 近藤 維久子
2	7月14日(土) 18:00~21:00	和田の農業①蛍の輝く里づくり	和田未来農業研究会 藤崎 言行 氏
3	8月26日(日) 13:30~16:00	和田中世の歴史	中世歴史家 遠山 成一 氏
4	9月22日(土) 9:30~12:00	そば打ち体験	手打ちそば遊心会 金崎 正人 氏
5	10月28日(日) 9:30~16:00	和田の農業②新しい取り組み	地元農業指導者 鈴木 直政 氏
6	12月15日(土) 9:30~12:00	和田食材料理づくり	地元料理講師 佐々木 寿美子 氏
7	1月13日(日) 9:30~12:00	地域づくりのワークショップ	和田地区青少年育成住民 会議 会長 藤崎 言行 氏

④講座を終えて 佐倉学講座として本事業を開設しており、和田で行われている新しい農業の取組みの体験等を行った。地元住民との交流の中で歴史・自然・伝統文化等を知るための貴重な機会になった。

### 和田市民大学手芸教室

①開設趣旨 手芸を通して地域の親睦交流を深めつつ、知識や技術の習得をし生きがいをづくりを図る。また、受講生が児童に手芸を指導する立場になり交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。

②募集対象・募集人数 60歳以上の成人 10人

③実施期間 平成30年4月13日～平成31年3月8日 12回

④講座を終えて 長年にわたる活動により、受講生の手芸技術が向上してきており、積極的に自ら進んで新しい技術の指導を受け、ますます意欲が高まっている様子が伺えた。また、夏休みには、編み物体験教室を開催し、受講生が講師となり、子どもたちとの交流を持つことで、教えることの喜び・生きがいを感じる場を提供することができた。受講者や公民館の声掛けにより、新規加入者があった。

### 和田工芸講座

①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。

工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。

②募集対象・募集人数 市内成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月26日(土) 9:30～12:00	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本 幸世 氏
2	8月25日(土) 9:30～12:00	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本 幸世 氏
3	9月29日(土) 9:30～12:00	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本 幸世 氏
4	12月23日(日) 13:00～16:00	しめ飾り講習会	和田小学校PTA民俗 資料収集委員会
5	2月1日(金) 10:00～12:00	機織り①「整形～緒巻き」	和田はたおり保存会
6	2月3日(日) 13:00～15:30	手作りミニぞうりストラップ作成	和田小PTA関連団体
7	2月8日(金) 13:00～15:00	機織り②「糸綜統～織り」	和田はたおり保存会

④講座を終えて

陶芸講座については、地元陶芸家の指導の下、連続3回講座として実施し、受講者は懇切丁寧な教えもあってより良い作品づくりが出来た。完成した作品は11月の文化展に展示した。

しめ飾り講習会はわら工芸という事で、玄関飾りの作成を行った。毎年恒例の参加者はここで年末に自宅で飾るものを作成している。

機織り講座は単に織るという工程だけでなく、全体工程の体験型の講義として実施した。昔のはたおりを体感出来た様子であった。

手作りミニぞうりストラップ作成においては、マンツーマン指導であったこともあり、受講生は大変満足し次回の参加を希望される声もあった。講師側も次世代を担う若い世代が中心となっており、熱心に技術を磨くべく練習に勤しんでいる。

### いきいき生活講座

- ①開設趣旨 高齢者（おおむね60歳以上）の社会的孤立感の緩和と、自立した生活の支援を図ること。理学療法士から自身で出来るストレッチ指導。
- ②募集対象・募集人数 地区の高齢者
- ③実施日 平成30年11月8日 1回
- ④講座を終えて 高齢者福祉課より理学療法士を招き、ケガを予防するための自身でできるストレッチの講義・実技が行われた。参加者は和気あいあいと楽しそうにストレッチの方法を学んでいた。今後活かされるものと感じた。

### 合同研修会

- ①開設趣旨 地区社会福祉協議会、地区青少年育成住民会議等の団体とともに、地域づくりにつながる内容の研修を行うことで、良いより地域形成を図る。
- ②募集対象・人数 地区住民団体等 40人程度
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月9日（日） 8：30～17：00	これからの地域づくりにつながる施設見学等	和田公民館

- ④講座を終えて 物流をテーマに都内の物流博物館、羽田クロノゲートの見学を行った。物流の歴史、現在の学習をした後に実際の稼働施設の見学をした事で理解が深まった。

### 和田地区防災講習会

- ①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。
- ②募集対象・人数 地区の成人 50人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月27日（日） 9：30～11：30	・地域防災講義及 ・防災グッズ作り	日本防災士協会千葉県支部 青木 信夫 氏

- ④講座を終えて 最近の国内における災害状況や地域で想定しうる災害等についての講義を聞いた。また新聞紙によるスリッパづくりや簡易トイレの設置などの身近なものを活用した災害時に役立つグッズづくりを行った。

### 和田市民大学交流会

- ① 開設趣旨 心身ともに健康で生がいのある生活を保ち、世代間の交流を図る。
- ② 募集対象・人数 地区の成人（子・孫の参加可） 40人程度
- ③ 実施日 平成31年3月16日 1回

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月16日（土） 8：30～17：00	水の都市・江戸東京見学	和田公民館

- ④講座を終えて 江戸東京博物館見学を実施した後に、浅草散策をして水上バスに乗り、江戸の頃から現在に至るまでの水と共に発展した東京の様子を見学した。上下水道の成り立ちや河川を活用した物流の様子などを見学等を通して実感する機会となった。

## 4. 団体育成事業

---

### ①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

### ②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

### ③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行った。

## 5. 広報・展示事業

---

---

### 公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年4回（9月号、10月号、12月号、2月号）
- 発行部数 各780部（1月号は和田地区住民対象事業のみのため680部）
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

### 歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による展示物の解説を行った。
- 期間・回数 開館日数 333日 来館者数 1,386人  
うち小学校社会科見学等団体来館数  
平成30年4月～平成31年1月 14団体 921人



## 6. 図書事業

---

### 図書貸し出し

○ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 1,800冊

### 月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	2	1	8	8	13	3	1	3	12	0	4	10	65
返却数	0	23	15	15	24	20	1,228	25	39	47	23	16	1,475

弥富公民館

## 弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して704世帯、1,532人が住み、約13.3km<sup>2</sup>の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

### 弥富地区のデータ

【平成31年3月末現在】

- 弥富地区：面積 約13.3km<sup>2</sup>（佐倉市：面積 103.69km<sup>2</sup>）
- “ ”：住基人口 1,532人（ “ ”：住基人口 175,476人）
- “ ”：人口密度 115人/km<sup>2</sup>（ “ ”：人口密度 1,692人/km<sup>2</sup>）

# 1. 公民館運営計画

---

## 運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

## 努力目標

- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

## 事業内容

### 1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

### 2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

### 3. 施設の提供

- 開館時間
  - ①月・日曜日、祝日 午前9時～午後5時
  - ②火～土曜日 午前9時～午後9時
  - ※夜間の使用申込みがない場合は午後5時で閉館
- 休館日 第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用件数 (件)	1,306	1,366	1,323	1,326	1,290
利用人数 (人)	11,513	12,746	11,082	10,355	13,854
開館日数 (日)	293	335	333	333	333

### 平成30年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	4,580	2,119	46.3%
中会議室	4,580	1,162	25.4%
調理実習室	4,580	1,034	22.6%
和室	4,580	1,080	23.6%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	1～3歳児と その保護者 8組	6月～12月 前期・後期 各5回  前期 6/19 7人 7/ 3 5人 7/17 11人 8/ 7 15人 8/28 13人 後期 10/16 9人 10/30 2人 11/ 6 9人 11/20 2人 12/17 20人	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。 また、幼児が点在し少ない弥富地区において子供と保護者双方の交流の場とする。 前期 6/19:わらべうたで遊ぼう 7/ 3:小麦粉粘土で遊ぼう 7/17:水遊びを楽しもう (和田公民館と合同実施) 8/ 7:新聞紙で遊ぼう 8/28:段ボールで遊ぼう 後期 10/16:バッグを作って遊ぼう 10/30:新聞紙で遊ぼう 11/ 6:絵の具で遊ぼう 11/20:ロケットを飛ばして遊ぼう 12/17:クリスマスお楽しみ会 (和田公民館と合同実施)
	家族で遊ぼう	小学校入学前の 幼児と家族12人	中止	家族での活動体験を通じて、親と子の触れ合いの大切さを学習する。
青少年教育	弥富剣道教室	小・中学生 20人	5月～3月 38回 14人	剣道の稽古を通じて児童・生徒の心身の鍛練及び千葉県指定無形文化財「立身流」を学習をする。
	夏休み星空観察会	小学生 26人	8/19 26人	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで科学への興味を育む。社会教育課主催事業「佐倉子ども交流合宿IN弥富」のメニューとして実施。望遠鏡で月の観察を行った。
	星空観察会	小学生と保護者	7月～12月 4回 7/21 28人 8/ 4 22人 12/ 1 18人 12/ 8 22人	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで科学への興味を育む。また、志津公民館と合同で参加者間の地域交流を図る。 7/21:夏の夜空を学ぼう(志津公民館) 8/ 4:夏の星空観察会(弥富地区) 12/ 1:冬の夜空を学ぼう(志津公民館) 12/ 8:冬の星空観察会(弥富地区)
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童	6月～2月 10回 6/23 14人 7/30 50人 7/31 40人 8/ 6 30人 9/22 26人 11/10 16人 12/ 8 30人 1/12 28人 1/26 16人 2/24 58人	自然体験や工作、料理など様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育む。 6/23:グラウンドゴルフ 7/30:バス見学Ⅰ(科学技術館) 7/31:才能発見!? 絵画教室 8/ 6:かんたん手作りおやつづくり 9/22:家族みんなでヨガ体験 11/10:チャレンジクッキング 12/ 8:オリジナル連凧をつくろう 1/12:お餅をついて成木をつくろう 1/26:竹馬に挑戦しよう 2/23:バス見学Ⅱ(鴨川シーワールド)
成人教育	ふるさと弥富散策会	市内の成人 12人	中止	散策を通して弥富地区の豊かな自然等について理解を深めてもらうとともに郷土への愛着を高める。
	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民	6/23 30人	児童から高齢者まで一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、地区住民の健康増進と異世代間の交流を図る。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	竹炭づくり体験	市内の成人 8組	11/27 11人	弥富地区の特性を活かした竹炭づくりを体験することにより、地域への理解を深める。
	健康づくり講座	弥富地区の成人 12人	10月～11月 4回 10/ 9 12人 10/16 16人 10/23 17人 10/30 19人	日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。
佐倉学	明寿大学 歴史講座	市内の成人 23人	8月～9月 3回 8/21 16人 8/23 15人 9/ 6 17人	高齢者から現役世代成人を対象に地域の伝統・文化・歴史について学び、伝えていく連続講座。今年度は歴史講座として「縄文時代の弥富」・「中世の弥富」・「北条氏勝と岩富藩」をテーマに学習する。 8/21:縄文メトロポリス（都市） 宮内井戸作遺跡 8/23:弥富の中世 9/ 6:北条氏勝と岩富藩 —中世から近世への転換点
	佐倉学入門講座 「弥富を歩く」	市内の成人 15人	中止	弥富地区に残る歴史・民俗等について学び、地域への理解を深める。
	佐倉学体験講座 「くらしの講座」 ・バス研修 ・太巻き祭り寿司 ・米粉を使った料理 教室 ・布ぞうり作り	弥富地区の成人 8～50人	6月～ 3月 8回 6/20 21人 6/26 6人 9/25 9人 2/12 10人 2/14 8人 2/19 6人 2/26 11人 3/22 21人	弥富地区で継承されてきた生活文化等を次代に伝えると共に世代間を越えた交流を図り、地域に対する郷土愛を育む。また、地域人材の活用・育成を図る。 6/20:バス研修Ⅰ（佐原の街並み） 6/26:刃物研ぎ教室 9/25:デコもちに挑戦 2/12:布ぞうりづくり 2/14:お絵描きロールに挑戦 2/19:太巻き祭り寿司初級者編 2/26:太巻き祭り寿司指導者養成編 3/22:バス研修Ⅱ（木更津）
広報活動	公民館だより	弥富地区全世帯	年3回 5/30 700部 9/10 700部 1/24 700部	公民館事業の案内、募集、弥富地区及び市全体、市内他地区の情報提供等を行う。
団体育成	地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	弥富地区の住民	通 年	ふるさと弥富を愛する会への協力を通じて活動を支援する。
	弥富地区青少年健全育成 住民会議	弥富地区の住民	11月 1回	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンドゴルフ大会の開催の協力等を通じて活動を支援する。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通 年	佐倉市立図書館の協力により、リサイクル図書の貸出・返却の受付

# 1. 家庭教育事業

## 親子遊びのつどい

①開設趣旨 子育てにおける家庭の働き、あり方や子どもの発達に必要な事柄について親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において、子どもと保護者双方の交流の場とする。

②募集対象 市内在住の1～3歳児とその保護者 8組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月19日(火) 10:00～11:30	わらべうたで遊ぼう	伊藤 芳枝
2	7月 3日(火) 10:00～11:30	小麦粉粘土で遊ぼう	〃
3	7月17日(火) 10:00～11:30	水遊びを楽しもう	〃
4	8月 7日(火) 10:00～11:30	新聞紙で遊ぼう	〃
5	8月28日(火) 10:00～11:30	段ボールで遊ぼう	〃
6	10月16日(火) 10:00～11:30	バッグを作って遊ぼう	廣田 和子
7	10月30日(火) 10:00～11:30	新聞紙で遊ぼう	〃
8	11月 6日(火) 10:00～11:30	絵の具で遊ぼう	〃
9	11月20日(火) 10:00～11:30	ロケットを飛ばして遊ぼう	〃
10	12月17日(月) 10:00～11:30	クリスマスお楽しみ会	〃

④講座を終えて この年齢期における親子のふれあいは、子どもの発達に非常に大切であり、様々なプログラムを通して親子で共に活動することの意義は大きい。本講座に参加することで新たな保護者同士の交流も図られ、子育てに関する情報共有の場となった。



### 家族で遊ぼう

- ①開設趣旨 子どもたちが、友達との遊びやものづくりを通して、遊ぶことの楽しさ、大切さを学ぶとともに、保護者も一緒に参加することで子育てについて考え、学習することのできる場とする。
- ②募集対象 市内在住の小学校入学前の幼児と家族 12人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月21日（金） 10：30～12：00	ミニミニ運動会	中止
2	11月22日（木） 10：30～12：00	お買い物ごっこ	中止

- ④講座を終えて 募集を行ったが参加者の応募がなかったため中止とした。

## 2. 青少年教育事業

### 弥富剣道教室

- ①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童・生徒の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。
- ②募集対象 市内在住の小中学生 20人
- ③期間・回数 平成30年5月～平成31年3月 午前9時30分～11時30分 38回
- ④指導者 檜村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順
- ⑤講座を終えて 剣道と共に千葉県指定無形文化財「立身流」の技と精神を学び、佐倉市で開催された立身流抜初演武大会に参加するなど、日頃の修練の成果を披露することができた。剣道では年間を通して稽古に励み、和田剣道教室と合同稽古を行うなど、子どもたちの心と体を鍛えることができた。

### 夏休み星空観察会

- ①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中、星空を観察することで自然科学への興味を育む。
- ②募集対象 市内の小学生 26人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月19日(日) 18:00～21:00	天体望遠鏡で月の観察	公民館職員

- ④講座を終えて 社会教育課主催事業「佐倉子ども交流合宿IN弥富」のメニューとして実施した。天候が良く観察対象が近いいため倍率を上げて導入がしやすく、参加者た月の表面をよく観察していた。

### 星空観察会

- ①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中、星空を観察することで自然科学への興味を育む。また、志津公民館との合同事業とすることにより、参加者間の地域交流を図る。
- ②募集対象 市内の小学生と保護者
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月21日(土) 10:00～12:00	夏の夜空を学ぼう	染井野星の会
2	8月4日(土) 19:00～21:00	星空観察会	染井野星の会
3	12月1日(土) 10:00～12:00	冬の夜空を学ぼう	染井野星の会
4	12月8日(土) 18:00～20:00	星空観察会	染井野星の会

- ④講座を終えて 今年度の星空観察会については志津公民館と合同事業とし、全4回(2期)に分けて実施した。夏季・冬季にすることで季節の天体を観察できること、フィールドでの観察をする前に観察対象を座学で学ぶことで学びが深まると考え予定を組み、講師との打ち合わせでも意向を伝えた。座学については難しい内容ではあったが、親子で座学にも参加できることで共に学ぶことができ、低学年の児童でも理解できる講座となっていた。フィールドでの観察は「彗星」の観察を目的としたが、天候がすぐれなかったため彗星の観察はできず、通常の観察会となった。

### 佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾

- ①開設趣旨 自然体験や工作、料理など様々な体験活動を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。
- ②募集対象 弥富小学校の児童
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月23日（土） 13:30～16:00	グラウンドゴルフ	弥富地区シニアクラブ
2	7月30日（月） 8:30～17:00	バス見学Ⅰ（科学技術館）	公民館職員
3	7月31日（火） 13:30～16:00	才能発見！？絵画教室	村上 忠
4	8月 6日（月） 8:30～17:15	かんたん手作りおやつづくり	食生活改善推進員
5	9月22日（土） 9:30～12:30	家族みんなでヨガ体験	村上 忠
6	11月10日（土） 9:30～11:30	チャレンジクッキング	食生活改善推進員
7	12月 8日（土） 9:30～11:30	オリジナル連凧をつくろう	青少年相談員
8	1月12日（土） 9:30～11:30	お餅をついて成木をつくろう	公民館職員
9	1月26日（土） 9:30～11:30	竹馬に挑戦しよう	飯塚 進
10	2月24日（日） 8:30～17:00	バス見学Ⅱ（鴨川シーワールド）	公民館職員

- ④講座を終えて 様々なプログラムを通じて、子どもたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。弥富小児童の約7割の参加が得られており、6年間参加する児童も多いので、更なる事業の充実に努めていく必要がある。今回は大幅に日程変更を行い、夏休みの時期に講座を集中させて夏休みの宿題を行う機会、居場所づくりを兼ねた。

### 3. 成人教育事業

#### ふるさと弥富散策会

- ①開設趣旨 散策を通して弥富地区の豊かな自然等について理解を深めてもらうとともに郷土への愛着を高める。
- ②募集対象 市内の成人 12人
- ③実施日・回数 中止
- ④学習内容 弥富地区を散策し、自然観察を行う。
- ⑤講座を終えて 諸般の事情により実施体制が整わなかったため中止とした。

#### グラウンドゴルフ大会

- ①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
- ②募集対象 弥富地区の住民
- ③実施日・回数 平成30年6月23日(土) 午後1時30分～4時 1回
- ④学習内容 グラウンドゴルフ
- ⑤講座を終えて 多くの高齢者に参加してもらうため地域の高齢者団体との共催とした。楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流が図られた。

#### 竹炭づくり体験

- ①開設趣旨 弥富地区の特性を活かした竹炭づくりを体験することにより、地域への理解を深める。
- ②募集対象 市内の成人 8組
- ③実施日・回数 平成30年11月27日(火) 午前9時30分～午後2時 1回
- ④学習内容 竹炭づくりの体験
- ⑤講師 中村 恵夫
- ⑥講座を終えて 竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

#### 健康づくり講座 ヨガ教室

- ①開設趣旨 日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。
- ②募集対象 弥富地区の成人 12人
- ③実施日・回数 平成30年10月9日、16日、10月23日、10月30日(火) 午後7時～8時 4回
- ④学習内容 ヨガ
- ⑤講師 村上 忠
- ⑥講座を終えて 弥富地区は市内で高齢化率が一番高いこともあり、高齢者を対象とした健康づくりは地域課題のひとつである。今年度はヨガを夜間に実施し、昼間の事業になかなか参加できない層を呼び込むとともに、男性の講師を依頼し、男性が参加しづらい雰囲気への払拭に努めた。

#### 佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学入門講座「明寿大学 歴史講座」

- ①開設趣旨 高齢者から現役世代成人を対象に地域の伝統・文化・歴史について学び、伝えていくことを目的とする。
- ②募集対象 市内の成人 23人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月21日(火) 10:00～12:00	縄文メトロポリス(都市) 宮内井戸作遺跡	文化課職員

2	8月23日(木) 13:30~15:30	弥富の中世	〃
3	9月6日(木) 10:00~12:00	北条氏勝と岩富藩 —中世から近世への転換点	〃

④講座を終えて この事業は佐倉・城下町400年事業の一環として実施した事業であり、縄文時代から中世の終わりまでの歴史をメインとして実施した。アンケートによると参加者の満足度は高く、歴史学習の素材として魅力ある学習講座が提供できた。

### 佐倉学入門講座「弥富を歩く」

- ①開設趣旨 弥富地区に残る民俗・風習について学び、地域への理解を深める。
- ②募集対象 市内の成人 15人
- ③実施日・回数 中止
- ④講師・協力 公民館職員・岩富地区
- ⑤講座を終えて 諸般の事情により実施体制が整わなかったため中止とした。

### 佐倉学体験講座「くらしの講座」

#### バス研修

- ①開設趣旨 地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。
- ②募集対象 弥富地区の成人 50人
- ③実施日・回数 平成30年6月20日(水)、平成31年3月22日(金) 午前8時30分～午後5時 2回
- ④学習内容 6/20 千葉県香取市 佐原の街並み  
3/22 千葉県木更津市 三井アウトレットパーク木更津 他

#### デコもちに挑戦・お絵描きロールに挑戦

- ①開設趣旨 調理実習を通して世代間の交流を図るとともに、弥富地区在住の方を講師とすることで、地域の人材育成を図る。
- ②募集対象 弥富地区の成人 10人
- ③実施日・回数 平成30年9月25日(火)、平成31年2月14日(木) 午前9時30分～午後1時 2回
- ④学習内容 調理実習
- ⑤講師 石渡 暁子

#### 刃物研ぎ教室

- ①開設趣旨 弥富地区では農村地区であり、鎌を持っている方が多いため、道具を整える大切さや昔の人が行ってきた技術を学ぶことを目的とする。
- ②募集対象 弥富地区の成人 12人
- ③実施日・回数 平成30年6月26日(火) 午後1時～2時 1回
- ④学習内容 包丁・鎌の研ぎ方を学ぶ
- ⑤講師 シルバー人材センター 刃物研ぎ班

#### 太巻き祭り寿司講座

- ①開設趣旨 千葉県の郷土料理である太巻き寿司の技法を学び、地域で指導できる人材を育成するとともに参加者同士の交流を深める。
- ②募集対象 弥富地区の成人 12人
- ③実施日・回数 平成31年2月19日(火)、2月26日(火) 午前9時～午後2時 2回
- ④学習内容 太巻き祭り寿司の技法や指導方法の習得
- ⑤講師 三須 幸子、伊藤 芙美子

### 布ぞうりづくり講座

- ①開設趣旨 昔から伝わるぞうりづくり技法を次代に伝えると共に、世代間の交流を図る。
- ②募集対象 弥富地区の成人 8人
- ③実施日・回数 平成31年2月12日(火) 午前9時30分～午後3時 1回
- ④学習内容 布ぞうりづくり
- ⑤講師 三須 幸子、大西 ヤス

#### ○講座を終えて

千葉県の郷土料理である太巻き祭り寿司、ぞうりづくりなどの技法を学び郷土への理解を深めることができた。また、講師を地域の方をお願いするなど地域人材の活用を図った。

## 4. 団体育成事業

---

### 地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会

地域まちづくり協議会は、各小学校区を基準として、区域内で活動する自治会・町内会を基盤に、地域で活動する団体・組織が、それぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携・協力することで、地域が対応できる課題等について、協働して、その解決を図っていくことを目的とした組織である。

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富小学校区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民からの地域の将来像・本会が果たすべき役割などの意見交換により団体相互の連絡、交流、調整を行い課題発見する。
2. 地域住民からの積極的な意見公募により課題発見をし事業検討する。
3. 地域課題の対応を図るため環境保全事業として「ホテルの里づくり」を実施する。
4. 文化財等保護事業として岩富城址進入路の調査及び整備事業を実施する。
5. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」を継続実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

### 弥富地区青少年健全育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市健康子ども部児童青少年課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

## 5. 広報・展示事業

---

### 公民館だより

○ねらい 公民館事業・グループ活動・地域の話題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的な参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。

○発行回数 年3回(5・9・1月号)

○発行部数 700部/回

○配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布、公民館に配架

根鄉公民館

## 根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置しています。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味していますが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われます。

中世は、上総介一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなります。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足しました。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯でしたが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、さらにはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっています。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、さらに成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっています。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面もあります。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる約17.5km<sup>2</sup>、人口は14.6%に当たる25,688人ですが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による土地地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展しています。

## 根郷地区のデータ

【平成31年3月末現在】

- 根郷地区：面積 約17.5km<sup>2</sup> （佐倉市：面積 103.69km<sup>2</sup>）
- "：住基人口 25,688人 （ "：住基人口 175,476人）
- "：人口密度 1,467人/km<sup>2</sup> （ "：人口密度 1,692人/km<sup>2</sup>）



# 1. 公民館運営計画

---

---

## 運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

## 努力目標

- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
- 地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
- 地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
- 公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。

## 事業内容

### 1. 施設・備品の提供

#### (1) 施設の提供

##### ①利用時間

月・火・日曜日・祝日 午前9時～午後5時

水・木・金・土曜日 午前9時～午後9時

\* 午後5時以降の施設利用がない場合は午後5時まで

※使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

(予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし)

##### ②休館日 第2・4月曜日及び年末年始(12月28日～1月4日)

#### (2) 備品の提供

①館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。

②佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

### 2. 学級・講座・講習会・見学会

受講者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育の各事業に分けて実施する。

### 3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用件数 (件)	3,384	3,509	3,422	3,416	2,972
利用人数 (人)	35,688	35,404	37,381	33,794	33,257
開館日数 (日)	333	335	333	333	332

### 平成30年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
ホール	3,444	1,910	55.5%
学習室1	3,444	1,427	41.4%
学習室2	3,444	1,505	43.7%
プレイルーム	3,444	1,281	37.2%
調理室	3,444	940	27.3%
和室	3,444	993	28.8%
集会室	3,444	1,443	41.9%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ	2・3歳児と保護者 30組 (15組×2コース)	【前期】 19組38人 5/10 18組36人 5/17 17組39人 5/24 13組28人 5/31 15組31人 6/ 2 10組31人 6/ 7 15組30人 6/14 10組20人 6/21 17組34人 6/24 11組40人 6/28 13組26人 7/ 5 13組27人 7/12 16組32人 【後期】 20組40人 9/27 17組34人 10/4 17組34人 10/11 16組32人 10/18 17組34人 10/20 10組34人 10/25 16組32人 11/ 8 17組34人 11/15 17組34人 11/22 13組26人 11/25 13組43人 11/29 12組24人 12/ 6 14組28人	全12回の講座の前半6回は、親子で一緒に絵本・手遊び・工作等を楽しみ、後半6回は体操を中心に行い、幼児の様々な発達を促した。 また、家族の参加日を前期後期それぞれ2回設け、保護者だけでなく、家族ぐるみの交流も図っている。
	親子体験教室	4歳～小学生と保護者 各10組	きのこの孢子紋を作ろう 5/19 7組20人	体験活動を通じて、親子の交流を深めるとともに知識等を習得することを目的に開催。佐倉きのこ園と連携し、椎茸の孢子紋の作り方や椎茸狩りを行った。
			寄せ植え体験 6/2 10組24人	体験活動を通じて、親子の交流を深めるとともに知識等を習得することを目的に開催。佐倉ハーブ園と連携してハーブの寄せ植え（鉢植え）を行った。
	親子運動教室	2・3歳児と保護者 15組	2/21 15組30人	親子の健康増進を図るとともに、心身のリフレッシュ及び参加者同士の交流を図った。
	子育て実践講座 イヤイヤ期を上手に乗り切る子育て	2歳から未就学児をもつ保護者 15組	1/31 5組	子育て期の様々な悩みを、講師の助言により保護者同士が話し合うことで、解決に向けての一助とした。 託児を行うことで、子どもと離れて学べる環境を提供。また、幼児用おやつを試食や栄養の講義も実施した。
	こども工房	家族とつくるクリスマス木エクラフト こどもと家族15組	12/16 大人 13人 子ども 15人	子どもとその家族で行うワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供し、家庭の教育力の向上を図った。
家族とつくる大切な人に贈るお菓子 小学生と家族15人		3/10 大人 4人 子ども 7人		
青少年教育	根郷防災キャンプ	根郷・寺崎・山王小学校5・6年30人	7/15～7/16 〔1泊2日〕 18人	自然災害に対する知識や災害時の対応について意識や関心を高めるため、根郷公民館を避難所に想定した体験的な防災教育（生活スペース作り・ボランティア等によるレクリエーション・地震体験等）を行った。また、異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで、自主性・協調性などを高め、生きる力を育んだ。
	子ども体験講座	おもしろ科学実験隊 小学4年～6年16人	7/ 7 16人 8/ 9 18人 8/25 18人	酸とアルカリ等・液体窒素・浮力をテーマにして、分かりやすく楽しい実験を3回行った。
		勾玉作り 小学3年～6年16人	8/ 7 12人	勾玉を作ることで縄文時代の生活の一端に触れた。
	絵画教室 小学3年～6年15人	7/27 16人	プッシュカラーカッティング（特殊な色紙を粘着面に貼っていった絵を描く）で絵を制作した。	

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
		茶道教室 小学1年～6年10人	7/28 13人	茶道を学ぶことにより、日本文化を知り、礼儀作法や美しい立ち振る舞いなどを身につけた。
		華道教室 小学1年～6年15人	8/ 2 8人	季節の草花を生ける華道を学習することで、日本の伝統文化に触れることができた。
	クリスマスコンサート	小学生 40人	12/23 36人	音楽鑑賞等を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。根郷地区で活動を行っている佐倉ウィンド・アンサンブルによるコンサートを行い、音楽に親しむ機会を提供した。
佐倉学	佐倉っ子塾共通講座「夏休み子ども水辺探検ツアー」	小学生 22人	7/25 18人	生活環境課と共催。印旛沼等の自然環境やその他の自然体験学習により、環境への意識を育んだ。
	佐倉っ子塾夏休み子ども社会科見学	小学4年～6年10人	8/ 3 6人	根郷地区に所在する（公財）印旛郡市文化財センターで、文化財保護に携わる仕事内容を学習し、展示室の見学等を行った。
根郷寿大学 成人教育	根郷寿大学	60歳以上 130人	5/18 121人 6/20 110人 7/20 112人 8/17 109人 9/21 108人 10/17 77人 11/16 94人 12/21 110人 1/18 107人 2/15 98人 3/15 106人	教養の向上と社会参加の推進を目的とし、郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等 幅広い分野を学んだ。また、受講者同士の交流も図った。 5月：開講式とオリエンテーション 6月：生活習慣病予防講座 7月：東京マラソンボランティアについて（講師＝受講生） 8月：映像から見る佐倉（歴史） 9月：暮らしやすい地域のために（講師＝受講生） 10月：社会見学（勝浦海中公園、大多喜城） 11月：日常生活の中でできる運動 12月：揚琴演奏 1月：高齢者の栄養について 2月：検察庁、裁判員制度について 3月：班発表・閉講式
	(市民公開講座)生活習慣病予防講座	成人 20人	6/20 8人	みつば脳神経クリニックの院長を講師に、生活習慣病予防のため、日常生活の中で実践できる予防法を学んだ。
	(市民公開講座)高齢者の栄養について	成人 20人	1/18 7人	高齢者福祉課の職員（栄養士）を講師に、高齢者にとって大切な栄養・食生活について学んだ。
	シニアのためのスマートフォン講座	60歳以上 20人	7/26 20人	スマートフォンを、安心・安全に使うには、どうしたらよいか。KDDI社員を講師に招き、理解を深めた。
	ハンギングバスケット講座	成人 10人	12/18 10人	季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンギングバスケットを制作した。
	シニア向け健康づくり講座	成人 30人	10/10 27人 10/16 24人 10/24 23人 10/31 22人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動等を中心に健康体操を実践した。
	パソコン広場	成人 各回20人	4/ 8 21人 5/13 11人 6/10 7人 7/ 8 8人 8/12 10人 9/ 9 9人 10/14 9人 11/11 12人 12/ 9 7人 1/13 11人 2/10 10人 3/10 11人	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者を持ち込みパソコンの操作等に関する疑問を解決する場を提供した。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	珈琲学入門講座	成人 各10人	8/ 5 7人	珈琲の基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技術等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見する。美味しいアイスコーヒーの淹れ方を学んだ。
			12/ 1 10人	珈琲の基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技術等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見する。産地の異なる3種の珈琲を学んだ。
	終活講座	成人 30人	3/ 9 20人 3/16 21人 3/23 20人	人生100年時代をより自分らしく生きるためのきっかけとし、今後の暮らしに役立つよう、エンディングノート、介護保険、相続、高齢者の直面するリスクなどについて学んだ。
	御朱印帳作り講座	成人 12人	12/15 12人	お気に入りの布を持参してもらい、自分だけの御朱印帳作りを実施した。
	園芸教室	成人 各30人	春のハーブ園散策(寄せ植え) 5/31 14人	根郷地区にある、佐倉ハーブ園と連携し、春のハーブ園散策と寄せ植えを行った。
			夏のハーブ園散策(ブルーベリー摘み) 7/20 8人 7/21 19人	根郷地区にある、佐倉ハーブ園と連携し、ブルーベリーについて学び、摘み取り体験を行った。
			コニファーで作る素敵なクリスマスツリー 11/16 14人 11/17 9人	根郷地区にある、佐倉ハーブ園と連携し、本物のコニファーでクリスマスツリーを作った。
			お正月のミニ門松を作ろう! 12/21 14人 12/22 21人	根郷地区にある、佐倉ハーブ園と連携し、小さめではあるが、本格的な門松を作った。
			初夏まで楽しめる寄せ植えの体験 3/21 9人 3/22 9人	根郷地区にある、佐倉ハーブ園と連携し、初夏まで楽しめる寄せ植えの体験を行った。
	防災講座	成人 30人	7/15~7/16 [1泊2日] 26人	地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化した。(防災キャンプと一緒に実施)
佐倉学	郷土の刀と鐔 成人 各10人	【前期】 5/ 8 10人 5/15 9人 5/22 9人 5/29 10人 6/ 5 10人 6/12 9人	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高めることを目的に、前期・後期各6回の講座「武士の美と技を学ぶ『賞でる・郷土の刀と鐔』」を実施し、佐倉藩にゆかりのある日本刀や刀工等について学んだ。	
		【後期】 1/29 4人 2/ 5 4人 2/12 4人 2/19 3人 2/26 3人 3/ 5 3人		
	講演会「大名行列にみる佐倉藩堀田家」 成人 50人	8/30 49人	大名行列に関係する武具や道具から、堀田家の大名行列の実態に迫った。	

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	佐倉学入門講座	明治150年記念事業 講演会： 各回 成人50人 バス見学会： 成人30人	10/19 34人 11/30 46人 12/ 7 44人 1/23 42人 2/13 27人 バス見学会 2/19 26人	明治維新から150年となる節目の年を記念し、講演会5回（2/13は佐倉南図書館と共催・定員30人）とバス見学会1回を開始し、近代以降の佐倉市域を中心とする歴史や文学について学んだ。 第1回：「千葉県の近代～根郷村という地域から考える」 第2回：「堀田伯爵家と明治の佐倉」 第3回：「幕末明治に生きた佐倉人の逸話」 第4回：「佐倉最初の電車 宗吾電気鉄道と佐倉駅初代駅舎」 第5回：「日露戦争と佐倉連隊 -明治大正の文学に描かれた戦い-」
		根郷ふるさと探訪 成人 各20人	春の野草観察会 4/14 17人	野草観察会では、根郷地区を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむことができた。
			秋の野草観察会 10/13 19人	野草観察会では、根郷地区を散策しながら、秋の野草を観察し自然に親しむことができた。
	佐倉学体験講座	成人 各20人	糀屋さんから学ぶ発酵の秘密 9/28 18人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。発酵について学び、塩麴を作った。
			伝統の根郷産こんにゃく作り体験 11/20 19人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。地元根郷地区の食材を使用してこんにゃく作りを行った。
	団体育成	根郷地区社会教育関係団体への支援	該当団体	通年
定期利用者懇談会		利用団体代表者	4/ 3 55人	7月からの施設利用有料化も含めた公民館の運営や活動等について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。
調理室利用者懇談会		利用団体代表者	2/ 8 21人	調理室美化を保つため、整理整頓作業を実施するとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	4/15 9,300部 9/15 9,300部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	貸出人数 519人 貸出冊数1,001冊 返却冊数7,102冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行っている。
その他	卓球室開放	幼児～成人	4/ 1 8人 5/ 6 8人 6/ 3 8人 7/ 1 6人 8/ 5 11人 9/ 2 7人 10/ 7 6人 11/ 4 11人 12/ 2 13人 1/ 6 6人 2/ 3 6人 3/ 3 8人	家族や友人らと気軽にスポーツ（卓球）を楽しむ場を提供した。

# 1. 家庭教育事業

## 親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ

①開設趣旨 絵本や親子遊び・体操などを通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

### ②募集対象

前期 平成26年4月2日～28年4月1日生まれの子と保護者 15組30人

後期 平成26年4月2日～28年4月1日生まれの子と保護者 15組30人

○保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 前期8人・後期8人

### ③プログラム

(前期)

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月10日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ 自分のバックを作ろう (お出かけバックを作ろう)	楽母楽子 廣田和子
2	5月17日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう (新聞紙で遊ぼう)	
3	5月24日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ)	
4	5月31日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう (絵の具でスタンプ遊び)	
5	6月2日(土) 10:00～11:30	家族参観日 絵本の読み聞かせ 家族一緒に お空の下で遊ぼう (ロケットを飛ばそう)	
6	6月7日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ みんなでさかなつりを体験しよう (みんなで魚釣り)	
7	6月14日(木) 10:00～11:30	体操 投げたり、ついたり、転がしたり 大好きなボールで遊ぼう (ボールを使って)	NPO法人ニッポン ランナーズ 小林友香 結城玲美 萩谷弘子 清原法子
8	6月21日(木) 10:00～11:30	体操 タオルを使って、楽しく体操しよう (タオルを使って)	
9	6月24日(日) 10:00～11:30	家族参観日 体操 新聞紙を使って色々な遊びをしよう (新聞紙を使って)	
10	6月28日(木) 10:00～11:30	体操 フープなどを使って楽しく 体操しよう (フープを使って)	

1 1	7月 5日 (木) 10:00~11:30	体操 マット、平均台にチャレンジしよう (用具を使って)	
1 2	7月12日 (木) 10:00~11:30	体操 思い出を作ろう！ミニ運動会 (みんなでよーいドン)	

(後期)

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	9月27日 (木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ みんなで仲良くなろう (折り紙を使って)	楽母楽子 廣田和子
2	10月 4日 (木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう (新聞紙で遊ぼう)	
3	10月11日 (木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ) 食生活改善推進 員・栄養士のおやつとお話し	
4	10月18日 (木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう (絵具でスタンプ遊び)	
5	10月20日 (土) 10:00~11:30	家族参観日 絵本の読み聞かせ 家族一緒に お空の下で遊ぼう (凧を揚げよう)	
6	10月25日 (木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (独楽を作ろう)	
7	11月 8日 (木) 10:00~11:30	体操 投げたり、ついたり、転がしたり 大好きなボールで遊ぼう (ボールを使って)	NPO法人ニッポンランナ ーズ 小林友香 結城玲美 萩谷弘子
8	11月15日 (木) 10:00~11:30	体操 タオルを使って、楽しく体操しよう (タオルを使って)	
9	11月22日 (木) 10:00~11:30	体操 フープなどを使って楽しく 体操しよう (フープを使って)	
10	11月25日 (日) 10:00~11:30	家族参観日 体操 新聞紙を使って色々な遊びをしよう (新聞紙を使って)	



1 1	11月29日(木) 10:00~11:30	体操 マット、平均台にチャレンジしよう (用具を使って)
1 2	12月6日(木) 10:00~11:30	体操 思い出を作ろう！ミニ運動会 (みんなでよーいドン)

④講座を終えて 12回の講座のうち、前半が工作・絵本の読み聞かせ、後半が体操という構成とし、平日以外にも家族参観日として、土・日曜日に講座を実施することで、祖父母、きょうだい、父親、叔母など様々な家族が参加し、家庭教育の講座として、子育てを考える機会に寄与できている。

同伴するきょうだいの託児は託児ボランティアちゅんちゅんくらぶに依頼することで、親は対象となる幼児に向き合える貴重な時間となっている。公民館に託児ボランティアサークルを持ち、その協力を得て講座が開設できることは、得難いことで、サークルの育成にも心を配っていききたい。

## 親子体験教室

### きのこの孢子紋を作ろう

①開設趣旨 あそびや体験活動を通じて、親子の交流を深めるとともに知識等を習得することを目的に開催。佐倉きのこ園と連携し、椎茸の孢子紋の作り方や椎茸狩りを行う。

②募集対象 4歳から小学生と保護者 10組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月19日(土) 9:30~10:30	佐倉きのこ園の散策、きのこの育て方、孢子紋の取り方の説明	佐倉きのこ園園長 齋藤 勇人

④講座を終えて 佐倉きのこ園園長の案内で、きのこ園を見学し、椎茸の育て方、椎茸の孢子紋の作り方を教わった。最後に椎茸狩りの体験も行った。

参加者が採った椎茸は直接きのこ園に代金を支払い、家庭で椎茸の孢子紋を作ったり、椎茸料理をしたりして食す形になった。

参加者は、農薬や化学肥料を使わない、地下50mからくみ上げた天然水のみで椎茸を育てている様子に興味を持っているようだった。また、新鮮な椎茸を採ることができ、親子でコミュニケーションをとりながら、楽しんでいる様子であった。

## 寄せ植え体験

①開設趣旨 あそびや体験活動を通じて、親子の交流を深めるとともに知識等を習得することを目的に開催。佐倉ハーブ園と連携してハーブの寄せ植え(鉢植え)を行う。

②募集対象 4歳から小学生と保護者 10組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月2日(土) 10:00~11:30	ハーブ園散策、寄せ植え体験	佐倉ハーブ園園長 柴田 忠裕

④講座を終えて 寄せ植え体験に入る前に、ハーブの種類や寄せ植えのポイント等について、説明があった。その後、参加者は良質の土をふるって混ぜることから始まり、あらかじめ用意された材料となる植物を使って、寄せ植えの体験を楽しんでいた。寄せ植えの後は、佐倉ハーブ園園長の案内で、佐倉ハーブ園を見学した。散策は、ハーブの匂いかぎやワイルドストロベリー等の園

内にある実の試食をしながらの楽しいひと時だった。

お湯を入れると青色のお茶になり、酸性のものを加えると赤色のお茶になるハーブティーを実演で見せ、受講生に振る舞われた。そのフレッシュな美味しさとハーブにお湯が注がれると茶の色がきれいに変わる不思議な様子に歓声が上がった。

### 親子運動教室

①開設趣旨 親子遊びや運動をとおして、心身のリフレッシュを図り、仲間作りをする場を提供する。

②募集対象 平成27年4月2日～平成29年4月1日生まれの幼児と保護者 15組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	2月21日(木) 10:00～11:30	子育て中の保護者たちが親子遊びや運動をとおして体を動かす	NPO法人ニッポンランナーズ 小林友香、萩谷弘子

④講座を終えて 幼児と保護者を対象に、親子遊びや運動をとおして、健康増進を図るとともに、心身のリフレッシュ及び参加者同士の交流を図った。募集に際して、今年度実施した「親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ」未受講の方を優先したこともあって、家庭教育の講座を初めて受講する10組の受講生も含め、地域の対象者に参加を広く促すことができた。講座終了時には、次年度開催予定の家庭教育事業「親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ」の活動内容や受講生募集の時期を伝え、参加を呼び掛けた。

### 子育て実践講座 イヤイヤ期を上手に乗り切る子育て

①開設趣旨 幼児期の様々な悩みについて、講師の助言により、保護者同士が話し合うことで、解決に向けての一助とする。

また、同世代の仲間作りの機会を提供し、心身のリフレッシュを図る。

②募集対象 2歳から未就学児をもつ保護者 15人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	1月31日(木) 10:00～11:30	パワーポイントによる講義と参加者によるロールプレイング形式で行った。また、食生活改善推進員によるおやつを試食も実施	子育て支援課 健康増進課 食生活改善推進員

④講座を終えて 2歳から未就学の子どもをもつ保護者を対象に、日ごろの子育てについて考える、託児つきの保護者のための講座として実施した。

日常よく見受けられる、対応に苦慮する子育ての事例を取り上げ、子どものほめ方や叱り方について考えてもらう。

また、食生活改善推進員による試食提供と栄養士による食事の大切さの講義も実施した。短い限られた時間ではあっても、安心できる保育者に子どもを預け、用意した温かい湯茶などを飲みながら、リラックスしたり、集中したりできる時間のなかで子育てについて考える機会となったと思う。

### こども工房

#### 家族とつくるクリスマス木エクラフト

①開設趣旨 木工材料を使って、こどもとその家族で協力しておもちゃを制作する。

ワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供する。

②募集対象 こどもと家族(保護者同伴) 15組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月16日（日） 10:00～12:00	親子で、クリスマスにちなんだ 木工クラフトづくり	アトリエそうわーくす 奥津友子

④講座を終えて こどもとその家族で行うワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供し、家庭の教育力の向上を図る事業を新規に立案・実施した。

今回、クリスマスにちなんだ木工クラフトづくりに取り組んだ。参加した家族は講師が用意した木工キットを前に、協力しながら作業を進めていた。

作品完成後も、作品を前に並べ参加者全員で工夫したところ、気づいたところ、できばえの良いところを見つけ鑑賞した。

年末のあわただしい時期に、家族と過ごす貴重な時間になったと思う。

### 家族とつくる大切な人に贈るお菓子

①開設趣旨 大切な人に贈るお菓子を、こどもとその家族で協力して作成する。ワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供する。

②募集対象 小学生と家族15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月10日（日） 9:30～12:00	お世話になっている大切な人に、心を添えたお菓子を家族で協力して作る	フードコーディネーター 加藤富美子

④講座を終えて 参加者からは、「ばあばにあげる」「自分に贈って食べる」「4月に帰ってくるパパに渡したかったけど、写メを送る」との声が聞こえた。

実施日がホワイトデー間近ということで、バレンタインデーのお返しにしたいという参加者もいた。市販の袋や箱に詰め、乾燥剤を入れて作ったお菓子を持ち帰った。メニューはドロップクッキー、フラワークッキーの2種で、アイシングをしてその上にアラザンや砂糖でできた飾りを盛り、贈り物を仕上げるのに余念がなかった。

贈り物だけでなく、最後に温かい紅茶を入れて、自分の焼いたクッキーを食べるくつろぎの時間も設けた。美味しいお菓子と楽しい時間を過ごせた、と参加者は満足の感想をアンケートに寄せていた。

## 2. 青少年教育事業

### 根郷防災キャンプ

- ①開設趣旨 親元を離れて災害時を想定した共同生活体験をすることで、自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力を育む。災害時に役立つスキルを学ぶ。
- ②募集対象 根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校 5・6年生30名  
各校10名
- ③プログラム

	実施日（曜日）	学習内容	協力団体等
1 日目	7月15日（日） 13:00～	開講式を行った後、DVD視聴 避難訓練 段ボールの寝床（生活スペース）作り ローピング ゲーム レクリエーション	根郷地区青少年育成住民会議 根郷地区社会福祉協議会 根郷地区民生委員児童委員協議会
2 日目	7月16日（祝・月） ～12:00	朝食（アルファ米）の準備 起震車体験 防災講話	南部地区子ども会育成会 連絡協議会 ボーイスカウト佐倉第3団 南部中学校 根郷中学校 危機管理室

- ④講座を終えて 防災キャンプは根郷公民館で宿泊を伴う事業として、通学合宿から変更し、今年度初の試みとして行った事業である。

公民館で、小学生と住民の方々が集まってイベントを行っていたところに、震度7の地震が発生。道路に亀裂が入って帰宅が困難となり、公民館が周辺住民の避難場所として使用されることになった、という想定のもと根郷地区の小学校5・6年生18名が参加した。

根郷公民館で長年実施してきた「通学合宿」のネットワークを活用し、根郷地区青少年育成住民会議が主体となって、7月15日(日)から16日(祝・月)、1泊2日の防災キャンプを行った。中高生や地域の協力団体から多くのボランティアの協力を得て、例年になく酷暑の中、非常時の食事や段ボールを使った寝床づくり、宿泊、起震車体験をした。また避難所生活のアイスブレイクに、ボーイスカウト第3団からローピングとゲーム、南子連ジュニアリーダーズクラブからレクリエーションの指導を受けた。

災害時には、避難生活が長引くことも多く、避難所には高齢者、赤ちゃん、持病のある人、ペット連れなど様々な方が避難してくる。常に騒音や混雑感があり落ち着かない中で、ふざけたり、騒ぎ出したり、避難所リーダーの指示に従わないなど、勝手な行動は慎まなければならない。それぞれの立場でできることを自主的に考え、地域の中で協力して過ごす大切さを体験できた。

アンケート結果からも、子どもたちは、「災害のときにみんな協力することの大切さ」や「日ごろから災害に備えておく心がまえ」を学んだと答えている。

### 子ども体験講座

#### おもしろ科学実験隊

- ①開設趣旨 子どもたちの五感を刺激する実験をとおして、遊びながら新しい発見をすることで、科学の不思議さ・楽しさに触れてもらう。
- ②募集対象 小学4年生～6年生・16人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月 7日（土） 13:00～15:00	酸とアルカリ色々な実験	八千代市立高津中学校 教諭 西澤保雄
2	8月 9日（木） 13:00～15:00	液体窒素 -196℃の世界を体験してみよう	四街道市立四街道西中学校 教諭 宮本利之
3	8月25日（土） 13:00～15:00	「浮いてこい」を作ろう！ 浮力の実験	千葉工業大学 教授 半沢洋子

④講座を終えて 昨年度までと比較して参加申込者が多かったのは、開催回数を7回から3回に絞り、開催時期を夏休み前後に設定したことで、予定が立てやすく参加しやすかったことが要因と思われる。

第1回は赤キャベツを使用した酸・アルカリから炎色反応、偏光板を使った工作。第2回は液体窒素（-196℃）を用いて様々な物（スーパーボール、風船、バラ、バナナなど）を凍らせ、その変化の検証を行った。この回は、最後にアイスクリームを作ってみんなで食べた。第3回は玩具のような「浮いてこい」を作り、浮力を利用した実験を行った。3人の講師の指導のもと全体をとおして、受講生は楽しそうであった。

### 勾玉作り

①開設趣旨 勾玉作りや展示する土器などを通して、縄文時代の生活に触れる機会とする。また、受講者のやる気や自主性を養う。

②募集対象 小学3年生～6年生 16人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 7日（火） 10:00～12:00	勾玉作りや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れる	千葉県教育庁 教育振興部文化財課 四街道分室

④講座を終えて 講座の流れは、最初に縄文時代や弥生時代の土器や石器の説明や子ども達に遺物に触れさせる体験をさせた。その後、講師が火起しの実演を行った。現代の生活と比較しながら古代の火の重要性について説明があり、子ども達は熱心に聞いていた。

勾玉作り体験は、1時間くらいかかったが、順番どおりに削っていくにつれ、砥石や紙やすりの使い方にも慣れ、指でゆがみを見ながら作成できたようである。講師に勾玉のヒモを首にかけてもらった参加者はみな満足げな顔であった。

リピーターもおり、楽しいものづくり体験になった。歴史の学習についても、実際に出土品に触れることができるため、古代を身近に感じる良い機会であった。

### 絵画教室

①開設趣旨 体験型の講座を通して、受講生のやる気や、創造力、自主性を養う。

②募集対象 小学3年生～6年生 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月27日（金） 10:00～15:00	気持ちを描こう ～色のイメージとリズムを知ろう～	ワールサークル会員

④講座を終えて 今年度から、水彩画教室から絵画教室と名称を変更し、講師は昨年に引き続き

ワールサークル会員に依頼した。今年度はプッシュカラー カッティング画を教材にした。初めて取り組む教材に受講生はみな集中し、夢中で制作を進めていた。

ワールサークル会員は講座中も、会場の机間巡視をしながら、アドバイス、必要な教材の提供など、参加者への細やかな対応をしてくれた。

制作するだけでなく、鑑賞する時間も、随時設け、お互いの作品の鑑賞や講師からの講評など、振り返りの時間も十分にとることができた。

### 茶道教室

①開設趣旨 体験型の講座を通して、受講生のやる気や、創造力、自主性を養う。

②募集対象 小学1年生～6年生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月28日（土） 10:00～11:30	畳の歩き方、お辞儀の仕方、お菓子の取り方、お茶の点て方	楽茶会会員

④講座を終えて 講師による解説やお点前のデモンストレーションを見た後、参加者はお菓子の取り方、懐紙の使い方、お茶の点て方を実際に行った。

他にも、和室の入り方や畳の歩き方、掛け軸や、生けられた花の鑑賞などについても学んだ。人をもてなす心の大切さも、日本の伝統文化である茶道教室で少しでも学びとってもらえたら幸いである。参加者は足がしびれた様子もなく、持参した白い靴下を履き、神妙な面持ちの中にも、お茶もお菓子も美味しく、味わっている様子であった。

### 華道教室

①開設趣旨 季節の草花を花器に生けて鑑賞する華道を学習することにより、日本の伝統文化に触れる機会とする。

②募集対象 小学1年生～6年生 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月2日（木） 10:00～12:00	ハサミの使い方、水切りのやり方、花の生け方	カトレア会会員

④講座を終えて ハサミの使い方や水切りのやり方を学習した後、各自思い思いに自由に生けこんだ。講師は参加者が制作したものを見ながら、花の表情や動きなど作品の良いところを講評しながら、高さ、奥行の出し方などに修正を加え、仕上げていった。

花はヒマワリ、鶏頭、ゴットを用い、講師が当日庭から摘み取った草花を添えて完成させた。参加者は最後まで真剣に聞き入り、満足そうな様子であった。

講座終了後、自転車の荷台に積んで、作品を持って帰る参加者や自宅に花器がない参加者もいることから、扱いやすく、軽いうえ、安定性のある花器を講師に提案してもらった。

講師は牛乳パックとかわいい用紙で包みこんだ花器を考えてくれた。

### クリスマスコンサート

①開設趣旨 子どもたちに、クリスマスの時期に楽しく過ごしてもらおうとともに、創造力を育む機会を提供するため、地域の吹奏楽団演奏によるコンサートを行う。

②募集対象 小学生 一般も参加可 80人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月23日（日） 14:00～15:00	地元吹奏楽団の演奏を聴き、クリスマスのひとときを過ごす	佐倉ウィンド・アンサンブル会員

④講座を終えて 演奏の曲はいずれも小学生にも親しみやすい曲で、クリスマスツリーや雪だるまのコスプレをしたメンバーもあり、アンコールのときにはお菓子のプレゼントもあった。アンケートも全員が「楽しかった」と回答しているように、充実した内容であったので、参加者が昨年と比べて少なかったことは残念であった。

地域の大人の方々も毎年楽しみにしているコンサートである。これまで、青少年教育事業として実施してきたが、来年度からは青少年にこだわらず、一般の方々と広く対象とし、周知する方法も工夫していきたい。

### 佐倉っ子塾 共通講座 「夏休み子ども水辺探検ツアー」

①開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。

②募集対象 小学生22人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月25日（水） 9：00～16：00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ	千葉県環境財団

④講座を終えて 生活環境課との共催事業で、印旛沼やその周辺環境の理解を目的として企画・実施した講座。印旛沼の水質についての講義や紙漉き体験、谷津の生きものの観察等を行い、佐倉市の自然環境の現状と課題を学んだ。

### 佐倉っ子塾 夏休み子ども社会科見学

①開設趣旨 地域の文化などを見学、体験学習をすることで、文化財の大切さなどを学ぶ。

②募集対象 小学生4年～6年 10人（保護者の参加も可）

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月3日（金） 10：00～12：00	縄文時代の丸木舟や古墳時代の遺跡についての学習、拓本等の体験	印旛郡市文化財センター

④講座を終えて 講座の内容は、文化財について、文化財センターの役割、展示の見学とあわせて、湿拓を行った。参加者は真剣に説明に耳を傾け、熱心な様子が見られた。

### 3. 成人教育事業

#### 根郷寿大学

①開設趣旨 高齢化社会の中で、郷土愛を育み、地域の中で連帯を持ちながら健康で充実した生活を過ごせるよう、健康の保持増進、歴史・文化、社会現象などの学習の場を提供するとともに、受講者同士の交流を図る機会を提供する。

②募集対象 60歳以上の市民 130人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月18日（金） 9：20～12：00	開講式 オリエンテーション（運営委員の選出、1年間の予定説明、班の確認等） 自己紹介、グループ討議「今後の班活動について」	館長 担当
2	6月20日（水） 9：20～12：00	生活習慣病予防講座 （市民公開講座）	みつば脳神経クリニック 理事長 大木 剛
3	7月20日（金） 9：20～12：00	東京マラソンボランティア10周年を振り返って	根郷寿大学 斎藤雄
4	8月17日（金） 9：20～12：00	映像から見る佐倉の歴史	市史編さん委員会委員 内田儀久
5	9月21日（金） 9：20～12：00	暮らしやすい地域のために	根郷寿大学 竹内修一
6	10月17日（水） 8：30～17：00	社会見学 勝浦 大多喜城	担当
7	11月16日（金） 9：20～12：00	日常生活の中でできる運動について	AFAA認定 インストラクター 森たか子
8	12月21日（金） 9：20～12：00	揚琴演奏の鑑賞	揚琴奏者 青野淳子
9	1月18日（金） 9：20～12：00	高齢者の栄養について （市民公開講座）	高齢者福祉課
10	2月15日（金） 9：20～12：00	検察庁、裁判員制度について	千葉地方検察庁
11	3月15日（金） 9：20～12：00	グループ発表 閉講式	館長 担当

④講座を終えて 根郷寿大学は昭和45年に開設以来今日まで継続されている佐倉市立公民館の事業としては最も古いもの。当初は根郷地区の住民だけを対象としていたが、現在では市内全域にその対象を広げている。本年も60歳以上127人（62歳～89歳／平均年齢75.2歳）が受講した。受講生が講師となる講座を設けるなど、学び交流の場となっている。



### (市民公開講座)生活習慣病予防講座

- ①開設趣旨 飽食の時代に、誰でも陥りやすい生活習慣病について要因と予防法を理解する
- ②募集対象 成人 20人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月20日(水) 10:10~12:00	クイズや質問コーナーを織り交ぜながら生活習慣病について理解を深める	みつば脳神経クリニック 理事長 大木剛

- ④講座を終えて 動脈硬化や肺炎・認知症などのメカニズムとその予防法についてわかりやすく解説していただいた。今後も学習を継続し、住民の健康維持に役立てていきたい。

### (市民公開講座)高齢者の栄養について

- ①開設趣旨 身のまわりでおこる様々な犯罪や交通事故の実態やその防止策について学ぶ。
- ②募集対象 成人 20人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	1月18日(金) 10:10~12:00	講義以外にも前日の食事を振り返り、食品群のチェックを交えて高齢者の栄養について学ぶ。	高齢者福祉課

- ④講座を終えて 高齢者福祉課の職員を講師に、寝たきりなどにならず日常生活を自立して元気に過ごせる期間、健康寿命を伸ばすために、食事の大切さについて学んだ。  
健康な体を保つだけでなく、健康な脳や心を保つうえで、食事を楽しむことも日々心がけてもらいたい。

### シニアのためのスマートフォン講座

- ①開設趣旨 パソコンより手軽なスマートフォンを、安心安全に使うにはどのようにしたらよいか。操作方法や便利なアプリの紹介も含め、理解を深める機会とする。
- ②募集対象 60歳以上 20人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月26日(木) 13:30~15:30	基本的な使い方や文字の入力方法、簡単なゲームアプリの使い方を学ぶ。	株式会社 KDDI 社員

- ④講座を終えて 当日は根郷公民館パソコンボランティアのご助力もいただき、滞りなく開催をすることができた。スマートフォン初心者を対象に、基本的な使い方や文字の入力方法、簡単なゲームアプリの使い方、災害情報の活用(伝言板の作成など)その他を学んだ。  
講座終了後に実施したアンケートでは、「理解できた」と回答する方が多く、スマートフォン初心者にも分かりやすい内容であった。  
今はパソコンよりスマートフォンの利便性が高く、参加者から、講座を定期的で開催してほしいとのご要望もあった。

### ハンギングバスケット講座

- ①開設趣旨 花と緑があふれるまちづくりのため、季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。
- ②募集対象 成人 10人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月18日（火） 9：30～12：00	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する	JHBS ハンギングバスケットマスター 遠藤富士子

④講座を終えて 例年ハンギングバスケット講座は、年度に複数回、開催していたが、今年度は講師の都合で、1回の開催となった。より多くの方に受講する機会をもってもらうため、昨年度未受講の方を優先した。電話受付開始後、30分程度で定員はいっぱいとなった。

以前、本講座を受講した受講生が結成したハンギングバスケットのサークル会員がスタッフとして参加し、準備や講師のアシスタント、片付け、清掃など、実に手際よく講座に関わってくれた。講師との息もぴったりで、制作作業はスムーズに進行できた。

アンケートでは、講座に対する満足度が高く、早くも次回講座受講の要望も寄せられた。定員は講座の進行や1名の講師による指導等を考えると、10名が適当と思われる。

次年度以降、複数回の開催を講師に依頼していきたい。

### シニア向け健康づくり講座

①開設趣旨 日常生活の中で簡単にできる有酸素運動を中心に学び、健康の維持・増進を図る。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月10日（水） 10：00～11：30	柔軟・筋トレ・有酸素・バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	AFAA認定 インストラクター 森たか子
2	10月16日（火） 10：00～11：30	柔軟・筋トレ・有酸素・バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	
3	10月24日（水） 10：00～11：30	柔軟・筋トレ・有酸素・バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	
4	10月31日（水） 10：00～11：30	柔軟・筋トレ・有酸素・バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	

④講座を終えて 受講生の健康を希求する姿勢は終始積極的で、健康づくりの熱意には圧倒されるほどであった。健康に関する講義半分、柔軟・筋トレ・有酸素・バランス運動の4つの運動・実技が半分と、受講生を飽きさせないテンポの良さと、アンケートに記載されたように、講師の懇切丁寧な指導で、全4回の講座は進められた。

受講生は後期高齢者と呼ばれる世代の参加が多く、受講生の状況や体力を確認しつつ、安全ファーストで、座位や仰臥位の運動を中心に講座を組み立てていただいた。

リピーターも多く、講座開始前、休憩時、終了後と講師の周りに集まり近況を報告したり、質問をしたりと、非常に和やかな様子であった。

QOL（Quality of Life／生活の質）向上のために、健康の維持・増進を図り、学び・実践する講座は、今後一層求められ、継続していく必要があると強く感じた。

### パソコン広場

①開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

②募集対象 成人 各回10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1 2	毎月1回 （第2日曜日） 10:00～12:00 13:00～15:00	各自で教材を持ち込み、各々で学習し、わからない所をボランティアに質問をする	パソコンボランティア 根郷パソコンクラブ

④講座を終えて 講義形式ではなく、パソコン操作、ワード、エクセル等に関する基本的な疑問にパソコンボランティアが答え、説明する講座である。質問者の都合に合わせた短時間の利用も可能なことから、定期的に参加する方も多くみられる。  
パソコンの機種が多様化や機能の進化に伴い、質問も多種多様になってきている。  
タブレットやスマートフォンについての質問についても寄せられているが、原則パソコンに関した質問を受け付けている。

### 珈琲学入門講座

①開設趣旨 カフェイン（表町）店主を講師に、8月は夏にぴったりなアイスコーヒーについて、12月には産地によるコーヒーの違いなどを紹介。実際に淹れ比べ、飲み比べをしながらコーヒーの知識を深める。

②募集対象 成人 各回10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 5日（日） 9:30～11:30	夏に美味しいアイスコーヒーの淹れ方	珈琲焙煎士 坂井 稔
2	12月 1日（土） 9:30～11:30	産地の淹れ比べ、飲み比べ	

④講座を終えて 珈琲焙煎士を講師に招いて、珈琲の基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技術等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見し、美味しいコーヒーの淹れ方を学んだ。

8月にはアイスコーヒーについて、淹れ方の違いの説明を聞き、味の違いを体験した。また、講師おすすめの淹れ方で参加者自らアイスコーヒーを作った。

12月には産地の違いによる味の違いを体験し、産地の違う3種類（ブラジル、モカ、マンデリン）のコーヒーを作った。日ごろコーヒーを愛飲している参加者は、講座に集中し、講師への質問も活発であった。

### 終活講座

①開設趣旨 高齢者が生活するなかで直面する可能性のある住まい、介護、相続、後見制度などの様々なテーマを整理するために、エンディングノートの書き方や解決に向けた考え方を、実践的に学ぶ機会を提供する。

②募集対象 成人（原則55歳以上） 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月 9日（土） 10:00～11:30	-人生100年 自分らしく生きる- 高齢者が生活するなかで直面する可能性のあるリスク（経済損失、認知症等健康、詐欺被害等のリスク）の事例とその対策・老後生活の拠点としての住まいを守る方法	ライフスタイル研究家 三石康雄

2	3月16日(土) 10:00~11:30	佐倉市エンディングノート「わたしらしく生きるを支える手帳」(非財産部分)と終活人エンディングノート(財産部分)の書き方・個人情報を守るための対策	
3	3月23日(土) 10:00~11:30	介護保険の手続きの仕方・相続と相続放棄の仕方	

④講座を終えて 一般的に終活(しゅうかつ)とは「人生の終わりに向けた活動」の略で、人生の最期を迎えるための様々な準備や、人生の総括を意味すると言われている。

今回の講座では、人生の終焉に向けての心づもりや準備にとどめるのではなく、今までの自分の生き方を振り返り、人生100年時代をより自分らしく生きるためのきっかけとし、今後の暮らしに役立つ内容を取り入れた。

講師はライフスタイル研究家で、上級終活カウンセラーのほか、家族信託コーディネーター、ファイナンシャル・プランナー、リスクマネージャー、認知症ケア指導管理士などの資格を有し、幅広い見識から講義を進めた。受講者から、最新の話題とわかりやすい説明との感想が多く見られた。

### 御朱印帳作り講座

①開設趣旨 近年、各地の神社や寺院に参拝して御朱印を集める方が増えている中、お気に入りの布で自分だけの御朱印帳を作成することで、ものづくりの楽しさを再認識し、併せて参加者同士の交流を図る。

②募集対象 成人12人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月15日(土) 9:30~12:30	お気に入りの布で作る ふんわり仕立ての御朱印帳	松戸六実高校 教諭 岩宮しげみ

④講座を終えて 御朱印帳の作成は、初めに和紙を折り、糊付けをする作業を行う。この時点で、間違った作業をした受講生が続出し、修正ややり直しに追われることになった。

今回、助手として2名の方がスタッフとして講座に携わってくれたが、スタート時点の大きな失敗に対応するために、スタッフだけでなく講師もその作業を担わざるを得ない状況となった。その結果、指示に従って正確に作業を進めた参加者は、次の作業を待つことになってしまった。

公民館事業としては、参加者の達成感や受講した満足感も大切である。来年度からは、定員数を見直し、会場の座席も、作ったことのある者と初心者と同じテーブルにするなどの配慮が必要と感じた。最終的には、全員が思い思いの布を使った御朱印帳を完成することができ、講座の内容に満足した様子であった。

### 園芸講座

#### 春のハーブ園散策(寄せ植え)

①開設趣旨 根郷地区にある佐倉ハーブ園と連携し、ハーブ園散策と寄せ植え体験を行う。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月31日(木) 10:00~12:00	ハーブ園散策と寄せ植え体験 春のハーブの魅力を見つけよう	佐倉ハーブ園園長 柴田忠裕

- ④講座を終えて 最初に、佐倉ハーブ園で採れた葉で作ったハーブティーが受講生にふるまわれ、そのフレッシュな味わいを楽しみながら、ハーブティーに使ったハーブの種類や寄せ植えのポイント等について、講義が進められた。寄せ植えの体験では、寄せ植えに適した「土を作る」ことから始まり、その土をもとに、寄せ植えの体験を楽しんでいた。園長の案内による春のハーブ園散策もあり、春のハーブの魅力を受講生は堪能していた。

### 夏のハーブ園散策（ブルーベリー摘み）

- ①開設趣旨 根郷地区にある佐倉ハーブ園と連携し、ブルーベリーの育て方やハーブ等について学ぶ。ハーブ園散策後、ブルーベリー摘みを楽しむ。

- ②募集対象 成人 各10人

- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月20日（金） 10:00～11:30	ハーブ園散策 ブルーベリー摘み	佐倉ハーブ園園長 柴田忠裕 (株)常磐植物化学研究所 増尾栄一

同プログラムを7月21日（土）にも実施

- ④講座を終えて 最初に、佐倉ハーブ園で採れた数種類の葉で作った冷製ハーブティーが受講生にふるまわれ、そのフレッシュな味わいを楽しみながら、ハーブティーに使ったハーブの種類について説明があり、ブルーベリーの品種や育て方等について、講義が進められた。

猛暑の時期であったが、受講生は冷えたハーブティーを賞味し、帽子や保冷剤入りのタオル等で自衛策を講じ、中には緑陰に直射日光をしのいで、思い思いに園内散策と旬のブルーベリー摘みを楽しんでいた。

### コニファーで作る素敵なクリスマスツリー

- ①開設趣旨 根郷地区にある佐倉ハーブ園と連携し、コニファー等を使ってクリスマスツリーを作る。

- ②募集対象 成人 各10人

- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月16日（金） 10:00～11:30	コニファー等を使ったクリスマスツリーの制作	佐倉ハーブ園園長 柴田忠裕 (株)常磐植物化学研究所 増尾栄一

同プログラムを11月17日（土）にも実施

- ④講座を終えて 両日ともに天気に恵まれ、コニファー（針葉樹）に関する講話の後、クリスマスツリーの作成に移った。

クリスマスツリーの大きさは、30cm～40cmくらい、鉢は3.5号～4号鉢（直径10.5cm～12cm）受講生は、世界に一つだけのオリジナルのクリスマスツリーの作成を楽しんだ。アンケートから、内容は好評で満足度も高かったが、1時間30分の講座の中で、講話に50分が費やされ、クリスマスツリーの作成時間が短くなってしまった。

講座も終了時間が長引いてしまい、最初から1時間半でなく2時間～2時間半と設定しておくなど、時間配分を見直す必要を感じた。

### お正月のミニ門松を作ろう！

①開設趣旨 根郷地区にある佐倉ハーブ園と連携し、お正月用のミニ門松を作る。

②募集対象 成人 各15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月21日（金） 10:00～12:00	ミニ門松作りと門松についてのお話	佐倉ハーブ園園長 柴田忠裕 佐倉ハーブ園 須藤幸夫

同プログラムを12月22日（土）にも実施

④講座を終えて 門松の形や由来などの講義の後、門松作りにとりかかった。受講生5人をハーブ園側の職員1名が指導する形となったが、21日（金）の終了時間が当初予定していたより、大幅に上回ってしまった。

門松作りは佐倉ハーブ園としても初の事業であったこと、主軸となる竹を切る作業に不慣れた受講生が多く時間がかかったこともその理由に挙げられる。

そのため、22日（土）はあらかじめ主軸の竹を切断する作業を事前にハーブ園側で済ませておくことで、予定通り終わらせることができた。祖父母と孫・夫婦・親子での参加もあり、共同作業を楽しむ様子が見られた。

### 初夏まで楽しめる寄せ植えの体験

①開設趣旨 根郷地区にある佐倉ハーブ園と連携し、季節に合わせて自分スタイルの寄せ植えを楽しむ。

②募集対象 成人 各20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月21日（木・祝） 10:00～12:00	様々な植物の寄せ植え体験	佐倉ハーブ園園長 柴田忠裕

同プログラムを3月22日（金）にも実施

④講座を終えて 園内にあるビニールハウスを会場に、植物の紹介、寄せ植えの土台となる土を作る工程、寄せ植えの仕方など園長の指導のもと、受講生は寄せ植え体験に入った。

土の配分や寄せ植え先の土に根が入りやすくするために寄せ植え前に植物についていた土の部分を削るなどの作業を行った。

寄せ植え作業自体は比較的短時間で終了したが、園長との会話も交えて、楽しく寄せ植えをしていた。アンケートから、事業は概ね好評で、参加の動機は、お花が好き・寄せ植えに興味があるという回答が大半であった。

### 防災講座

①開設趣旨 地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化するため、避難訓練と防災の大切さについて講義を実施する。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月15日（日） 13:00～ 7月16日（祝・月） ～12:00	非常時の食事や段ボールを使った 寝床づくり、宿泊、起震車体験 防災講話	ボーイスカウト佐倉第3団 太田大州 危機管理室

④講座を終えて 根郷地区青少年育成住民会議が中心となって、7月15(日)から16日(祝・月)、1泊2日の防災キャンプを行った。

防災キャンプ協力者である地域住民の体験も併せて実施した。各地で局地的豪雨等により、土砂災害や河川の氾濫などの大きな被害が多発している。また、今後30年間で、首都圏でM7以上の地震が起こる可能性は70%以上とも言われており、地域の防災意識を高め、実践力を身に付け、地域のネットワークを深める必要がある。

「災害時に協力することの大切さ」や「日ごろから災害に備えておく心がまえ」を学んだ。

## 佐倉学入門講座

### 郷土の刀と鐔(つば)

①開設趣旨 佐倉藩には、優れた技術を有した刀工(刀鍛冶)が藩侯に仕えており、刀剣類は無論、金工が製作した鐔などは、文化財的価値や美術工芸品としても現代において高い評価を受けている。武士の美と技を学ぶ「賞でる・郷土の刀と鐔」をテーマに、武士の美意識を追求した佐倉藩の刀工や金工たちの遺作を鑑賞すると共に、時代の流れを学ぶ機会を提供する。

②募集対象 成人 各10人

③プログラム

(前期)

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月8日（火） 9:30～11:30	刀とはどういうものか？ (ビデオ鑑賞)	郷土刀研究家 井原重之
2	5月15日（火） 9:00～12:00	塚本美術館、大聖院、海隣寺、鍛冶作、最上町等見学	
3	5月22日（火） 9:30～11:30	郷土刀を学ぶⅠ（佐倉で作刀）	
4	5月29日（火） 9:30～11:30	郷土刀を学ぶⅡ (佐倉ゆかりの刀工)	
5	6月5日（火） 9:30～11:30	郷土刀を学ぶⅢ	
6	6月12日（火） 9:30～11:30	郷土で作られた鐔を学ぶ、まとめ	

(後期)

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月29日（火） 9:30～11:30	刀とはどういうものか？ (ビデオ鑑賞)	郷土刀研究家 井原重之
2	2月5日（火） 9:00～12:00	塚本美術館、大聖院、海隣寺、鍛冶作、最上町等見学	
3	2月12日（火） 9:30～11:30	郷土刀を学ぶⅠ（佐倉で作刀）	

4	2月19日(火) 9:30~11:30	郷土刀を学ぶⅡ (佐倉ゆかりの刀工)	
5	2月26日(火) 9:30~11:30	郷土刀を学ぶⅢ	
6	3月5日(火) 9:30~11:30	郷土で作られた鐔を学ぶ、まとめ	

④講座を終えて 昨年度に引き続き、前期・後期と2回講座を開催し、受講を希望する受講生が学習できるように学習機会を設けた。

平成29年度から開催し、すでに興味を持つ人は大方受講したのか、後期開催した講座では、受講生は5名にとどまった。しかし参加人数に関わらず、講師は刀工の業績や作品の鑑賞の仕方などを詳細に紹介し、参加者も積極的に質問するなど、刀剣の持つ魅力の奥深さを感じいていた。

### 講演会「大名行列にみる佐倉藩堀田家」

①開設趣旨 江戸時代に大名が編成していた行列の実態について、主に佐倉藩を中心に学ぶ。

郷土の歴史について理解を深め、地域を見直す機会を提供する。

②募集対象 成人 50人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月30日(木) 10:00~12:00	江戸時代に、大名が編成していた行列の実態について、主に佐倉藩を中心に学ぶ。	千葉県文書館

④講座を終えて 今回は、千葉県文書館の出前講座を活用し、講師の派遣を依頼した。江戸時代の佐倉に関しては市民の関心が高く、募集から2日ほどで定員となり、キャンセル待ちでも構わない、という希望者を11名受けつけた。

佐倉藩堀田家における大名行列の実態を、武具や道具といった格式(行装格式)から見ていくというもので、当時の大名行列の実情や、そこからわかる幕府の内情などを、資料を多用し、わかりやすい説明の講義が進められた。

予定していた時間を過ぎても、熱心な受講生から質問も多く寄せられた。

受講生は、内容・講師の話し方・時間等について、満足したという感想が多かった。佐倉藩や佐倉に暮らす市井の人々のことなど、郷土の歴史についての関心は高く、郷土佐倉を知る講座を継続して開催していきたい。

### 明治150年記念事業

①開設趣旨 明治改元年から150年という節目の年に、明治時代の佐倉の歴史について学ぶ講座を6回にわたり開催する。

②募集対象 成人 各50人 バス見学会 30人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月19日(金) 10:00~12:00	千葉県の近代 ～根郷村という地域から考える～	四街道市市史編さん室 主任 中村政弘
2	11月30日(金) 10:00~12:00	堀田伯爵家と明治の佐倉	中央大学文学部 准教授 宮間純一
3	12月7日(金) 10:00~12:00	幕末明治に生きた佐倉人の逸話	市史編さん委員会委員 内田儀久



4	1月23日(水) 10:00~12:00	佐倉最初の電車計画 宗吾電気 鉄道と佐倉駅初代駅舎	鉄道史研究家 白土貞夫
5	2月13日(水) 13:30~15:30	佐倉南図書館教養講座 共催 日露戦争と佐倉連隊 ー明治・大 正の文学に描かれた戦いー	市史編さん委員会委員 内田儀久
6	2月19日(火) 8:30~16:30	バス見学会 明治の鉄道と文学を学ぶ	鉄道史研究家 白土 貞夫 市史編さん委員会委員 内田儀久 鉄道研究家 仁田光男

④講座を終えて 平成30年は、政権が江戸(徳川家)から天皇を奉じた薩長政府に移行し、政治のシステム等が一新する「明治維新」が起こった節目の年に当たる。

これを記念し、講義形式による5回の講座(そのうち1回は佐倉南図書館と共催で、佐倉南図書館を会場に開催)とバス見学会を実施した。

維新後の廃藩置県等による千葉県域の行政区の変遷、根郷地区の明治期から昭和戦前までの行政面から見た様相、明治期の堀田伯爵家(当時の当主:堀田正倫)の活動を中心に、同家と佐倉地域との関わり、幕末~近代の佐倉地域の政治や領地等の変遷、当時の佐倉ゆかりの人物の逸話、総武鉄道開通と同時期に佐倉周辺に計画されていた宗吾電気鉄道、日露戦争下の文学の中の佐倉連隊について、と多彩な講座内容に明治期からの佐倉市域の歴史や鉄道史に関心のある受講生が参加し、充実した内容となった。

5回目の講座は佐倉南図書館の教養講座と共催で開催し、受講生の募集、広報、当日の運営などを協力して実施したことで、事務の軽減が図れた、とともに参加する層の幅も広がった。

またバス見学会は、講座との二部構成で行うことで、より学ぶ効果が上がった、と感じた。参加人数やアンケートの内容から、受講生には概ね受け入れてもらえたと思われる。

## 根郷ふるさと探訪

①開設趣旨 郷土の歴史・文化・民俗・自然をテーマに学び、散策を交えて、郷土愛を促す。

②募集対象 成人 各回 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	4月14日(土) 9:30~12:30	春の野草観察会 鹿島川の堤を歩く 高崎川を下り鹿島川の堤を散策しながら、春の野草や古木を観察し、郷土の自然への関心を高める	佐倉野草会 近藤維久子
2	10月13日(土) 9:30~12:00	秋の野草観察会 小篠塚地区を散策しながら秋の野草や古木を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤維久子
3	11月 8日(水) 9:30~16:30	寺崎地区史跡めぐりと密蔵院薬師大祭に行こう! 午前中に寺崎地区の史跡めぐりを行い、午後に寺崎密蔵院の大祭を見学する。	菊地昭夫 井原重之

④講座を終えて この一連の講座は、根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、郷土に興味を持ってもらうよう実施している。

春と秋の野草観察会は、平成21年から続く講座で、毎回楽しみにしている受講生の多い人気講座である。寺崎地区の史跡めぐりと寺崎薬師大祭の見学は、地元から講師を依頼し、寺社や史跡などを巡った。護摩焚きや本尊の御開帳など、寺崎薬師大祭当日しか見学できない内容に、受講

生は感銘を受けていた。受講生は、いずれの場所でも熱心に話を聞き、事業の関心の高さを示していた。寺崎地区の魅力を伝えるには今後も幅広く広報し、市内全域から参加してもらうことも課題の一つと考える。

### 佐倉学体験講座

#### 糰屋さんから学ぶ発酵の秘密

①開設趣旨 味噌や醤油などの発酵食品を作るために、必要な麹菌の働きや身体に及ぼす有益な作用を学ぶことにより、伝統的な食生活文化を見直す機会とする。  
 なお、講師には、江戸時代からの昔ながらの製法を守る糰屋を祖母から継いだ、佐倉市出身の若手醸造家を起用した。

②募集対象 成人 16人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月28日（金） 10:00～12:00	自家製塩麹作りと甘酒体験 麹菌が作用してできる発酵の基礎についての講義の後、参加者は持参した塩を使い、塩麹を製作する。また、講師が持参した甘酒を試飲して、本来の甘酒の味を学習する。	芝山糰店 及川涼介

④講座を終えて 発酵の秘密について、プロジェクターを用いて資料を提示し、平易な言葉の説明で大変わかりやすい講義であった。

受講生の中には、昨年受講できなかったという人もおり、熱心にメモを取ったり、講義に耳を傾けたり、全体的に学ぶ姿勢が強く感じられた。講義を終えての実習では、和気あいあいと声を掛けあうなど、楽しんでいる様子も窺え、あっという間の2時間であった。

アンケート結果では、講座に対する満足度は非常に高く、有意義な講座であった。

#### 伝統の根郷産こんにゃく作り体験

①開設趣旨 江戸時代には、将軍家への献上品として有名だった佐倉特産のこんにゃく。

地元根郷地区で栽培されたこんにゃく芋から、こんにゃくを手作りして調理し、参加者同士の交流を図る。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月20日（火） 9:30～14:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する	根郷小学校ふれあいボランティア 代表 牛玖 昌弘

④講座を終えて 根郷産こんにゃく芋を使用したこんにゃくが江戸幕府への献上品であった。本来であれば、地元根郷地区で栽培されたこんにゃく芋を使用しての調理となるが、今夏の酷暑によるものか、病気により収穫に至らなかった、とのことをまず講師から講座の最初に触れてもらった。講座では県内産の3年物のこんにゃく芋を用意した。

講師以外に、根郷小学校ふれあいボランティアから3名の応援があり、受講生の中に入って質問に答えたり、調理補助をしたりする他に、当日の賄用の昼食づくり(落花生のお赤飯・具だくさんお味噌汁・自家製漬物3種)も同時進行で進めるなど、様々な点でご協力をいただいた。受講生は、講師の心づくしの昼食に、舌鼓を打ち、実習の間にも声を掛け合うなど、初めての人達同士でも打ち解けた様子で、終始和やかな雰囲気であった。

講座に対する満足度が高く、学習意欲も高まる有意義な講座であるという結果が得られた。

## 4. 団体育成事業

---

### 根郷地区社会教育関係団体への支援

#### 根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

#### 南部地区子ども会育成会連絡協議会

子ども会は、地域の中で異年齢の子どもたちがさまざまな活動を通じて行動することにより、子どもの社会的成長の糧となる活動である。例えば、子ども会での異年齢での活動は、協調性やリーダーシップを、地域活動では郷土愛が、奉仕活動により公共性が、また、創作活動により創造性が育まれるなど、さまざまな活動による効果が期待されている。

根郷公民館を活動拠点とした南部地区子ども会育成会連絡協議会（南子連）は、南部地区内の子ども会、及び子ども会を取り巻く関係諸機関、団体等との連絡調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的に活動を進めている。

主な活動としては、子ども会活動に役立つゲーム講習会、交流会や研修などの事業の実施、広報紙「あくていぶ」の発行、子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っている。

#### 定期利用者懇談会

- ①開設趣旨 公民館を定期的に利用している定期利用団体に対し、公民館利用方法を周知し、公民館活動についての理解を深める機会の提供。利用者からの意見や要望も伺い、館の運営に反映する。
- ②対象 利用団体代表者 55人
- ③開催 4月3日（火） 午前10時30分（抽選会終了後）～12時

#### 調理室利用者懇談会

- ①開設趣旨 公民館調理室を定期的に利用している定期利用団体に対し、調理室の利用方法を周知し、公民館活動についての理解を深める機会の提供。調理室美化を保つため、整理整頓作業も実施。利用者からの意見や要望も伺い、館の運営に反映する。
- ②対象 利用団体代表者 21人
- ③開催 2月8日（金）午前9時～11時

## 5. 広報事業

---

---

### 根郷公民館だより

- ねらい・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行する。
- 発行回数・・・年2回（4月15日、9月15日）
- 発行部数・・・4月15日号 9,300部 9月15日号 9,300部
- 配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

## 6. 図書事業

---

---

### 図書の貸出・返却

○趣旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 約3千冊

○月別貸出冊数・返却冊数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	70	130	79	61	87	110	71	81	86	92	51	83	1,001
返却数 (冊)	269	298	284	359	323	331	3,843	296	246	242	265	346	7,102

## 7. その他事業

---

---

### 卓球室開放

○趣旨 毎月第1日曜日の午前9時から正午まで公民館ホールを卓球室として開放。(受付は当日午前9時から。各組1時間まで) 家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供した

### ○月別利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数 (人)	8	8	8	6	11	7	6	11	13	6	6	8	98

志津公民館

# 志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成30年3月末現在では、佐倉市の総人口176,059人に対し志津地区の人口が76,913人となっており、その割合は43.6%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

## 志津地区のデータ

【平成31年3月末現在】

- 志津地区：面積 18.52 km<sup>2</sup> （佐倉市：面積 103.69 km<sup>2</sup>）
- “ ”：住基人口 76,660人 （ “ ”：住基人口 175,476人）
- “ ”：人口密度 4,139人 / km<sup>2</sup> （ “ ”：人口密度 1,692人 / km<sup>2</sup>）





## 2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用件数 (件)	4,785	5,086	7,569	7,273	7,453
利用人数 (人)	58,617	66,148	89,296	91,992	92,177
開館日数 (日)	333	331	333	333	333

平成 30 年度 施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210 会議室	3,600	2,373	65.9%
220 会議室	3,600	2,217	61.6%
201 会議室	3,600	2,123	59.0%
202 会議室	3,600	2,121	58.9%
調理室	3,600	1,519	42.2%
310 会議室	3,600	2,034	56.5%
和室	3,600	1,479	41.1%
401 会議室	3,600	2,126	59.1%
アトリエ	3,600	2,114	58.7%
大会議室A	3,600	2,790	77.5%
大会議室B	3,600	2,709	75.3%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	お母さんと遊ぼう 「ぼっぼちゃんのお家へいこう」	2歳児と母親 20組	5月～11月 10回 5/29 29人 6/ 8 31人 6/22 23人 7/ 6 31人 7/13 23人 9/ 7 23人 9/21 30人 10/ 5 27人 10/26 33人 11/ 2 29人 11/16 33人	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。 5/29:オリエンテーション 6/ 8:開講式 工夫して・あ・そ・ぼ 6/22:おにぎりを持って遠足に行こう 7/ 6:七夕イベント 笹の葉に飾り付けしよう 7/13:新聞紙のプールで泳いじゃおう 9/ 7:手づくりおもちゃで魚釣り 9/21:手提げバックを作ろう 10/ 5:大型バスで遠足に行こう (佐倉草ぶえの丘 おいもほり) 10/26:公園遊び 手づくりロケットを飛ばそう 11/ 2:手でペタペタ絵の具で遊ぼう 11/16:お楽しみ会・閉講式
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者	7月～3月 2回 7/22 32人 3/ 9 19人	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。 7/22:紙粘土で作ろうアイデア貯金箱
青少年教育	子どもクッキング教室	小学生	6月～12月 4回 6/15 19人 7/ 1 19人 8/19 19人 12/16 20人	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。 6/15:給食で人気のクリームシュー&カレー 7/ 1:うどんをこねて作りたてを食べよう 8/19:元気翼翼、夏休みの思い出に楽しんで手づくりパンを作ろう!
	子ども手作り工房	小学生	5月～12月 4回 5/19 12人 6/15 13人 7/28 11人 12/ 8 14人	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 5/19:ツバメ飛行機を作って飛ばそう 6/15:割りばし飛行機を作って飛ばそう 7/28:オリジナルエコバック作り
	子ども自然教室	小学生	6月～12月 6回 6/16 17人 7/21 28人 8/ 4 22人 10/27 13人 12/ 1 18人 12/ 8 22人	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。※弥富公民館の星空観察会と合同で4回実施予定。 6/16:発見!種の不思議 7/21:夏の夜空を学ぼう 8/ 4:星空観察会 10/27:発見!種の不思議 12/ 1:冬の夜空を学ぼう 12/ 8:星空観察会
	サイエンスラボ	小学生	6月～12月 5回 6/16 17人 6/30 19人 11/ 4 19人 11/11 21人 12/ 2 17人	理科実験等、体験学習を通して子どもの好奇心や想像力を育む。 6/16:科学実験バイキング 酸とアルカリ・ガラスは曲がる? 光の世界・ナイショの実験 6/30:科学の力でアイスクリームを作ろう
	志津公民館 通学合宿	志津地区の 小学校 4年生～6年生 21人	6月 [3泊4日] 6/17～20 17人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで自主性・協調性などを高め、生きる力を育む。
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年 71人	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	しづ学入門	成人 44人	5月～2月 19回 土曜日 開講式・記念講演 5/26 学習発表・閉講式 2/23 講座 6/2～2/2	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。 平均年齢:73.3 修了42人 平均出席率88%
	地域健康学	成人 40人	5月～2月 20回 火曜日 開講式・記念講演 5/26 学習発表・閉講式 2/23 講座6/5～2/5	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、自らの生活を見直し、健康について学ぶことを通じて、地域の中で連帯を図る。 平均年齢:70.6 修了37人 平均出席率88%
	くらしの情報学	成人 45人	5月～2月 19回 木曜日 開講式・記念講演 5/26 学習発表・閉講式 2/23 講座 6/7～2/7	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学び、共に学んだ仲間たちと活用することにより、安全で快適なくらしを送れる地域づくりを図る。 平均年齢:73.2 修了44人 平均出席率99%
	おやじの食事学	成人男性 25人	5月～2月 19回 土曜日 開講式・記念講演 5/26 学習発表・閉講式 2/23 講座 6/9～2/2	食生活の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりと地域で活躍するきっかけをつくる。 平均年齢:69.7 修了24人 平均出席率88%
	特別講座 (公開講演会)	成人 30人	8月～12月 5回 8/25 133人 11/17 10人 12/4 12人 12/11 6人 12/20 2人	しづ市民大学の講座や合同講演会を市民にも公開し、だれもが参加できる講座を開催する。 8/25:成徳書院について 11/17:印旛沼周辺の鳥 鳥の知恵 12/ 4:タオル健康体操 12/11:かかりつけ薬局とポリファーマシー 12/20:安全運転と防犯
成人教育	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 30人	11月～12月 4回 11/28 24人 12/5 23人 12/12 11人 12/19 22人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
	佐倉学入門講座 「佐倉道を学ぶ」	成人 20人	12月～2月 5回 12/12 22人 12/19 21人 1/16 19人 1/30 21人 2/13 19人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」について、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。 12/12 佐倉道を学ぶ(座学) 12/19 小岩から西船橋 1/16 西船橋から習志野 1/30 習志野から志津 2/13 志津から佐倉城大手門跡
	楽しみながら学ぶバランスコーディネーション体操	成人 20人	12月～2月 5回 1/15 9人 1/22 9人 1/29 9人 2/ 5 8人 2/12 8人	なかなか体を動かす機会のない年齢層への健康増進と運動にかかわる機会を提供し、市民の健康への関心を高め、日常生活の中で簡単にできる運動を学ぶ。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
コミュニティ事業	さくら学び塾 知って得する相続と民事信託（家族信託）入門	成人 25人	11月 3回 11/ 9 28人 11/16 27人 11/23 22人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。相続と民事信託（家族信託）について学ぶ。
団体育成	第45回志津公民館祭	公民館利用サークル 約120団体	10/19～21 5658人	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。
	サークル運営研修会	公民館利用サークル の代表者	4月 1回 4/18 171団体	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め地域活動につなげる。
	調理室利用サークル 懇談会	調理室利用サークル	6/25 16団体 (23人) 11/26 10団体 (16人)	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
団体育成	志津ジュニア・ リーダーズ・クラブ (志津JLC) 支援	1団体	通年 共催事業	「志津JLC」が行う各種事業への援助を通じて、JLの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLが活動する場とする。
	志津地区社会教育関係 団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボラン ティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区新聞折り 込み 市内主要施設配布	4/15 : 23,000部 10/ 1 : 25,000部 発行	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

# 1. 家庭教育事業

## お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へいこう」

①開設趣旨 子どもの成長を見守り、子と親が共に成長を体験する母親のための講座であるとともに、親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流をはかり、地域の中での子育てを目指す。

②募集対象 2歳児と母親20組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月8日(金)	開講式・工夫して・あ・そ・ぼ	開講式・ゲーム遊び	廣田 和子 (楽母楽子)
2	6月22日(金)	おにぎり持って遠足行こう	モノレールのコアラ号に乗って、出発!!元気にお散歩しましょう。	廣田 和子 (楽母楽子)
3	7月6日(金)	七夕飾りを作ろう	笹の葉に飾り付け	廣田 和子 (楽母楽子)
4	7月13日(金)	新聞紙遊び	新聞紙をちぎってプールを作る	廣田 和子 (楽母楽子)
5	9月7日(金)	手作りおもちゃで魚釣り	手作りの魚釣りのおもちゃをつくろう	廣田 和子 (楽母楽子)
6	9月21日(金)	手提げバッグを作ろう	バス遠足で使うバッグを作ろう	廣田 和子 (楽母楽子)
7	10月5日(金)	バス遠足 大型バスで佐倉草ぶえの丘に行こう	草ぶえの丘でさつまいもほり	廣田 和子 (楽母楽子)
8	10月26日(金)	野外でロケットを飛ばそう	上座公園で遊ぼうね	廣田 和子 (楽母楽子)
9	11月2日(金)	絵の具で遊ぼう	手でぺたぺた絵具であそぼう	廣田 和子 (楽母楽子)
10	11月16日(金)	お楽しみ会・閉講式	お楽しみ会・閉講式	廣田 和子 (楽母楽子)

④講座を終えて 家庭教育事業として、2歳児とその母親を対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、母親同士の情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指し、本講座を実施した。講座の募集では、市の関係機関に託児協力を依頼し、幅広い層の受講生を募った。実際の講座においては、毎回音楽に合わせて体を動かし全員が輪になって行う体操を実施し、親子のふれあいと母親同士の仲間づくりを推進した。

講座終了後のアンケートでは、講座を受講しての満足度、目的の達成度等は概ね好評であった。講座の感想では「親子共々たのしかった」「毎回楽しみに参加していた」「良い講座なのにあまり知られていない」などの感想が寄せられた。しかしながら、保護者同士の交流が深まったかについては「深めるには時間が足りなかった」「保護者の交流の時間があるとうれしい」等課題も残されるものとなった。

## 笑顔で子育て応援講座

(1)「ねん土で作ろう！アイデアちょ金箱」

(2)「皮から餃子を作ってみよう おいしいデザート付き」

①開設趣旨 親子を対象に、子どもが健全に育つための家庭教育講座。日本文化の伝承や地域料理を体験することにより、親子のふれあいを図る。

②募集対象 (1) 子どもとその保護者 各15組 (2) 小学生とその保護者 各12組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	8月22日(日)	ねん土で作ろう！ アイデアちょ金 ばこ	芯材に紙粘土をつけて。	多胡 純子
2	3月9日(土)	皮から餃子を作 ってみよう おいし いデザート付き	調理実習として、餃子を作皮から作る。 (デザートは講師作成、トッピングのみ)	餐究会(定期利 用サークル)

④講座を終えて

(1)ねん土で作ろう！アイデアちょ金ばこ…こうほう佐倉及び各小学校へのチラシにて募集をかけたところ、募集開始から間もなく定員15組に達した。参加者の中には未就学児のつきそいもあり、小学生の児童を置いて、同施設内にある児童センターに行ってしまうことがあった。夏休みに保護者と子どもと一緒に何かを制作するという講座の趣旨を考えると、今後は保護者1人につき小学生2人までという形で募集をしていきたい。講座では粘土に色絵具を塗り込み、色粘土を作ってから形を作る工程が参加者を驚かせていた。すべての受講者が同じものを作る講座ではないため、それぞれが思い描く貯金箱を粘土から作るには講師の個別の指導が必要となった。アンケート結果では、色粘土を作る工程や、先生のアドバイスに対して好評であった。講師との講座終了後の反省会では、個別によく見られなかった受講生がいたため、次年度からは受講生を減らし、個別に細やかなアドバイスができるようにしていきたい。

(2)皮から餃子を作ってみよう…昨年好評だった餃子作りを今年度も実施することとした。募集の方法を志津地区の施設にポスターとチラシを置く方法に変更した。募集の12組を下回っていたが、子どもが複数いる応募が多かったことから、サークルと相談し、8組(当日1組キャンセル)で実施することとした。子どもの平均年齢が低めだったことから、作業に手間取ることや、飽きてきて遊び始めてしまうようになり、担当もいろいろと目を配らせながらの進行となった。餃子を焼く作業は講師陣と親で行ったが、少し火を入れる時間が長かったのか、少し固くなってしまったが、自分たちで作った餃子は格別だったようである。アンケートの結果も上々であり、この講座の目的はほぼ達成したものである。

今後も、親子で協力し、それを地域の方や志津公民館利用サークルのメンバーでフォローし、何かを達成するという講座は続けることが大事であり、参加者たちにとって、その時感じたことが、その人の人生の一助となっていたら幸いである。

## 2. 青少年教育事業

### 佐倉っ子塾 「子どもクッキング教室」

①開設趣旨 地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。

②募集対象 小学生 各20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月15日 (金・県民の日)	給食で大人気のクリームシチュー&カレーを作ろう	一緒の材料で2つの料理を作り、それぞれを作り、食べることを楽しむ。	楽習会(定期利用サークル)
2	7月1日(日)	うどんをこねて作りたてを食べよう	うどんを小麦粉から作ることで、手作りの喜びを味わう。	おやじの食事学同好会(定期利用サークル)
3	8月19日(日)	元気モリモリ!! 夏休みの思い出に楽ちんパンを作ろう	発酵不要のパンを作り、楽しく料理をしながら作り立てを味わう。	長いすの会(定期利用サークル)
4	12月16日(日)	チョコレート・くるみ・アーモンドで作る、3種のクッキーでクリスマスをお祝いしよう!クリスマスBoxも作ろう!	それぞれ味や作り方の違うクッキーを作り、それを入れる箱も手作りし、クリスマスへ向けてクッキングを楽しむ。	食生活改善推進員志津B支部

④講座を終えて 子どもたちが楽しく調理をすることを、地域の人々が見守り、手伝うことで、作る楽しみ、できる喜び、地域の方との世代間交流を図ることを目的として実施している。

今年度は、子どもたちのリクエストの多いパン作りやクッキー作り、これまでも人気の高いうどん、サークルと相談し、子どもたちの給食で人気のシチューとカレーという、家でも作ることができそうなレシピを対象とした。合わせて、クッキー作りの時には、講師との打ち合わせで、焼いている空き時間を利用したクッキーを入れる箱を作る時間も設定し、クリスマス気分を大いに味わってもらった。

今回も定員いっぱいとなり、人気の高い講座である。今後も継続していきたいと考える。ただし、クッキングという、それだけで魅力ある講座ではあるが、作ってみたいと思わせ、家で再度作れるレシピの工夫も、講師とともに頭をひねりながら考えていく必要があるといえる。

### 佐倉っ子塾 「子ども手づくり工房」

①開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

②募集対象 小学生各20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月19日(土)	ツバメ飛行機を作って飛ばそう	ツバメ飛行機を作る	大山 登美枝
2	6月15日(金)	割り箸飛行機を作って飛ばそう	割り箸飛行機を作る	佐倉っ子工芸クラブ
3	7月28日(土)	オリジナルエコバック作り	オリジナルエコバックを作る	岩宮 しげみ
4	12月8日(土)	親子で辻切り作りに挑戦	親子で辻切りを作る	志津郷土歴史同好会



④講座を終えて 子どもたちに身近な地域の人たちとのふれあいを通して、手工芸に触れ、手づくりの良さを知り、作る楽しさを体験してもらうため、地域の人から学ぶ体験学習講座として、志津公民館等で活動している、佐倉っ子工芸クラブをはじめとする講師を迎え、4講座を実施した。ツバメ飛行機と割り箸飛行機については、講座の終了前に、実際に飛ばしてもらった、飛ばしている子ども達がとても喜んでいて、講師たちも、また次回も喜んでもらおうという気持ちが膨らんだようであった。低学年が悪戦苦闘していたものを、高学年の児童が熱心にフォローしている姿が印象的であった。

昨年まで成人教育事業として実施していた辻切り作りは、井野の伝統的な行事だが、公民館として繋げていかなければならないと考え、今年は、親子で実施することとした。親子で同じものを作ることで、親子のコミュニケーションも増したように感じた。

出来上がった作品はどれも自分たちの別品として、心に残っていて欲しいものである。来年度以降も作る楽しさ、わかる喜び、できる自信を踏まえた講座の企画を講師陣と共に心がけていきたい。

### 佐倉っ子塾 「子ども自然教室」

①開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。

②募集対象 小学生各20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月16日(土)	発見!種の不思議	身近な自然から種について学ぶ	元教諭
2	7月21日(土)	夏の夜空を学ぼう	夏の星座について学ぶ	染井野星の会
3	8月4日(土)	星空観察会	実際に夏の星座を観察して学ぶ	染井野星の会
4	10月27日(土)	発見!種の不思議	身近な自然から種について学ぶ	元教諭
5	12月1日(土)	冬の夜空を学ぼう	冬の星座について学ぶ	染井野星の会
6	12月8日(土)	星空観察会	実際に冬の星座を観察して学ぶ	染井野星の会

④講座を終えて 自然教室は、里山や林の中等の屋外に教材が多くあることを教える良い機会となっているが、今年度については「星空関係」以外は天気に恵まれなかったため、フィールドでの学習はできず、室内において座学となってしまった。受付開始前に、講師と実施前の最終的な流れ等の確認・打合せを行う。受付を開始後、参加者には事業の流れ、注意点を説明した。7月の座学では急遽「植物を使った化学実験」と即興しながらにテーマを変え、身近な植物を使い染料について学んだ。10月の座学では、身近に生息する変わった名前の植物を紹介・使い、植物の一生を「生き残るための作戦」とテーマを変え児童の観察意欲を掻き立てた。今回も座学になってしまったため、講師が観察場所に生息する植物の写真等をパワーポイントで写し解説を行ったが、雨天を残念がる児童が目立った。写真を見た後は、身近にある植物や食べ物のデンプンについても調べた。市販されているうがい薬を使って調べデンプンにより色が変わることを調べると子どもたちは夢中でした。参加児童は保護者と一緒だったため1年生でも無理なく参加でき、講座終了後は「楽しかった」「また参加するね」と児童はアンケートとは別に感想を言ってきてくれた。保護者からも、今年度フィールドでの学習ができなかったことから、フィールドでの講座を期待する声が寄せられた。

星空事業では、今年度の「星空」に関しての事業は全4回(2期)に分けて実施した。夏季・冬季にそれぞれ実施することで季節の天体を観察できること、フィールドでの観察をする前に観察対象を座学で学ぶことで学びが深まると考え予定を組み、講師との打ち合わせでも意向を伝えた。

座学では、観察の出来る星座、観察のポイント、星座にまつわる神話の話等に加え、難しい内容ではと思っていたが、親子で座学にも参加できることで共に学ぶことができ、低学年の児童でも理解

できる講座となっていた。昨年度好評だった会の会員の方が自己所有している本物の「隕石」を今回も持ち込んでいただけたりと、隕石を実際に触れさせてくれたりと参加者は貴重な体験が出来ていた。フィールドでの観察は天候により開催が危ぶまれたが、どうしても「彗星」の観察をしたかったため強行したが天候がすぐれなかったため観察するまでには至らず、通常の観察会となってしまった。今年度は観察を弥富地区で行ったが、その理由を理解している参加者が多く、観察時、実際に保護者が子ども達より真剣に観察し、講師に質問している姿があった。自然の中で遊ぶことの少なくなった子どもたちに自然の中で遊ぶことの楽しさ、自然の大切さを伝えていきたい。

### 佐倉っ子塾 「サイエンスラボ」

①開設趣旨 身近な素材を活かし、地域住民の協力を得ながら、子どもたちに「ふしぎな世界」への挑戦と発見を体験する機会を提供し、科学・理科の楽しさを伝え、「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、自主性と健全育成を図る。また、体験学習として参加してもらい、実験作業をとおして子どもたちの想像力や研究心の啓発を図り、併せて新たな交流や友人作りの機会に利用してもらおう。

②募集対象 志津地区在住の小学生各20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月16日(土)	科学実験バイキング 酸とアルカリ・ガラスは曲がる?・光の世界・ナイショの実験	光(屈折・色・エネルギーなど)、身近な物質の酸性やアルカリ性を学び、実験をとおして不思議を体験する。	西澤 保雄
2	6月30日(土)	科学の力でアイスクリームを作ろう	熱が奪われて温度が下がる現象を学び、アイスクリーム作りを体験する。	西志津おやじの会
3	11月4日(日)	電気のでパンをつくらう	電気の理論を利用して、パンを作ることができる事を体験する。	西志津おやじの会
4	11月11日(日)	電気自動車を作ってモーターレース!	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせる。	自然科学の会
5	12月2日(日)	作って楽しもう!スライム&どんぐり工作	分銅などを使って材料を正確に測りながらスライムをつくり、科学実験の基礎を学ぶ。	沼田 正信

④講座を終えて それぞれの講座について、事前に道具・材料を整え、参加者が体験することを重視している。「科学実験バイキング酸とアルカリ・ガラスは曲がる?・光の世界・ナイショの実験」は、身近にある重曹を使い酸性アルカリ性の実験を行ったり、光の屈折を利用した模様を作ったり様々な実験を行った。「科学の力でアイスクリームを作ろう」では、氷に塩を入れ、熱が奪われる現象を観察し、氷に塩を加えたものと塩を加えないで作ったアイスクリームの素を用意し、実際に現象を見てアイスクリームが仕上がる様を実習した。「電気パンを作ろう」では、材料に熱を通すものと通さないものがあり、電流を流してその仕組みを理解してもらい、安全面に注意を払いながら、調理を体験した。「電気自動車を作って遊ぼう」では、果物の汁の種類によって通電、それを動力することで模型自動車を走らせることができるメカニズムを説明し、実際に模型自動車を作成し、完成したものを皆で走らせたところ、受講生にとっても好評であった。「作って楽しもう!スライム&どんぐり工作」では、スライムの材料について、分銅を使って正確に測るなど定番のスライムづくりの中に本格的な理科実験の要素をいれた講座で、低学年の子ども達は初めて見る実験器具に目を輝かせていた。来年度以降も講師たちとの交流と、さまざまな実験を通して、子どもたちの喜びに繋がっていきたい。

## 志津小学校通学合宿

- ①開設趣旨 自宅を離れて集団生活を行い、生活体験を通して、お互いの立場や役割を理解し協力しあう心を育むこと、日常生活に必要な生活技能を習得する。
- ②募集対象 志津小学校4年生～6年生 17人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月17日(日)	生活体験をしながら、通学する	開講式 献立決め 班目標の設定 食材の買い出し	順天堂大学 学生カウンセラー
2	6月18日(月)	生活体験をしながら、通学する	炊事 洗濯などを行い通学する	順天堂大学 学生カウンセラー
3	6月19日(火)	生活体験をしながら、通学する	炊事 洗濯などを行い通学する	順天堂大学 学生カウンセラー
4	6月20日(水)	生活体験をしながら、通学する	炊事 洗濯などを行い通学する 大掃除 感想発表 閉講式	順天堂大学 学生カウンセラー

④講座を終えて 志津公民館主催での通学合宿は久しぶりで、書類や消耗品の準備で大変であったが、他館での実施経験から運営はスムーズに行えた。開始1週間前の説明会で参加する児童の意識が変わり、家で調理等の練習をしてから参加した児童もいたようで、どの班も素晴らしい食事となった。順天堂大学の学生にカウンセラーとして、3泊4日寝食を共にしていただいたが、多忙なスケジュールの中、睡眠時間を削り、子どもの事を第一に考え、ミーティングを毎日行い、頑張ってくれました。

アンケート結果を見ると、「働くことや協力することの大切さ、親の大切さがわかった」という児童が大半を占め、保護者からも「親にとっての子の存在の大きさ」「自分のことを自分でできるようになった」「子への関わり・接し方の見直し」を感じ考える意見が多く、ほぼ狙いどおりの生活体験ができたものと考えます。

今回参加した児童は、知っている知識はお互いに教え合い、知らないことは聞いており、進んで色々な事を行い、次に何をするかを考え行動できたため、4日間大きな問題もなく終わることができたのは、参加する児童やカウンセラーの意識の高さからだと考える。

課題としては、「生活体験時にこまめに声かけをしてもらいたい」とあったので、次年度以降検討していきたい。

通学合宿を効果的に行うためには、説明会や通知により、児童が何をしに通学合宿に来るかを十分に理解してもらい、またそれを児童にうまく伝えることも大切であることを感じた。

## 佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

- ①開設趣旨 中学生・高校生を対象に志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習講座
- ②募集対象 中学生・高校生
- ③プログラム等

「公民館主催事業」志津子ども教室における講師補助

「公民館祭」受付の補助等

「通学合宿」小学生の放課後支援

「好学チャレンジ教室」小学生の見守り学習

回	実施日(曜日)	ボランティア内容	会場	参加者数
1	6月18日(水)	通学合宿 放課後支援等	佐倉西高等学校 セミナーハウス	高校生10人
2	6月19日(水)	通学合宿 放課後支援等	佐倉西高等学校 セミナーハウス	高校生10人
3	6月20日(水)	通学合宿 放課後支援等	佐倉西高等学校 セミナーハウス	高校生10人

4	8月22日(水)	好学チャレンジ受付及び補助	志津公民館	高校生12人
5	8月23日(木)	好学チャレンジ受付及び補助	志津公民館	高校生12人
6	8月24日(金)	好学チャレンジ受付及び補助	志津公民館	高校生11人
7	10月21日(日)	志津公民館祭 受付補助等	志津公民館	中学生1人
8	11月4日(日)	志津子ども教室 受付・講師補助	志津公民館	中学生1人
9	11月11日(日)	志津子ども教室 受付・講師補助	志津公民館	中学生1人

④講座を終えて 中学生・高校生のための職場体験講座「ちょこボラ」は、志津公民館で毎年度学校からの依頼により実施している職場体験を平成24年度から拡大し、志津地区の中学生や高校生を対象に志津公民館独自での職場体験として実施している。

背景に都市化や少子化等の進展に伴って、子どもたちの社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されている中で、中学生や高校生のための社会体験講座としての事業実施とした。

今年度のボランティアの参加は、通学合宿や好学チャレンジ教室において多くの高校生が参加した。募集に関しては「通学合宿」へのボランティアをきっかけに「好学チャレンジ教室」のボランティアに加わる生徒が多くみられた。

志津公民館祭や志津子ども教室などに参加した学生は、志津中学校内に掲示してあった好学チャレンジ教室のポスターを見て応募し、参加後は「小学生や地域の方との交流となりとても貴重な経験だと思います。」等の感想をいただいた。

今後、高校生が学校教育の現場だけでなく、地域の中の公民館の職場体験の経験を生かし、ボランティア精神が醸成され、社会の一員としての自覚を持っていくように願う。

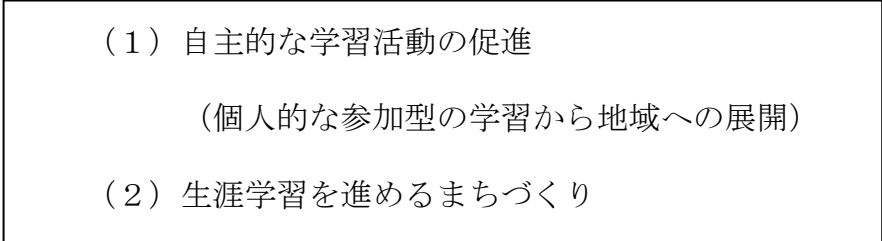
### 3. 成人教育事業

#### しづ市民大学（第29期）

①開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

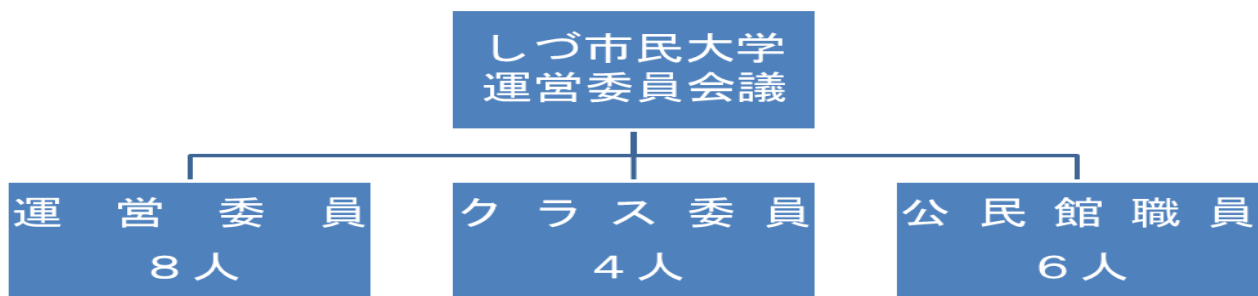
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。



『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

#### 【 しづ市民大学運営関係図 】



#### ②募集対象

- |          |      |     |
|----------|------|-----|
| ・しづ学入門   | 成人   | 44人 |
| ・地域健康学   | 成人   | 40人 |
| ・くらしの情報学 | 成人   | 45人 |
| ・おやじの食事学 | 成人男性 | 25人 |

#### ③学習目標

- ・しづ学入門 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
- ・地域健康学 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することをめざす。
- ・くらしの情報学 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。
- ・おやじの食事学 男性を対象とした講座で、食の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりをめざし、地域で活動するきっかけをつくる。

## しづ市民大学「しづ学入門」コース

回	実施日（曜日）	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月26日（土） 9:30～12:00	開講式・記念講演会 「発達障害増加の原因としての環境化学物質 -ネオニコチノイド系、有機リン系農薬の危険性-」 【志津公民館 大会議室 AB】		環境脳神経科学情報センター 医学博士 木村一黒田純子
2	6月2日（土） 9:30～15:00	AM しづ学入門の進め方 PM 志津地域の史跡と名所 【志津公民館 大会議室 A】		AM クラス委員 運営委員 PM 郷土史研究者 宮武 孝吉
3	6月16日（土） 9:30～12:00	志津地区北部のあゆみ 【志津公民館 大会議室 A】		酒々井町文化財審議会 高橋 健一
4	6月30日（土） 9:30～12:00	しづ市民大学について 【志津公民館 大会議室 A】		元中央公民館職員 石井 肇
5	7月7日（土） 9:30～13:00	志津の歴史散策①＝史跡・古道散策など＝ 【下志津 中志津】		郷土史研究者 宮武 孝吉
6	7月21日（土） 9:30～12:00	印旛沼の変遷 湖沼の生態系 【志津公民館 大会議室 A】		千葉県 内水面水産研究所 平田 淳一
7	8月4日（土） 9:30～12:00	志津の鉄道 【志津公民館 大会議室 A】		鉄道史研究者 白土 貞夫
8	8月25日（土） 10:00～12:00	しづ市民大学合同講演会 「佐倉藩藩校成徳書院について -温故堂のカリキュラムの検討を中心に-」 【志津コミュニティセンター 大ホール】		和洋女子大学 名誉教授 関山邦宏
9	9月15日（土） 9:30～12:00	めずらしい念仏（いっちょうぎり） 【志津公民館 大会議室 A】		八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
10	9月29日（土） 9:30～13:00	志津の歴史散策②＝史跡・古道散策など＝ 【青菅 先崎】		郷土史研究者 宮武 孝吉
11	10月6日（土） 9:30～12:00	日本遺産の概要について 【志津公民館 大会議室 A】		佐倉市教育委員会 文化課 職員
12	10月20日（土） 9:30～13:30 【雨天中止】	第45回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会		担当職員・運営委員
13	10月27日（土） 9:30～12:00	志津の話 ーいまむかしー 【志津公民館 大会議室 A】		市史編さん委員 内田 儀久
14	11月17日（土） 9:30～12:00 【市民公開講座】	印旛沼周辺の鳥 鳥の知恵 【志津公民館 大会議室 A】		日本野鳥の会 浅野 俊雄
15	12月1日（土） 9:00～13:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区】		NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
16	12月15日（土） 9:30～12:00	俳句から見た印旛沼の自然 【志津公民館 大会議室 A】		元教諭 村上 勲
17	1月19日（土） 9:30～12:00	井野長割遺跡について学ぶ 【志津公民館 大会議室 A】		佐倉市教育委員会 文化課 職員
18	2月2日（土） 9:30～12:00	学習発表会に向けて 【志津公民館 大会議室 A】		クラス委員・運営委員
19	2月23日（土） 9:30～14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室 AB】		クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「地域健康学」 コース

回	実施日（曜日）	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月26日（土） 9:30～12:00	開講式・記念講演会 「発達障害増加の原因としての環境化学物質 -材料系、有機系農薬の危険性-」 【志津公民館 大会議室 AB】	環境脳神経科学情報 センター 医学博士 木村-黒田純子
2	6月5日（火） 9:30～15:00	AM：地域における健康への取り組み PM：HR 【志津公民館 大会議室 A】	健康増進課 保健師 吉山 博美
3	6月19日（火） 9:30～12:00	健康体力づくりのための体操とストレッチ 【志津公民館 大会議室 AB】	NPO ニッポンランナーズ コーチ 萩谷 正紀
4	7月3日（火） 9:30～12:00	軽スポーツでリフレッシュ 【志津公民館 大会議室 AB】	元体育指導員 六崎 美知代
5	7月17日（火） 9:30～12:00	健康太極拳で柔軟性を高め、筋肉を鍛える 【志津公民館 大会議室 A】	日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
6	8月25日（土） 10:00～12:00	しづ市民大学合同講演会 「佐倉藩藩校成徳書院について-温故堂のカリキュ ラムの検討を中心に-」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	和洋女子大学名誉教授 関山 邦宏
7	9月4日（火） 9:30～12:00	今日からできるカンタン栄養学 【志津公民館 大会議室 A】	管理栄養士 吉田 智子
8	9月18日（火） 9:30～12:00	地域から健康笑顔を発信・口腔衛生 【志津公民館 大会議室 A】	健康増進課 主任保健師 上條 友美 歯科衛生士 澤井 美桜
9	10月2日（火） 9:30～12:00	軽スポーツでリフレッシュ 2 【志津公民館 大会議室 AB】	元体育指導員 六崎 美知代
10	10月16日（火） 9:30～12:30	生活習慣病とウォーキング 【志津公民館 大会議室 A・屋外】	NPO 千葉ウォーキング協会 伊藤 隆之・高城 護
11	10月20日（土） 9:30～13:30	第45回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会	クラス委員・運営委員
12	11月6日（火） 9:30～12:00	ノルディックウォーキング① 【志津公民館 大会議室 AB】	WINS 木崎 健太
13	11月20日（火） 9:30～12:30	ノルディックウォーキング② 【西志津ふれあいセンター集合 南志津公園】	WINS 木崎 健太
14	12月4日（火） 9:30～12:00	【公開講座】タオル健康体操 【志津公民館 大会議室 AB】	健康作ろう会 会長 廣吉 勝子
15	12月11日（火） 9:30～12:00	【公開講座】かかりつけ医薬局とポリファーマシー 【志津公民館 大会議室 A】	はつほ薬局 伊藤 克洋
16	12月18日（火） 9:30～12:00	呼吸法ヨガで自分を見つめ、自己管理 【志津公民館 大会議室 AB】	フリーダイバー 世界一 岡本 美鈴
17	1月15日（火） 9:30～15:00	AM:壁新聞を作ろう PM:HR 【志津公民館 大会議室 A】	担当職員・運営委員
18	1月29日（火） 9:30～12:00	地域サークルとボランティア 【志津公民館 大会議室 A】	手話ダンスロード
19	2月5日（火） 9:30～12:00	学習発表会に向けて 【志津公民館 大会議室 A】	クラス委員・運営委員
20	2月23日（土） 9:30～14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室 AB】	クラス委員・運営委員

## しづ市民大学「くらしの情報学」コース

回	実施日（曜日）	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月26日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演会「発達障害増加の原因としての環境化学物質 -材料系、有機系農薬の危険性-	【志津公民館 大会議室 A・B】	環境脳神経科学情報センター 医学博士 木村一黒田純子
2	6月7日(木) 9:30～15:00	HR 情報学のすすめ方 ニュースの読み方	【志津公民館 大会議室 A】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
3	6月21日(木) 9:30～12:00	エンディングノート①	【志津公民館 大会議室 A】	ライフスタイル研究家 三石 康雄
4	7月5日(木) 9:30～12:00	エンディングノート②	【志津公民館 大会議室 A】	ライフスタイル研究家 三石 康雄
5	7月19日(木) 9:30～12:00	エコライフを送ろう	【志津公民館 大会議室 A】	元(財)電力中央研究所理事待遇 工学博士 中岡 章
6	8月25日(土) 10:00～12:00	しづ市民大学合同講演会「佐倉藩藩校成徳書院について - 温故堂のカキヨムの検討を中心に -」	【志津コミュニティセンター】	和洋女子大学 名誉教授 関山 邦宏
7	9月6日(木) 9:30～12:00	悪徳商法撃退法	【志津公民館 大会議室 A】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員 増田ひろみ
8	9月20日(木) 9:30～12:00	高齢社会と人権	【志津公民館 大会議室 A】	(社)千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平
9	10月4日(木) 8:30～17:00	社会見学会：課外 横浜市 NEWS PARK 中華街		クラス委員・運営委員
10	10月20日(土) 9:30～13:30	第45回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会		クラス委員・運営委員
11	10月25日(木) 9:30～12:00	インターネットの活用とネットリテラシー	【志津公民館 大会議室 A】	パソコンインストラクター 小坂 大輔
12	11月8日(木) 9:30～12:00	モノが片付くと心もすっきりって本当!?	【志津公民館 大会議室 A】	整理収納アドバイザー 和泉 きよい
13	11月15日(木) 9:30～12:00	佐倉市企業のお取り組み～佐倉茶物語～	【志津公民館 大会議室 A】	(株)小川園 代表取締役社長 小川 勝寛
14	12月6日(木) 9:30～12:00	寒くても室内でできるバランス体操	【志津公民館 大会議室 A】	インストラクター 関根 美和
15	12月20日(木) 9:30～12:00	安全運転と防犯	【志津公民館 大会議室 A】	佐倉警察署
16	1月10日(木) 9:30～12:00	認知症サポーターになろう!	【志津公民館 大会議室 A】	志津南部地域包括支援センター
17	1月24日(木) 9:30～12:00	災害に備えて	【志津公民館 大会議室 A】	佐倉市役所 危機管理室
18	2月7日(木) 9:30～12:00	学習発表会に向けて	【志津公民館 大会議室 A】	クラス委員・運営委員
19	2月23日(土) 9:30～14:30	コース別学習発表会・閉講式	【志津公民館 大会議室 A・B】	クラス委員・運営委員



## しづ市民大学「おやじの食事学」コース

回	実施日（曜日）	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月26日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演会「発達障害増加の原因としての環境化学物質 -「ネコチノト」系、有機リン系農薬の危険性-」 【志津公民館 大会議室A・B】	担当職員・運営委員 環境脳神経科学情報センター 医学博士 木村一黒田純子
2	6月9日(土) 9:30～15:00	栄養と料理の基本を学ぶ（講義・実習） 他 【志津公民館 調理室・201会議室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月23日(土) 9:30～15:00	調理の基本を学ぶ（講義・実習） 【志津公民館 調理室・201会議室】	調理師 山崎 憲
4	7月7日(土) 9:30～13:00	季節を感じる料理（実習） 【志津公民館 調理室・201会議室】	栄養士 六崎 美知代
5	7月21日(土) 13:00～17:00	房総の太巻き寿司を作ってみよう（実習）他 【志津公民館 調理室・201会議室】	栄養士 小林 由喜子
6	8月25日(土) 10:00～12:00	しづ市民大学合同講演会 「佐倉藩藩校成徳書院について -温故堂のカリキュラムの検討を中心に-」 【志津コミュニティセンター】	和洋女子大学 名誉教授 関山 邦宏
7	9月8日(土) 9:30～13:00	和食の良さを見直そう 【志津公民館 調理室・201会議室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
8	9月29日(土) 9:30～14:00	先輩おやじに教わって作る手打ちうどん 他 【志津公民館 調理室・201会議室】	おやじの食事学同好会
9	10月13日(土) 9:30～13:00	受講生が考える料理 【志津公民館 調理室・201会議室】	調理師 矢口 孝
10	10月20日(土) 9:30～12:00 【雨天中止】	第45回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会	担当職員・運営委員
11	10月27日(土) 13:00～17:00	家で作って喜ばれるデザート作り 他 【志津公民館 調理室・201会議室】	調理師 矢口 孝
12	11月10日(土) 9:30～13:00	家庭で作れる中華料理① 【志津公民館 調理室・201会議室】	調理師 尾沢 和治
13	11月24日(土) 9:30～14:00	家庭で作れる中華料理② 他 【志津公民館 調理室・201会議室】	調理師 尾沢 和治
14	12月8日(土) 9:30～13:00	塩分が少なくてもおいしい料理 【志津公民館 調理室・201会議室】	食生活改善推進員 志津A支部
15	12月15日(土) 9:30～14:00	受講生が選ぶリクエスト料理 他 【志津公民館 調理室・201会議室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
16	1月12日(土) 9:30～16:00	学習発表会に向けて（話し合い） 他 *世話人の振る舞い料理 【志津公民館 調理室・201会議室】	クラス委員・運営委員
17	1月26日(土) 9:30～13:00	おもてなし料理の練習をしよう 【志津公民館 調理室・201会議室】	クラス委員・運営委員
18	2月2日(土) 9:30～14:00	講師を招いておもてなし料理 【志津公民館 調理室・201会議室】	クラス委員・運営委員
19	2月23日(土) 9:30～14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室A・B】	クラス委員・運営委員

#### ⑤講座を終えて

- ・「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習しました。今年度のしづ学入門講座も志津地区の歴史・文化の講座を中心に、講話・史跡散策・記念講演会・合同講演会等の学習を実施した。内容については概ね好評の意見を頂いたが、内容の拡充を求める声もあった。

実施講座については、前年から若干の見直しをし一定の評価はいただけたが、事業の拡大や散策の回数の増加、更なる専門コースを望む声もきかれた。

「自主的な学習活動の促進」、「生涯学習からのまちづくり」などについて受講生の意識付けに寄与することができ、一定の効果は残せたと考察するが、一方では受講生の要望も多様化しているのも現時点で確認できた。地域課題のテーマ性も少しずつ盛り込み、有益な講座への変容と強化を今後も図っていきたい。

- ・「地域健康学」 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することを目指して実施した。

受講中は、クラス委員長、班長を中心に、和やかで落ち着いた受講となり、輪が広がっていくのが実感できた。中でも元気な人が、大きな声でみんなを鼓舞するようなこともあり、受講生が自主的に実施していた懇親会なども含めて、1年間楽しく受講できたと思われる。学習発表会でも、班の中で試行錯誤を続け、少しでも良いものをとの思いで、とても良い発表会になったと思う。今年度で地域健康学は最後となるが、また新コース等でいくつかの内容は実施予定なので、楽しく、仲良く受講していただければと思います。

- ・「くらしの情報学」 くらしの情報学の開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え、心豊かな生活を過ごすための知識を学び、その学んだ知識を地域の人達と共に活用し、安全で快適な地域づくりを目指すことを目的として今年度も実施した。地域活性化、時事問題、エコ、相続から防災まで、日々のくらしに密着した幅広い分野に亘る講座を開設し、それぞれのテーマについて、受講生からは、「新たな知識を得ることができたがもっと深く学びたい」等、学習に対する意欲の高さを感じられた。

今年度はエンディングノートの書き方を取り入れたがどの受講者からも「身近な事」と好評であった。また、防災関係の模擬練習も取り入れ好評な感想を頂いた。まとめなどをみると、「もう少し、深く知りたかった」などの意見があったので、来年度以降検討していきたい。

- ・「おやじの食事学」 おやじの食事学は、男性が料理の楽しさを体験しながら家庭で実践できる食事作りを学び、同じ活動をしてきた仲間意識をとおして仲間づくりを行い、家庭や地域で活躍できるようにしてもらうことを目的として実施した。

和洋中それぞれ何品か作り、12回の実習と、自分達で考えたおもてなしメニューを作った。毎回苦戦しながらできた料理をおいしく食べ、会話を交わし、また次回、を繰り返し、班内のメンバーの連携はできたと思う。おもてなし料理については、講師陣から、良い出来であると高評価をいただいた。

受講生も自信になったと思う。今年度から2回終了するごとに1回短時間のホームルームを行い、実習の反省や班内での交流を深めた。学習発表会に向けて、そのホームルームの時間を活用しながら、全ての班が発表する構成を考えるなど、協力しながら準備を進めていくことができた。来年度は、会計係や編集委員などの役割を班内で設定し、役割分担をしやすい仕組み作りを進めていきたい。

### 佐倉学入門講座 「佐倉道を学ぶ」

①開設趣旨 1610年(慶長15)に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。また、江戸川から佐倉城址までを周辺の史跡も含めて全5回に分けて学び、地域で活躍できる人材を育成する。

②募集対象 成人 21人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月12日(水)	佐倉道を歩く(座学)	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
2	12月19日(水)	佐倉道のうち、小岩～西船駅までを学ぶ	八千代市郷土歴史研究会 巖 由美
3	1月16日(水)	佐倉道のうち、西船駅～習志野までを学ぶ	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
4	1月30日(水)	佐倉道のうち、習志野～志津までを学ぶ	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
5	2月13日(水)	佐倉道のうち、志津～佐倉城大手門跡までを学ぶ	八千代市郷土歴史研究会 畠山 隆

④講座を終えて この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設していたが、記念事業は平成29年度が終了したが公民館事業として継続する事業とした。今年度は、佐倉道の史跡散策は実施せず、道中の遺跡についての学習を柱に座学で実施した。

初回は、「佐倉道のあらし」として佐倉道の全体像等の講義を行った。2回目以降も座学の形を取り、道中の史跡に関して細かく学んだ。また全座学では、受講生同士の学びが深まるよう毎回班活動として佐倉道に関する地図と現在の地図を見比べるなど参加者にとっては学ぶことや新たに知る事が多い講座になったと考える。また班活動ではお互いに意見交換を啓発することを意図した。アンケートでは、「この講座をきっかけに、佐倉周辺を自分で歩いて学習したい」「親しい友人ができて良かった」など、地域貢献につながる礎ができ学習意欲の向上を図ることができた。講師の高齢化により座学とした今年度の佐倉道事業でしたが、実際に歩きたいとの要望も多くあり、日程等を工夫し、次年度は座学と散策を両方実施できるか検討したい。

### 佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

①開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月28日(水)	考古学入門ー佐倉の縄文時代ー	文化課職員 松田 富美子
2	12月 5日(水)	井野長割遺跡とはー遺跡概要紹介ー	印旛郡市文化財センター 小倉 和重
3	12月12日(水)	遺跡探訪ー知識を深めるー(現地見学)	文化課職員 松田 富美子
4	12月19日(水)	遺跡の経緯ー今後についてー	文化課職員 松田 富美子

④講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。アンケート結果では、約8割の方が講座に参加して満足との回答で、「佐倉、又近所にこんなに多くの遺跡があっただよりました」「3000年前の盛土が今も地上に残っているなんてなかなか個人では見学できない場所なので、大変良かったです」等好評であった。全4回の講座であったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高いことが伺えた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

### 「楽しみながら学ぶバランスコーディネーション体操」

①開設趣旨 「楽しみながら学ぶバランスコーディネーション体操」は、なかなか体を動かす機会のない年齢層への健康増進と運動にかかわる機会を提供し、市民の健康への関心を高め、日常生活の中で積極的に運動を取り入れることを推進する。

②募集対象 成人 25人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月15日（火）	バランスコーディネーションの体験	インストラクター 関根 美和
2	1月22日（火）		
3	1月29日（火）		
4	2月 5日（火）		
5	2月12日（火）		

④ 講座を終えて この講座は、「バランスコーディネーション体操」と聞き、受講者は、最初「何をやらされるんだろう？」と不安のようであったが、講師のリードで、ウォーミングアップから徐々にコミュニケーションをとりあいながら、内容の強度も徐々に上げ、クールダウンまで、無理なくできていたようであった。

毎回、最初まっすぐ立てていなかった人も、帰る時にはまっすぐ立てたりと、1時間で目に見えて効果の出るものなので、受講者にとってやりがいがあったと思う。

アンケート結果にも、事業に対して、また、夜間事業に対しても大多数が「満足」と答え、事業としては、成功したと思う。

5回の講座を見ていて「このまま修了か」と思ったが、最終的に、サークルへ発展したので、支援し、意見を聞きながら、次年度に向け計画していきたい。

ただ、意図とした対象者が集まらなかったため、周知方法等を検討する余地がある。なお、参加者全員が当公民館に初めて来館した方だったので、新規利用者の獲得につながる事業だったと思う。

## 4. コミュニティ事業

### さくら学び塾（学びあい講座）

#### 「知って得する 相続と民事信託（家族信託）」

①開設趣旨 さくら学び塾（学びあい講座）は、優れた技術、知識、能力を持った市民講師と受講生が学び、考え、お互いが成長していくための市民講座です。本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

②募集対象 一般成人 25人

③プログラム

	実施日（曜日）	学習テーマ	学習内容	講師
1	11月9日(金) 10:00～12:00	相続入門	民法による相続の概要説明	ファイナンシャルプランナー 杉林 昇
2	11月16日(金) 10:00～12:00	民事信託（家族信託）	家族信託の説明等	
3	11月23日(金) 10:00～12:00	まとめ	相続（民法）と民事信託成年後見人制度とのつながり	

④講座を終えて コミュニティカレッジ事業さくら学び塾として、講師を市民公募し、市民講師の企画により実施した。今後、コミュニティ事業として地域活動の担い手づくりを引き続き実施していく。

## 5. 団体育成事業

### 第45回 志津公民館祭

①開催趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。

#### ②プログラム

開催日時 平成30年10月19日(金)～21日(日) 10時～16時(最終日は10時～15時)

会場 (第1会場) 志津公民館・(第2会場) 西志津ふれあいセンター

③公民館祭を終えて 志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することと、団体間の交流、地域との交流を図ることを目的として開催している。運営は参加団体の代表者で構成された実行委員会を組織して、手作りで運営している。

開館翌年の昭和49年から毎年欠かさず開催され、今年度で第45回を迎える伝統ある行事である。今年度は新公民館となって3回目の開催となった。昨年と違い、天候はまずまずであった。人数は過去最高となったが、これまで来ていなかった人を呼べたか、ということ、公民館によく来ている人たちが多いという感じであった。公民館祭の趣旨である、地域住民との交流及び、公民館のサークルへの興味を持ってもらうためには、いささか不満である。

今後も、志津公民館祭の開催趣旨である志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をする場として、これまで公民館の活動を知ってもらうべく、改善を進めながら実施することとする。

### 定期利用サークル運営研修会

①開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

②募集対象 志津公民館利用グループ・団体の代表者

③学習内容

- ・公民館でのサークル活動とは
- ・公民館の予約・使用について
- ・参加者による意見交換
- ・第45回志津公民館祭について

④今後に向けて 各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

### 調理室利用サークル懇談会

①開設趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。

②募集対象 定期利用している料理サークル

③プログラム

- ・調理室の利用説明と要望・意見交換
- ・調理室の清掃(調理器具の点検)
- ・避難訓練

④今後に向けて 今年度から、サークル数が多いことを踏まえ、6月と11月の2回に分けて実施することとした。人数的に適度に分かれ、効率よく清掃できたと思われる。その後、避難訓練を実施し、火災がおきやすい部屋である調理室を実際に利用している方々への啓発を行った。今後も利用者の意見を聞き、これからのより良い調理室運営の方向性を定め、進めていきたいと考える。

### 志津地区の子ども会育成活動

- 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- 加入団体 単位子ども会 12 団体
- 活動内容
  - ・千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介
  - ・千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
  - ・活動支援相談・連絡調整

### 志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）

- 概要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。
- 主な活動
  - ・単位子ども会への協力・行事支援
  - ・ジュニアリーダー初級認定講習会への指導・運営協力(8月)
  - ・志津公民館祭参加(10月)
  - ・佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への運営協力(10月)  
(荒天のため中止)
  - ・志津JLCクリスマス会(志津公民館共催)企画・運営(11月)

### 公民館園芸ボランティア団体「花の輪」への支援

- 概要 以前志津公民館で開催していた「園芸講座」を受講した人たちが、公民館や城座公園の敷地内の花壇等の手入れをボランティアとして行い、かつ園芸講座の講師に、引き続き花の知識等を教わりながら、活動を継続している。公民館は、それらにおける園芸・学習活動の支援を継続している
- 主な活動
  - ・公民館敷地内の花壇の手入れ
  - ・城址公園の花の手入れ
  - ・花についての自主学習

## 6. 広報・展示事業

### 志津公民館だより

- ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- 発行回数 年2回（4月・10月）
- 発行部数 4月 23,000部、10月 25,000部
- 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- 内 容

第242号 (平成30年4月15日)	第243号 (平成30年10月1日)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●募集案内（主催事業） お母さんと遊ぼう しづ市民大学 志津子ども教室（前期）</li> <li>●募集案内 中高ちょこボラ</li> <li>●募集案内（共催事業） 文学講座</li> <li>●志津公民館貸館について 施設貸出時間の延長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第45回志津公民館祭</li> <li>●募集案内（主催事業） 志津子ども教室（後期）</li> <li>●佐倉学講座 佐倉道を学ぶ 井野長割遺跡を学ぶ</li> <li>●コミュニティ事業 さくら学び塾（学びあい講座）</li> <li>●募集案内（共催事業） 志津JLCクリスマス会 文章講座</li> <li>●しづ市民大学公開講座</li> </ul>

- 今後に向けて  
今年度は、年2回「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子を紹介等が主な内容になっている。  
今年度から、公民館だよりの1回目を半月早めて、4月15日発行とした。しづ市民大学の募集についても、特に混乱がなかったことから、来年度も同じ日の発行にする予定である。  
志津公民館の情報が幅広い世代に行き渡るよう、発行方法や配布の方法についても検討していきたい。



臼井公民館

## 臼井・千代田地区の概要

### ○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を沼と河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チューリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

### ○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市(当時四街道町)から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発(染井野)に伴い、公園が整備され小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実してきた。21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画がゆるやかに進行している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティ活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

## 臼井・千代田地区のデータ

【平成31年3月末現在】

○臼井・千代田地区	面積	約18.5km <sup>2</sup>	(佐倉市	面積	103.69km <sup>2</sup> )
○	住基人口	41,130人	(	住基人口	175,476人)
○	人口密度	2,223人/km <sup>2</sup>	(	人口密度	1,692人/km <sup>2</sup> )

# 1. 公民館運営計画

## 運営方針

白井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。

## 努力目標

- より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

## 事業内容

### 1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

### 2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

### 3. 広報・展示事業

- 学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。
- 市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

### 4. 図書事業

- 市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。
- 音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

### 5. 施設・設備提供事業

- 開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00  
水・金・土曜日 9:00～21:00  
(夜間の利用のない場合は17:00まで)

(ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う)

※使用の受付は原則として、2カ月前の月初に設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。

- 休館日 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、施設保守点検日
- その他
  - ・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する場合には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。
  - ・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。  
これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

## 2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用件数 (件)	2,636	2,713	2,553	2,530	2,394
利用人数 (人)	47,069	49,440	46,554	45,325	41,159
開館日数 (日)	333	335	333	333	332

平成30年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
集会室	2,627	1,709	65.1%
学習室	2,623	1,647	62.8%
創作室	2,623	1,546	58.9%
展示室	2,623	1,869	71.3%
和室	2,623	1,351	51.5%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
家庭教育	おはなし会	5歳～成人 30人	毎月1回 4/14 11人 5/12 15人 6/9 6人 7/14 2人 8/22 45人 9/8 15人 10/13 19人 11/10 6人 12/8 21人 1/12 21人 2/2 15人 3/9 18人 合計 194人	白井公民館図書室の読書活動推進事業。子供たち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせ等によるおはなし会。本の世界に親しむとともに豊かな感受性を育むことを目的とした講座。	
青少年教育	水辺観察会 「夏休み子ども水辺探検ツアー」	小学校 4～6年生 22人	7/25 18人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものとして捉える目を養う講座。 (生活環境課共催事業)	
	星空観測教室	小学生 15人	8/22 31人 10/6 21人	星空についての解説や望遠鏡による惑星等の観測をすることで星空の世界に親しんでもらい、理科教育の興味関心を引き立てることを目的とする。 (草ぶえの丘共催事業)	
	つくってあそぼう 「スカイスクリュー」	小学生 15人	8/3 19人	物づくりを通じて、自らの手で工夫しながら作り出す喜びを味わうことにより、個性や創造性を培う。	
	つまみ細工の ブローチ作り	小学生 10人	8/25 8人	初めての方でもできる、小さくてかわいい「つまみ細工」を作り、自らが手作りする楽しさや喜びを体験してもらう。	
	かんたん！かわいい クリスマス リース作り	小学生 10人	12/15 8人	季節感のある物づくりを体験しながら、創造力を育むとともに幅広い年代との交流を図る。	
成人教育	佐倉学 佐倉学入門講座 「白井八景の 祭典」	成人 20人	11/28～12/2 257人	白井八景の撰後320年を記念して、白井八景にまつわる多様な資料の展示および映像を上映し、ギャラリートークで詳しい解説を行うことで、白井八景やゆかりのある史跡について理解を深める。	
		成人 30人	1/23 30人 2/24 28人	白井八景についての漢詩と和歌を詠んだ信齋に焦点を当て、当時の印旛沼を巡る景観や白井城の変遷をとおした信齋の心境について理解を深める。	
	コミュニ ティ事 業	コミュニ ティ カレッジさくら	18歳以上 30人	5月～2月 1学年28講座 12人 2学年28講座 13人	平成25年度に開設した2年制の市民大学。地域を見つめ、実践活動を通してまちづくりに取り組む人材の育成を目的とし、年間18日程度(月2回)学習する。
		さくら学び塾 「相手の心に 寄り添う傾聴」	成人 30人	11/24 20人 12/8 9人 12/22 14人 1/12 11人 2/2 12人 合計 66人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。家庭や社会での人間関係をスムーズにする傾聴の効果的な方法を学ぶ。
	健康講座 歯と健康の 意外な関係	成人 20人	1/24 25人	口腔の役割を理解し、歯周病や全身疾患との関連など、歯が体の健康に及ぼす影響について学習する。	

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体育成	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 6団体	年間随時	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。 8月18日 にぎわい祭りに参加 537人 10月21日 中央交流フェスティバルに参加 3月27日 小学卒業バスハイク 29人
広報・展示活動	臼井公民館だより	臼井・千代田 地区 600部	年1回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
	まちづくり資料室 展示	小学生～成人	通 年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。
	サークル展示 活動支援	市内団体	通 年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与する。
図書	図書の貸出等	幼児～成人	通 年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図る。

# 1. 家庭教育事業

## おはなし会

①開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。すばなしの他に絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるように実施する。

②募集対象 5歳～成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	4月14日（土） 14：00～14：30	「ぼくびょうきじゃないよ」「ひなどりとネコ」 「二ひきの蛙」「赤ずきん（テーブル人形）」	佐倉おはなしの会
2	5月12日（土） 14：00～14：30	「おしりポケット（絵本）」「こすずめのぼうけん」 「ヤギとライオン」「ちいさな魔女リトラ」	
3	6月9日（土） 14：00～14：30	「おろかなねがい」「ぶしょう者の横綱」「エパミナンダス」 「ふたりのあさごはん（テーブル人形）」	
4	7月14日（土） 14：00～14：30	「カンチル、かたつむりとかけっこをする」「こぶたがずんずん」「でかぐちカエル」「カンガルーかあさん（テーブル人形）」	
5	8月22日（水） 14：00～14：30	「おんぶおばけ」「ちいさいちいさい」「ワイリーと毛むくじゃら男」 「せみになった坊様」「となりの洋館」「魔女のシチュー」	
6	9月8日（土） 14：00～14：30	「よくばりすぎたねこ（絵本）」「トラとネコ」 「サリーのこけももつみ」「わらしべ長者（テーブル人形）」	
7	10月13日（土） 14：00～14：30	「きんのだまごをうむにわとり」「ぼんたのじどうはんばいき（絵本）」 「地のはての井戸」「ぼんぼん山の月（テーブル人形）」	
8	11月10日（土） 14：00～14：30	「ちっちゃな魔女のおはなし」「ちいさなたいこ」 「なんにもせんじん（紙芝居）」「馬方やまんば（テーブル人形）」	
9	12月8日（土） 14：00～14：30	「サンタクロースってほんとうにいるの？（絵本）」 「おだんごスープ」「びんぼうがみ」「屋根がチーズでできた家」	
10	1月12日（土） 14：00～14：30	「てぶくろ（絵本）」「王子さまの耳はロバの耳」 「袋に入れられた男の子」「十二支のはじまり（テーブル人形）」	
11	2月2日（土） 14：00～14：30	「ねずみのすもう」「となりのせきのますだくん（絵本）」 「かしこいなかま」「かひやくしょうとえんまさま（紙芝居）」	
12	3月9日（土） 14：00～14：30	「エパミナンダス」「天福地福」「はらぺこピエトリン」 「だいこん・にんじん・ごぼう（テーブル人形）」	

④講座を終えて 毎月1回、第2土曜日を基本に開催しており、8月については「こわーいおはなし会」と題して、普段のおはなし会とは違う雰囲気で開催した。

幼児や小学校低学年の子どもの参加が多く、テーブル人形を使ったおはなしは特に反応が良かった。毎回、おはなしの元となる絵本や、関連する本を紹介している。

## 2. 青少年教育事業

### 水辺観察会 「夏休み子供水辺探検ツアー」

- ①開設趣旨 市内の水辺環境について、講義や野外観察を実施することで、子どもたちが自然に親しみ自然を大切にする心を養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう。(生活環境課との共同事業)
- ②募集対象 小学4年生～6年生 22人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	7月25日 (水) 9:20～16:00	・紙漉きによるハガキの作成 ・印旛沼船上観察 (観光船) ・畔田沢の水質検査、魚取り観察	(財) 千葉県環境財団職員

- ④講座を終えて 葦を利用した紙漉きでのハガキ作りに始まり、観光船での印旛沼やそこに住む生き物の観察を行い、水質や自然環境等を考えるきっかけとなった。  
また、畔田沢では生き物の捕獲や観察を行い、自然を大切にする心を養うことにつながる感受性を育む効果もあったと思われる。

### 星空観測教室

- ①開設趣旨 夜空を見上げ、星や星座を探すことを通して、星空の世界に親しんでもらい、理科教育の興味関心を引き立てることを目的とする。(草ぶえの丘との共同事業)
- ②募集対象 小学生 15人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	8月22日 (水) 19:00～20:30	夏の星空についての解説と望遠鏡で月や惑星の観測をする。	佐倉市役所職員 白井公民館職員
2	10月 6日 (土) 19:00～20:30	秋の星空についての解説と望遠鏡で月や惑星の観測をする。	

- ④講座を終えて この講座では、季節の星座の見つけ方を紹介し、天体望遠鏡で惑星の観測を行った。特に土星の環を観ることができて感動しているようだった。

### つくってあそぼう「スカイスクリー」

- ①開設趣旨 物づくりを通して、自らの手で工夫しながら作りだす喜びを味わうことにより、個性や想像力を培う。
- ②募集対象 小学生 15人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	8月 3日 (金) 10:00～12:00	紙やゴムやプロペラ等で簡単なひこうき(ヘリコプター)を作成する。	とばそう会

- ④講座を終えて 低学年の児童は作る作業が大変で不安な面もあったが、全員が完成させることができ、アンケートでは自分で作ったヘリコプターをとばせたことが楽しかったという意見がほとんどを占め、成功を収めた。



### つまみ細工のブローチ作り

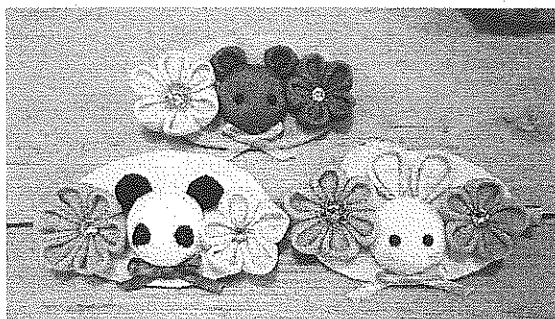
①開設趣旨 日本の伝統工芸である「つまみ細工」を現代風にアレンジし、初めての方でもできる、小さくてかわいいつまみ細工を作り、自らが手作りする楽しさや喜びを体験してもらおう。

②募集対象 小学生 10人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	8月25日 (土) 9:30~12:00	つまみ細工のブローチを作る。	雨あがり工房 伊藤 佳子

④講座を終えて 今回初めての講座となる。ピンセットを使う細やかな作業のため、小学1・2年生については保護者同伴での参加とすることにした。ピンセットを使って布を花びら状に折る作業が難しいようだったが、講師の説明を聞きながら上手に作り上げていた。



### かんたん!かわいいクリスマスリース作り

①開設趣旨 季節感のある物づくりを体験しながら、想像力を育むとともに幅広い年代との交流を図る。

②募集対象 小学生 10人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	12月15日 (土) 9:30~12:00	蓄光ねんどや様々な飾りをつけ、個性あるクリスマスリースを作る。	スイーツデコデザイナー 國本 幸栄 スイーツデコアシスタント 高橋 みち乃 鷹野 千恵子

④講座を終えて 蓄光ねんどやいろいろな飾りをグルーガン(ホットボンド)を使って接着した。「自分でデザインを考えて作ったことが楽しかった」「上手いと言われてもらえてうれしかった」という感想が寄せられ、子どもたちにとって良い体験になったことがうかがえた。

### 3. 成人教育事業

#### 佐倉学専門講座 「臼井八景 信齋の願い『金鱗を釣る』を考える」

①開設趣旨 印旛沼周辺の自然景観や、歴史・文化が重なりあい「臼井八景」が誕生したことを学び、地域の歴史に親しみを持ち理解を深めることを目的とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	1月23日(水) 13:00~15:00	印旛沼周辺の景勝を詩歌に詠んだ「臼井八景」が誕生し320年を経たが、作者の信齋と玄海二人のうち、臼井氏の子孫である信齋に焦点を当て八景の詩に込められた思いを考察する。	森 秀夫 (臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会代表)
2	2月24日(日) 13:00~15:00	信齋が臼井城主の末裔であることや、臼井城の変遷と信齋の生い立ちなど時代背景をたどることにより信齋の心境を考察し、信齋が序文に記した「以て金鱗を釣る」という信齋の願いについて理解を深める。	

④講座を終えて アンケートには「佐倉市に転入し、地域のことを知りたくて受講した」「詳しく調べられており、これまで知らなかったことも多く面白かった」「年表によって背景がよくわかり、次の漢詩の理解が深まるだろうと思いました」など、地域の歴史を学びたいという講座参加者の希望にも沿うもので、満足度も高く地域学の推進が図られた。また臼井八景のもう一人の作者である玄海を採りあげる等、講座の継続を図って行きたい。

#### 健康講座 歯と健康の意外な関係

①開設趣旨 地域住民の健康の保持と増進を図ることを目的として、日々の生活の中で健康を意識し、健康づくりを実践するきっかけづくりとなることを目的とする。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

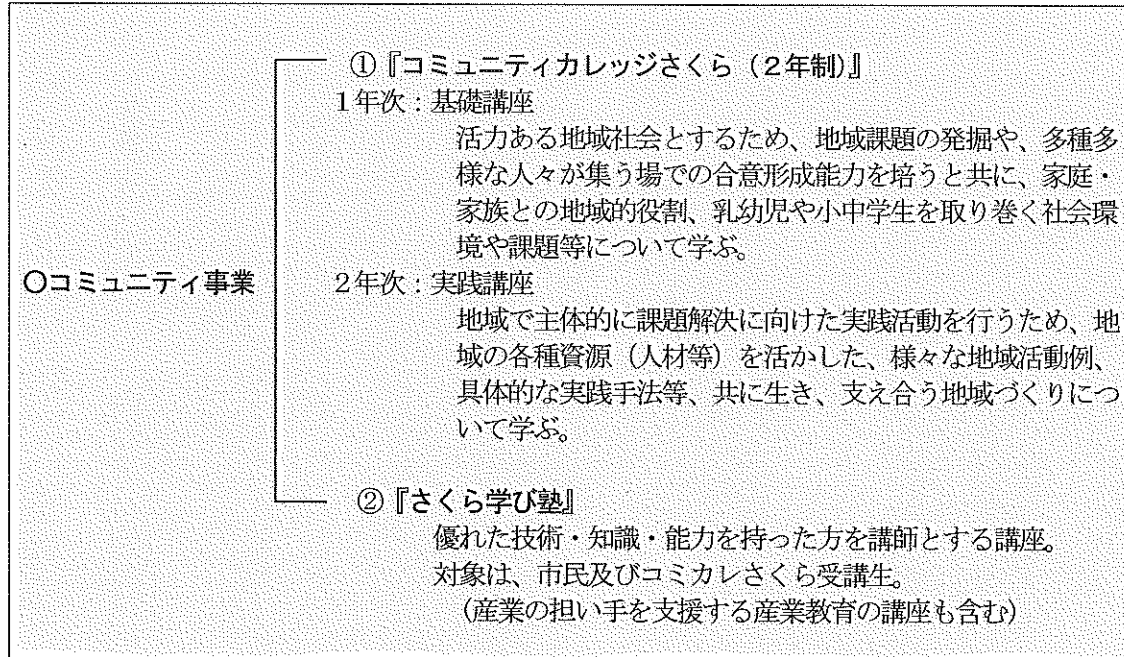
回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	1月24日(木) 14:00~16:00	歯科疾患が身体に及ぼす様々な影響などを中心に、歯と口腔内の健康の大切さについて学ぶ	千葉県内歯科医師 (千葉県保険医協会より派遣)

④講座を終えて 千葉県保険医協会の講師派遣制度を利用して、2人の講師による講座を開催した。口は体の入口であり、体全身の健康に多大な影響を及ぼすので食べ物や食べ方は非常に重要であり、添加物や科学物質、活性酸素など食生活を取り巻くなかで危険なものがたくさんあふれている現代社会に警鐘を鳴らす内容であった。

## 4. コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地域での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり（防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり）に参加する人材の育成を図るため開設する。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承していただくだけでなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指す。



### コミュニティカレッジさくら

#### ○特色

- ・地域で共に生活し、支え合い、地域づくりに参加する地域人材の育成を図るための学習の場。学んだ成果を生かし、地域の様々な場面で多種多様な活動を実施し、元気で住み良い、活力ある佐倉市の地域づくりやまちおこしに貢献することを期待する。

#### ○概要

- ・受講資格 : 佐倉市内に在住・在勤されている18歳以上の方  
設置目的に共感と賛同をし、2年間通学できる方
- ・定員 : 30名
- ・費用 : 無料 (資料代等実費徴収)
- ・開催日時 : 5月～2月の土曜または日曜 おおむね月2回程度 18回実施予定  
講義時間 午前10時～12時 午後1時～3時

平成30年度 コミュニティカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間		9:50~10:00	10:00~12:00		
回	日	場 所	H R	テ-マ	講師予定
1	5月 20日 (日)	臼井公民館		○入学式【1・2年合同】 ○オリエンテーション	学長(佐倉市長) 事務局 コーディネーター
2	6月 3日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○よりよいコミュニケーションとは(1) ～グループエンカウンター体験～	千葉敬愛短期大学教授 吉村 真理子 氏
3	6月 17日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○よりよく「聴く」ことへの「責任」 ～守秘義務と個人情報への扱い・傾聴技術の習得～	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子 氏
① ②	7月 29日 (日)	臼井公民館		○さくら学び塾(講師塾)① ～公民館の学びとは～	千葉県公民館連絡協議会 元事務局長 千藤 尚志 氏
4	8月 26日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘 ～実践現場より～ 福祉ボランティア まちづくり協議会等の活動	社会福祉協議会 菅原 喜美恵 自治人権推進課 小田 賢治
5	9月 9日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘 ～市の計画から見る地域課題～	企画政策課 藤崎 裕之
6	9月 15日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘 ～他市の実践より～ コミュニティビジネス NPO活動	NPOクラブ 代表理事 牧野 昌子 氏
7	10月 7日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘 ～各分野における地域課題①～ ・子育て・福祉(全般、高齢者対策)	佐倉市担当課職員
8	11月 4日 (日)	美術館・ 市内散策	事務連絡	○地域の現状と社会資源 ～地域を活性化する取り組み～	NPO法人 佐倉一里塚 慶田 康郎 氏
9	11月 11日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域福祉と介護予防について	高齢者福祉課 岩本絵己
10	12月 9日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域福祉と介護予防について	高齢者福祉課
11	12月 16日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○異年齢社会の構造と課題 ～乳幼児を取り巻く社会環境～	東京経営短期大学准教授 今西 ひとみ 氏
12	1月 20日 (日)	香取市	事務連絡 8:00 集合予定	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局
13	2月 10日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○中間研究発表 『地域が元気になる』実践方策 ～研究発表準備～	コーディネーター 事務局
14	2月 16日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○2学年研究発表会を通して【1・2年合同】 ～2年生の研究発表をもとに考える～	千葉大学准教授 清水 洋行 氏
15 ～ 18	9月～2月 (各班の計画による)			○自主学習	コーディネーター 事務局

平成30年度 コミュニティカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間		13:00～15:00	15:00～16:00	
回	日	テーマ	講師予定	H R
1	5月 20日 (日)	○記念講演 「地域で学び、地域で生きる」(予)	千葉敬愛短期大学 前学長 伊藤 勝博 氏	
2	6月 3日 (日)	○地域のリーダーになるために ～地域の人の意見をまとめるには～	千葉敬愛短期大学専任講師 清水 一巳 氏	
3	6月 17日 (日)	○よりよいコミュニケーションとは(2) ～アサーション・トレーニングとDESC法体験～	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子 氏	班編成について 役員選出
① ②	7月 29日 (日)	○さくら学び塾(講師塾)② ～意見交換～	実践者	
4	8月 26日 (日)	○地域を知る ～明治の文化人 依田学海～	郷土史家 内田 儀久 氏	
5	9月 9日 (日)	○異年齢社会の構造と課題 ～小・中学生が抱えているもの～	千葉敬愛短期大学准教授 鈴木 健一 氏	
6	9月 15日 (土)	○コミュニティカレッジの目指すもの 【1・2年合同】	学長(佐倉市長) 事務局 コーディネーター	研究課題・ 自主学習日
7	10月 7日 (日)	○地域課題の発掘 ～各分野における地域課題②～ 商工業・農業・防犯・防災	佐倉市担当課職員	『地域が元気になる』 実践方策
8	11月 4日 (日)	○地域の現状と社会資源 ～地域を活性化する取り組み～	NPO法人 佐倉一里塚 慶田 康郎 氏	単位取得について
9	11月 11日 (日)	○身近な人権 ～ひとを人として認める地域とは?～	元千葉敬愛短期大学教授 松本 峰雄 氏	
10	12月 9日 (日)	○地域福祉と介護予防について	高齢者福祉課	機器の取り扱いに ついて
11	12月 16日 (日)	○家庭・家族と地域の社会的役割 ～青少年を取り巻く現代社会の環境～	千葉敬愛短期大学教授 新田 司 氏	バス見学会につい て 発表会に向けて
12	1月 20日 (日)	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局	
13	2月 10日 (日)	○中間研究発表【1・2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班ごとの研究課題の経過発表～	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	研究発表
14	2月 16日 (土)	○修了式【1・2年合同】	事務局 学長(佐倉市長)	
15 ～ 18	月 (各班の 計画によ る)	○自主学習	コーディネーター 事務局	

平成30年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間		9:50~10:00		10:00~12:00		
回	日	場所	日直	H R	テーマ	講師予定
1	5月20日(日)	臼井公民館	1班	事務連絡 10:00 集合予定	○入学式【1・2年合同】 ○オリエンテーション	学長(佐倉市長) 事務局 コーディネーター
2	5月26日(土)	臼井公民館	2班	事務連絡	○地域活動を行うために 情報の活用(収集及び発信)	東京情報大学助教 河野 義広 氏
3	6月16日(土)	臼井公民館	3班	事務連絡	○コミュニティについて 身近な地域のコミュニティとは 身近なコミュニティ施設:学校・自治会館・寺等 身近なコミュニティ:自治会・NPO等の各種団体	千葉大学教授 清水 洋行 氏
4	6月23日(土)	臼井公民館	1班	事務連絡	○コミュニティについて 地域住民が手を取り合う事例	東洋学園大学専任講師 小山 弘美 氏
5	7月7日(土)	臼井公民館	2班	事務連絡	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで民生委員・児童委員～	コ:元福祉部長 川根紀夫 氏 民生委員・児童委員協議会
①	7月29日(日)	臼井公民館	3班		○さくら学び塾(講師塾) ～公民館の学びとは～	千葉県公民館連絡協議会 元事務局長 千藤 尚志 氏
6	9月8日(土)	臼井公民館	1班	事務連絡	○地域活動を行うために 市民協働型事業・サポセン登録等	自治人権推進課 市民公益活動サポートセンター
7	9月15日(土)	臼井公民館	2班	事務連絡	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで 自治会・まちづくり協議会～	コ:自治人権推進課 自治会 まちづくり協議会
②	10月中旬～	市内公民館			○さくら学び塾 ～公民館事業の支援～	さくら学び塾の市民講師 各公民館職員
8	10月6日(土)	佐倉白翠園	3班	事務連絡	○地域の課題を考える ～高齢社会から超高齢社会へ、 その社会が及ぼす課題～	佐倉白翠園 竹内 淳 氏
9	10月※※日(土)	松戸市	1班	事務連絡 集合時間 未定	○現地見学会(公共交通機関利用) ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局
10	11月10日(土)	臼井公民館	2班	事務連絡	○実践・現場から 自治会・学校支援・福祉施設支援等	自治人権推進課 自治会・町内会、福祉施設支援等実践者
11	12月※※日(土)	横浜市	3班	事務連絡 8:00 集合予定	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局
12	12月15日(土)	臼井公民館	1班	事務連絡	○地域の課題を考える ～青少年を取り巻く環境と課題～ 社会背景を考えよう	和洋女子大学准教授 佐藤 まゆみ 氏
13	2月10日(日)	臼井公民館	2班	事務連絡	○地域の課題を考える ～認知症の課題をもとに～	高齢者福祉課
14	2月16日(土)	臼井公民館	3班	事務連絡	○研究発表【1・2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班の研究課題卒業発表～	千葉大学准教授 清水 洋行 氏
15 ～ 18	9月～2月 (各班の計画による)				○自主学习	コーディネーター 事務局

平成30年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間		13:00~15:00	15:00~16:00	
回	日	テーマ	講師予定 H R	
1	5月20日(日)	○記念講演 「地域で学び、地域に生きる」	千葉敬愛短期大学 前学長 伊藤 勝博 氏	
2	5月26日(土)	○地域活動を行うために リスク管理 普通救命講習会	佐倉消防署	
3	6月16日(土)	○コミュニティについて 地方分権時代の佐倉の課題	千葉大学教授 清水 洋行 氏	
4	6月23日(土)	○コミュニティについて コミュニティについて語ろう	東洋学園大学専任講師 小山 弘美 氏	
5	7月7日(土)	○地域の様々な実践 ～実践者を困んで子育て支援実践例～	コ:千葉敬愛短期大学教授 吉村 真理子 氏 子育て支援センター 児童センター	
①	7月29日(日)	○地域福祉と介護予防について	高齢者福祉課	
6	9月8日(土)	○地域活動を行うために NPO法人の設立について	NPOクラブ 代表理事 牧野 昌子 氏	
7	9月15日(土)	○コミュニティカレッジの目指すもの 【1・2年合同】 ～班の研究課題を見直そう～	コーディネーター 事務局	
②	10月中旬～			
8	10月6日(土)	○福祉施設での体験実習	佐倉白翠園 竹内 淳 氏	
9	10月※※日(土)	○現地見学会(公共交通機関利用) ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局	研究発表に向けて
10	11月10日(土)	○地域の様々な実践 ～防犯・防災・安全～ 防犯パトロール・自主防災など	危機管理室	○地域の社会資源(1) ～防犯・防災・安全～
11	12月※※日(土)	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局	
12	12月15日(土)	○地域の課題を考える ～乳幼児・少年期の課題～ 児童虐待や家庭での孤立化等	和洋女子大学准教授 佐藤 まゆみ 氏 児童青少年課	
13	2月10日(日)	○中間研究発表【1・2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班ごとの研究課題の経過発表～	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	
14	2月16日(土)	○修了式【1・2年合同】	事務局 学長(佐倉市長)	
15 ～ 18	月 (各班の 計画によ る)	○自主学習	コーディネーター 事務局	

### さくら学び塾 「相手の心に寄り添う傾聴」

①開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

家庭や社会での人間関係をスムーズにする傾聴の効果的な方法について演習を通じて学ぶ。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習テーマ（学習内容）	講師
1	11月24日（土） 14:00～16:00	話し手の内容をそのまま返す	ガイダンス カウンセラー 根本 栄治
2	12月 8日（土） 14:00～16:00	話し手の内容を言い換えて返す	
3	12月22日（土） 14:00～16:00	話し手の内容に伴う感情を添えて返す	
4	1月12日（土） 14:00～16:00	話し手の感情に寄り添いながら、傾聴している自分を俯瞰する	
5	2月 2日（土） 14:00～16:00	自分たちに合った傾聴の発見	

④講座を終えて

日常生活の中で、相手の話を聞く「傾聴」について、5回の演習で入れ替え方式によりさまざまな受講者との傾聴演習を重ねることができた。これにより人の話を相手に寄り添って聴くことが体得できた。また、家庭内はもとより高齢者の見守りなど地域社会で傾聴を活かせる契機として、さくら学び塾が地域づくり人づくりに資するものがあつた。



## 5. 団体育成事業

### 臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）

①開設趣旨 臼井地区の単位子ども会の発展を願い、関係機関団体との連携を図りながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

②対象団体 6団体

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	参加者
1	4月19日（木） 10:00～11:00	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会	各単位子ども会役員 児童青少年課 地区子連事務局
2	8月18日（土） 13:00～20:00	「臼井ふるさとにぎわい祭」に参加 （御伊勢公園周辺）	各単位子ども会役員 地区子連事務局
3	10月21日（日） 9:00～15:00	佐倉市中央交流フェスティバル	地区子連役員 地区子連事務局
4	3月27日（水） 8:30～16:30	臼井地区子連 卒業バスハイキング （東京ジョイポリス）	地区子連役員 地区子連事務局

### かたりべの会

①開設趣旨 昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。子どもにお話しを語ることを目的に、概ね毎月1回お話の練習として定例会を行っている。

②会 員 25人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1～ 8	ほぼ毎月 第2水曜日  7月11日, 9月12日 10月17日, 11月14日 12月12日, 1月9日 2月13日, 3月13日  10:00～12:00	定例会を開催し、各人が覚えてきたお話を語り、感想を述べ合うことでおはなしの技術の向上を図る。	かたりべの会

## 6. 広報・展示事業

---

### 公民館だより

- ねらい 公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供する。
- 発行回数 年1回発行
- 発行部数 600部
- 配布方法 抽選会場及び各公民館等に配置

### まちづくり資料室の展示

- ねらい 白井地区に関する歴史や遺跡等について理解と関心を深めるため、資料展示を行う。
- 展示期間 通年
- 展示パネル 「白井に伝わる話」と題し、小学生から大人までを対象に白井・千代田地区に伝わる昔話や伝説（『たんたん山』など）についてパネルによる展示資料で紹介し、地域に関心を寄せてもらう機会とした。

### サークル展示活動支援

- 市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供している。また、通常の学習目的でも利用されている。
- 開室日・開室時間 月（第1・3・5）・火・木・日曜日または祝日 9:00～17:00  
水・金・土曜日（祝日を除く） 9:00～21:00
- 休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等
- 使用について 予約受けは6ヶ月前  
貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。
- 利用団体数 平成30年度 25団体
- 観覧者数 9,983人
- 使用料について 1時間あたり210円（市外団体の場合420円）

・30年度開催展示会一覧

※ 入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者 (ジャンル)	期日	入場
1	グループ木彫作品展	グループ木彫	4/ 1	40
2	翔 第29回 作品展	翔	4/10 ～ 4/15	368
3	第28回 書を板に彫る 刻字展	佐倉刻字愛好会	4/17 ～ 4/20	308
4	臼井ルネサンス会 第25回ふれあい作品展	臼井ルネサンス会	5/ 8 ～ 5/13	713
5	さくら絵てがみサークル展	さくら絵てがみサークル	5/29 ～ 6/ 3	917
6	写真展	佐倉写真連盟	6/ 5 ～ 6/10	393
7	水彩仲間18作品展	水彩仲間18	6/13 ～ 6/17	452
8	作品展	杉の子	6/26 ～ 7/ 1	421
9	アビロン 水彩画展	水彩画グループAVIRON	7/23 ～ 7/28	617
10	第16回 春秋展	春秋会	8/28 ～ 9/ 2	577
11	市高連 作品展	佐倉市高齢者福祉課	9/ 5 ～ 9/ 7	298
12	第11回 叶夢展	叶夢の会	9/19 ～ 9/23	373
13	市民文化祭 華道展	佐倉市華道連盟	10/13 ～ 10/14	484
14	市民文化祭 手工芸展	佐倉市手工芸連盟	10/18 ～ 10/21	390
15	絵画サークル「創」第3回 作品展	絵画サークル「創」	10/24 ～ 10/28	436
16	しづ美術サークル 作品展	しづ美術サークル	11/ 6 ～ 11/11	294
17	佐倉SC写真同好会 第27回作品発表会	佐倉SC写真同好会	11/19 ～ 11/24	262
18	臼井八景の祭典	臼井八景八ヶ寺実行委員会	11/28 ～ 12/ 2	255
19	葦の会作品展	葦の会	12/ 4 ～ 12/ 9	361
20	伝統文化いけばな親子教室作品展	いけばなサークルひまわり	1/19 ～ 1/20	85
21	真多呂人形 まきな会 作品展	まきな会	2/26 ～ 3/ 3	700
22	アート オブ パラダイス	リブ・フォーエバー	3/ 5 ～ 3/10	243
23	柴門会 展覧会	柴門会	3/12 ～ 3/16	274
24	ワールサークル 水彩画展	ワールサークル	3/19 ～ 3/24	348
25	白蝶会展	白蝶会	3/26 ～ 3/31	374
計		25団体		9,983

## 7. 図書事業

○開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9:00～17:00

○休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間  
 （月曜・第1火曜日が祝日の場合は次の平日）

○貸 出 方 法 登録制で貸出券による。  
 1回につき1人10冊まで15日間貸出する。

○蔵 書 数

・一般図書	27,706冊	・郷土資料	2,006冊
（音楽関係図書を含む）		・その他	30冊
・児童図書	11,634冊	・楽 譜	4,198冊
・洋 書	49冊	・参考図書	637冊
・蔵書冊数	46,260冊（平成31年3月末現在）		
・雑 誌	25誌	・新 聞（朝刊）	8紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	4,544	4,405	4,699	4,504	4,943	4,753	4,009	4,440	4,139	4,316	4,500	4,991	54,243
貸出冊数 (冊)	12,023	11,707	12,418	11,992	13,012	12,325	10,605	11,592	11,015	11,401	12,093	13,259	143,442
開館日数 (日)	25	25	25	25	26	25	21	25	22	23	23	26	291

※10月は蔵書点検等に伴い10月15日から19日まで休館。

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書の他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

平成30年度 佐倉市立公民館のまとめ

発行 佐倉市立公民館